FUS C300 Mark II

使用説明書

Firmware ver. 1.1.1.1.00





本機の特長

C300 Mark IIは、4K対応のスーパー 35mm相当大判CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約885万画素(4096×2160)。4K映像の記録/出力に対応する映画撮影に適したデジタルシネマカメラです。

シネマ画質4K記録システム

4K対応のスーパー 35mm相当CMOSセンサー搭載 有効画素数約885万画素(4096×2160)の新CMOSセ ンサーと、新映像エンジン「Dual DIGIC DV 5」を搭 載して、中心解像度1800TV本*1を実現。独自の高 感度・低ノイズ技術により、ISO160からISO25600 まで幅広い感度*2で撮影できます。さらに、Canon Log 2ガンマを使用すれば15 STOPの広いダイナミッ クレンジを実現。100本を超えるEFレンズと組み合 わせて、多彩な映像表現を可能にします。 *1取り付けるレンズによって異なります。

*² ISO100 ~ ISO102400に拡張することもできます。

記録メディアにCFastカードとSDカードを採用

転送速度が高く汎用的なCFastカードに4K/2K映像と音声(4ch、16/24ビット)を記録可能。2つのCFastカードスロットに連続/同時記録できます。また、CFastカードへの記録と同時に、容量の軽いプロキシ映像(1119)をSDカードに記録できます。MXF(Material eXchange Format)ファイルフォーマットの採用により、ノンリニア編集システムとの連携がスムーズです。

2系統のSDI端子に4K映像を出力可能(1110)

REC OUT端子 / MON.端子から4K映像をRAW データで出力して、外部レコーダーに記録可能。 MON.端子は、画面表示やアシスト情報の出力に も対応。両端子にはLUTを適用でき、ACESのLUT を適用すれば、オンセットグレーディング(22,182) も実現できます。

用途に応じて選択できる [XF-AVC]ビデオフォー マット(11)64)

最高画質のXF-AVC Intraは、H.264 Intra Frameコー デックを採用。YCbCr4:2:2 10ビットで4K/2K*映 像を、RGB4:4:4 10/12ビットで2K映像を記録し ます。XF-AVC Long GOP(高画質、低データ量) とXF-AVC Proxy(編集オフライン用)はH.264 Long GOPコーデックを使用し、2K映像をそれぞれ YCbCr4:2:2 10ビット、YCbCr4:2:0 8ビットで記録 します。ビットレートはXF-AVC Intraで最高410 Mbps、XF-AVC Long GOPで50 Mbps、XF-AVC Proxy で24Mbpsです。

* 解像度が2048×1080または1920×1080の映像のこと。

優れた機動力と高い堅牢性、拡張性

堅牢性と拡張性を備えたボディーデザイン

機動性の高い軽量・小型ボディーに、モニターユ ニットとハンドルユニット、グリップを組み合わせ て使用可能。4.0型 / 123万ドット*の液晶モニター は、モニターケーブルが着脱でき、別売のケーブル (50 cm / 100 cm) に交換可能です。ハンドルとブ ラケットは複数のネジで確実に装着可能。アクセサ リーシューやネジ穴にさまざまなリグを装着できま す。また、ロッドクランプRD-1(別売)を取り付ける などを装着可能。さらに、モニターユニットの代わ りにマイクロホンアダプター MA-400 (別売) を取り 付ければ、報道系ワンマン撮影スタイルが可能です。 有機ELファインダーは0.46型 / 177万ドット*で、 色再現性、応答性、コントラストに優れています。 本体、グリップ、モニターユニットには合計22個 のアサインボタンを搭載。良く使う機能を割り当 てて、操作性をカスタマイズできます。 * 視野率はいずれも100%。

GENLOCK/SYNC OUT端子、TIME CODE端子と HDMI OUT端子を搭載

GENLOCK/SYNC OUT端子やTIME CODE入出力端子 を使用すると、外部機器とタイムコードを同期さ せることができます。HDMI OUT端子には、映像 と音声(2ch、16ビット)の出力、タイムコードの 重畳、記録コマンド出力によるレコーダーとの連 動も可能です。

有線リモコンや無線LANによるリモート撮影

リモートコントローラー RC-V100 (別売) を装着す れば、離れたところからカメラ設定や画質設定を 調整して撮影可能。ワイヤレスファイルトランス ミッター (別売)を取り付ければ、ネットワーク機 器から「ブラウザーリモート」でリモート撮影でき ます。画角の確認やカメラ設定、タッチAF / 追尾 によるフォーカス調整やメタデータ入力なども可 能です。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録(①120) 撮影フレームレートを設定して、最低1/5倍速の スローモーション(オーバークランク)撮影や最 高60倍速のファストモーション(アンダークラン ク)撮影が可能。インターバル記録で、自然観察 などの長時間の変化を間欠的に収録したり、フ レーム記録でクレイアニメーションを制作したり することもできます。

高度に画質を調整するカスタムピクチャー(①142) 画質を調整するカスタムピクチャーを刷新。ガ ンマ、色空間、カラーマトリクスを、プリセット から選ぶか任意に設定した後、詳細な画質調整 ができます。BT.2020 GamutやCinema Gamutな どの広色域に対応するほか、Canon Log 2 / Canon Log 3ガンマを新たに搭載。刷新されたカラーマ トリクス設定とともに画作りをサポートします。

汎用ワークフローに対応するソフトウェア

XF Utilityによる確認・管理

記録メディアに記録した映像は、簡易ブラウザー XF Utilityを使って撮影現場で確認したり、管理し たりすることができます。

外部レコーダーで記録したRAWデータを現像す るCinema RAW Development(111187)

外部レコーダーで記録した4KのRAWデータ は、Cinema RAW Developmentで現像*してDPX、 OpenEXRなどの標準ファイル形式に書き出し可能。 カラーグレーディング処理との連携もスムーズです。 * EDLの入力にも対応しています。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFIによるAF機能(① 82) コンティニュアスAFやワンショットAFIに対応し たほか、手動で大まかに調整すると合焦付近は 自動調整する「AFブーストMF」を追加。不確実な 調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよ りも安定して調整できます。顔検出AFや顔以外 の被写体への追尾も可能です。また、測距エリア が画面の縦横約80%に拡大。AF枠のサイズ・位 置やAF速度/追従特性の調整もできます。

調整方向がわかる新アシスト機能を搭載(2284) デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、 ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認 可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を 強力にアシストします。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

充実したアシスト表示機能

ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、 白黒、波形モニターを表示・出力したり、映像 にLUTを適用したりすることが可能。出力先は、 MON.端子/HDMI OUT端子や液晶モニター、ファ インダーから選択可能。

- 拡張すると5濃度が選べるNDフィルター。
- レンズの周辺光量/倍率色収差補正機能(□ 35)。
- 暗いところでの撮影に便利な自照式操作ボタン。
- ボイスメモを記録可能な内蔵モノラルマイク搭載。
- 表示情報を画面の周囲に表示する「フレーム表示」を搭載(060)。表示項目はカスタムディスプレイ(0206)で選択可能。
- カスタマイズ可能なマイメニュー(□ 31)。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SD カードに保存/読み出しでき、複数のC300 Mark IIと共有可能(CL 155)。
- 残量の目安や寿命(劣化度)を確認できるイン テリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 業界標準の抜け防止プラグを備えたDC IN端子。
- 撮影データを管理しやすいクリップファイル名。
- カメラ本体やNLE、サーバーでの簡単検索を実現するさまざまなメタデータ記録(□114)。GPS レシーバー GP-E1(別売)を装着すればGPS情報 も記録可能(□116)。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する10
各部の名称11
本体の名称11
モニターユニットの名称16
グリップの名称18
ハンドルユニット/ブラケットの名称
4Kワークフローの紹介19
ACESワークフローによるカラーグレーディング 20

準 備

22
22
24
26
26
27
28
28
29
29
31
34
34
37
38
40
41
42

Z	本体を三脚に取り付ける	43
1	グリップを取り外す/取り付ける	44
J	\ンドルユニットを取り付ける	45
111	ショルダーストラップを取り付ける	46
対	端子カバーを取り外す/取り付ける	46
記錄	录メディアを準備する	47
仾	吏用可能な記録メディア	47
C	Fastカードを入れる	48
C	Fastカードを取り出す	49
S	Dカードを入れる/出す	49
衣	刃期化する	50
Ē	記録/再生に使用するCFastカードスロットを	
ţ	刀り換える	51
C	Fastカードスロット記録方式を選ぶ	52
C	Fastカード/ SDカードの記録可能時間を	
矷	隺認する	52
1	クリップを修復する	53
ブラ	ラックバランスを調整する	54

撮 影

動	画を撮影する	56
	準備する	56
	撮影する	56
	撮影時の画面表示	58
	表示パネルの表示	60
	- (照明)ボタンを使う	61
	クリップファイル名を設定する	61
	冷却ファンの動作方法を選ぶ	63
眣	像の信号形式を選ぶ	64
た	メラダイレクト設定を使う	65
	カメラダイレクト設定の基本操作	65
シ	/ャッタースピードを調整する	66
	設定可能なシャッタースピード	66
	調整する	67

ISO感度/ゲインを調整する	69
設定可能な値	69
調整する	69
電子ダイヤルで調整する	70
NDフィルターを切り換える	72
アイリスを調整する	73
マニュアルで調整する	74
一時的にオートで調整する	
(プッシュオートアイリス)	75
オートで調整する (オートアイリス)	76
露出を調整する (AEシフト)	76
測光方式を設定する	77
ホワイトバランスを調整する	78
ホワイトバランスセットで調整する	78
色温度設定/プリセット設定で調整する	80
オートホワイトバランス (AWB)で調整する	81
フォーカスを調整する	82
マニュアルで調整する	83
ワンショットAFで調整する	86
AFブーストMFで調整する	87
コンティニュアスAFで調整する	88
AF枠の位置/サイズを変更する	90
顔を検出してフォーカスを合わせる (顔検出AF)…	90
選んだ被写体を追尾する	92
ズームを操作する	93
マーカー/ゼブラパターンを表示する	94
マーカーを表示する	94
ゼブラパターンを表示する	95
タイムコードを設定する	97
カウントアップ方式を選ぶ	97
ドロップフレーム/ノンドロップフレームを	
切り換える	98
タイムコードを保持する (タイムコードホールド)…	98
ユーザービットを設定する	99
任意の16進数を設定する	99
時刻または日付を設定する	99

外部機器と同期をとる	100
接続のしかた	100
外部のリファレンスビデオ信号に同期する	
(GENLOCK)	. 100
外部のタイムコード信号に同期する	
(タイムコード人力)	. 101
リファレンスビデオ信号を出力する	. 102
タイムコードを出力する	. 102
音声を記録する	. 103
記録音声と必要な設定	103
量子化ビット数を選ぶ	104
外部マイク/外部ライン入力機器を本機に	
接続する	. 104
外部マイク(INPUT端子)/外部ライン入力	105
(INPUT端丁)の日戸で迭折9る	105
	. 105
外部マイク (MIL端子)の音声を選択する	. 107
モノフルマイクを使っ	. 108
ヘッドホンでモニターする	. 109
カラーバー/テストトーンを出力する	. 110
カラーバーを表示/出力する	. 110
テストトーンを出力する	. 110
波形モニターを表示する	. 111
ショットマークを付加する	. 112
撮影中にショットマークを付加する	. 112
OKマーク/チェックマークを付加する	. 113
撮影中にOKマーク/チェックマークを	
付加する	. 113
メタデータを操作する	. 114
XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する	. 114
撮影情報 (シーン、テイク)を設定する	. 115
GPS情報を記録する	. 116
GPSレシーバーを取り付ける	. 116
GPSを有効にする	. 116
レックレビューで確認する	. 118
プロキシ動画を同時に記録する	. 119

特殊記録を行う120
スロー &ファストモーション記録を行う120
プレ記録を行う122
フレーム記録を行う123
インターバル記録を行う124
RC-V100(別売)でリモート撮影する126
Wi-Fiでリモート撮影する127
リモート撮影する 127

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 138
機能を変更する141
アサインボタンに割り当てた機能を使う
カスタムピクチャーを使用する142
カスタムピクチャーファイルを選ぶ143
画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして
登録する144
カスタムピクチャーファイルをコピーする
カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に
保存する147
カスタムピクチャーの設定項目147
機能や表示をカスタマイズする154
カスタムファンクションで設定できる項目 154
カスタムディスプレイで設定できる項目154
設定データの保存と読み出し155
設定データを保存する155
設定データを読み込む155

再 生

クリップを再生する		158
インデックス画面		158
再生する		160
クリップを操作する		163
クリップメニューー	覧	163
クリップメニューで	操作する	164
クリップ情報を表示	する	165
OKマーク/チェック	マークを付加する	166
OKマーク/チェック	マークを消去する	167
クリップをコピーす	3	168
クリップを消去する		169
クリップに付加され	ているユーザーメモ/	
GPS情報を消去する.		169
カスタムピクチャー	ファイルをコピーする	170
ショットマークイン	デックス画面を表示する	170
エクスパンドクリッフ	プインデックス画面を	
表示する		171
ショットマークを付	加/消去する	172

接 続

出力信号形式	176
外部のモニター/レコーダーを接続する	178
接続のしかた	178
REC OUT端子/ MON.端子を使用する	178
HDMI OUT端子を使用する	181
出力映像にLUTを適用する	181
出力映像に画面表示を重畳する	183
音声出力を選択する	184
音声出力チャンネルを選ぶ	184
クリップをパソコンに保存する	186
RAWクリップを現像する	187

静止画

静止画を記録する1	90
カメラモードで静止画を記録する1	90
メディアモードで動画から静止画を切り出す 1	90
静止画番号の付けかたを選ぶ1	91
静止画を再生する1	92
静止画インデックス画面を表示する 1	92
再生する1	92
ネットワーク機器で再生する1	93
静止画を消去する1	94

メニュー

メニュー一覧	196
メニューの階層	196
メニューの設定項目	197

その他

7	マテータス画面を表示する	216
	操作のしかた	216
	ガンマ/色空間/カラーマトリクス	
	ステータス画面	217
	カスタムピクチャーステータス画面	217
	カメラステータス画面	218
	アサインボタンステータス画面	219
	オーディオステータス画面	219
	メディアステータス画面	220
	ビデオステータス画面	220
	メタデータステータス画面	221
	バッテリー/使用時間ステータス画面	222
	GPS情報表示ステータス画面	222

トラブルシューティング	. 223
電源	. 223
撮影中	. 223
再生中	. 224
表示やランプ	. 225
画面や音	. 226
アクセサリー	. 227
他機	. 227
エラーメッセージ	. 229
安全上のご注意	. 233
取り扱い上のご注意/日常のお手入れ	. 235
カメラ本体	. 235
バッテリー	. 235
メモリーカード	. 237
コイン型リチウム電池 (CR2025)	. 237
その他のご注意	. 237
カメラ本体を清掃する(日常のお手入れ)	. 238
アクセサリー紹介	. 239
主な仕様	. 240
C300 Mark II本体	. 240
付属ユニット	. 242
付属品	. 243
対応レンズと機能	. 244
動画の記録可能時間の目安	. 245
バッテリーの充電時間の目安	. 245
索引	. 246
保証書と修理対応	. 251

本書の読みかた



本文中の表記

	参照ページを示す	● 本書で使用しているイラストはC300 Mark IIで、レン
参考 ▶	参考になるページなどを示す	ズはEF50mm F1.4 USMを取り付けています。また、
画面	ファインダーまたは液晶モニターの	作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
	画面のこと	● 本書では、見やすくするために加工した画面を一部
SDカード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと	使用しています。
メモリーカード	CFastカードまたはSDカードのこと	
カメラモード	動画撮影モードのこと	
メディアモード	再生モードのこと	
アクセスランプ	CFastカードアクセスランプまたはSD	
	カードアクセスランプのこと	

はじめに

10
11
19

商品を確認する

C300 Mark IIには、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

CFastカードでは410 Mbpsのビットレート (□ 64) で約5分間、SDカードではメイン動画のフレームレートを59.94Pまたは50.00Pにしたあと、プロキシ動画 (□ 119)を有効にして約20分間、事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、カメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(□ 223)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

カメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再 生ができなかった場合であっても、記録内容の補償は ご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、 展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であって も、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶モニターやファインダーの画面について

画面は精密度の高い技術で作られています。99.99% 以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素 や常時点灯する画素が発生することがあります。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶□に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称

*の付いているボタンは自照式ボタンです(□61)。



- 1 ↓ 撮像面マーク
- 2 MAGN.(拡大) /カメラアサイン1ボタン ▶ □ 85、138
- 3 PEAKING(ピーキング) /カメラアサイン2ボタン ▶ □ 85、138
- 4 ND FILTER(NDフィルター)切り換え+/-ボタン
 ▶ ① 72、138
- 5 ZEBRA(ゼブラ) /カメラアサイン3ボタン ▶ □ 95、138
- 6 WFM(波形モニター) / カメラアサイン4ボタン
 ▶ □ 111、138
- 7 POWER(電源)スイッチ ▶ 🗰 26
- 8 ISO/GAIN(ISO感度/ゲイン) /カメラアサイン5 ボタン ▶ □ 69、138

- 9 🌣 (照明)ボタン 🍽 🛄 61
- 10 SELECT(選択)ダイヤル/SET(設定)ボタン ▶ □ 29
- 11 カメラ電子ダイヤル 🍽 🎞 70、74
- 12 SHUTTER(シャッター) / カメラアサイン6ボタン ▶ □ 66、138
- 13 S&F FRAME RATE(S&Fフレームレート) /カメ ラアサイン7ボタン ▶ □ 120、138
- 14 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶ ① 56
- 15 AIR INTAKE(吸気口) ▶ 🗰 63
- 16 WB(ホワイトバランス) / ▶/Ⅲ(再生/一時停止)ボタン ▶ □ 78、160
- 17 ▲ (ホワイトバランスセット) / INDEX/■ (インデックス/停止)ボタン ▶ ① 78、159、160

はじめに



- 1 拡張システム端子 ▶ 🗰 116、127
- 2 AUDIO端子 ▶ 🛈 27
- 3 VIDEO端子 ▶ 🗰 27
- 4 GENLOCK/SYNC OUT端子 ▶ 🗰 100
- 5 Ω(ヘッドホン)端子 ▶ □ 109
- 6 REMOTE(リモート)端子 ▶ ① 126
 別売/市販のリモコンを接続する。
- 7 TIME CODE端子 ▶ ① 100
- 8 MON.端子 ▶ 🗰 178

- 9 REC OUT端子 ▶ 🗰 178、180
- **10 HDMI OUT**端子 ▶ 🛈 181
- 11 DC IN端子 > 🗀 24
- 12 0 撮像面マーク
- **13 MIC**(マイク)端子 ▶ □ 104
- 14 グリップ接続端子 ▶ 🖽 44
- 15 グリップ取り付け部 ▶ 🛄 44
- 16 SDカードアクセスランプ ▶ 🖽 49
- 17 EXHAUST VENT(排気口) ▶ 🗰 63

各部の名称

•••••



- 1 モノラルマイク 🍽 🛄 103
- 2 PUSH AUTO IRIS(プッシュオートアイリス) / カメラアサイン10ボタン № ① 75、138
- 3 SDカードスロット ▶ ① 49
- 4 EFレンズ取り付け指標 ▶ □ 34
- 5 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶ 🛄 34

- 6 レンズロック解除ボタン ▶ 🗋 34
- 7 レンズロックピン
- 8 EFレンズ接点 ▶ 🛄 235
- 9 ONE-SHOT AF(ワンショットAF) /カメラアサイ ン11ボタン ▶ □ 86、138



- 1 カメラアサイン8ボタン ▶ ① 138
- 2 タリーランプ 🍽 🗂 56
- 3 FUNC.(ファンクション) / カメラアサイン9ボタ ン № ① 65、138
- 4 ジョイスティック ▶ 🗀 29
- 5 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶ □ 29
- 6 MENU(メニュー)ボタン ▶ ① 29
- 7 CFastカードカバー 🍽 🛄 48
- 8 CFastカードスロット (CFast▲ / CFast B) ▶ □ 48
- 9 RELEASE(バッテリー取り外し)レバー ▶ □ 23
- 10 バッテリー装着部 🍽 🕮 23

- 11 CFastカード取り出しボタン 🍽 🕮 49
- 12 ファインダー 🍽 🖽 40
- 13 視度調整レバー ▶ □ 40
- 14 表示パネル ▶ □ 60
- 15 CFastカードカバー開くレバー (CFast △ / CFast ③) ▶ ① 48
- 16 SLOT SELECT (スロット選択)ボタン ▶ ① 51
- 17 CFastカードアクセスランプ (CFast ▲ / CFast ④) ▶ ① 48
- 18 BATT.OPEN(バッテリーカバー開く)レバー ▶ □ 23
- 19 バッテリーカバー 🍽 🕮 23

各部の名称

•••••



- 1 メジャーフック
 - メジャーを使って撮像面からの距離を測るときに 使う。
- 2 アクセサリーシュー*
 - 1/4インチネジ穴付き。
- 3 ブラケット取り付け部(1/4インチネジ穴) ▶ □ 45
 六角穴付きボルト(付属)で本体に取り付け可能。
- 4 ストラップ取り付け部 ▶ 🖽 46



- 5 拡張ユニットアタッチメント金具取り付け部
- 6 コイン型リチウム電池カバー ▶ □ 26
- 7 三脚取り付け穴
- 8 3/8インチネジ用三脚ベースTB-1 ▶ 🕮 43
- 9 三脚ベース取り付けネジ 🍽 🖽 43
- 10 1/4インチネジ穴

■ モニターユニットの名称



- 1 液晶モニター ▶ □ 41
- 2 MIRROR(反転表示)切り換えボタン ▶ □ 41
- 3 外部マイク固定ネジ ▶ 🗀 104
- 4 外部マイクホルダー ▶ 🛄 104
- 5 ケーブルクランプ 🍽 🗂 104

- 6 1/4インチネジ穴
- 7 VIDEO端子 ▶ ① 27
- 8 AUDIO端子 ▶ 🖽 27
- 9 INPUT 1 / INPUT 2端子 🍽 🛄 103
 - 以降、両端子に共通の説明では「INPUT端子」と呼ぶ。

•••••

操作パネル



- 1 DISP.(ディスプレイ) / モニターユニットアサイ ン7ボタン ▶ □ 60、138
- 2 ■(停止) /モニターユニットアサイン5ボタン ▶ □ 160、138
- 3 WFM(波形モニター) / モニターユニットアサイ ン8ボタン ▶ □ 111、138
- 4 MAGN.(拡大) /INDEX(インデックス) / モニター ユニットアサイン9ボタン ▶ ① 85、158、138
- 5 FUNC. / モニターユニットアサイン10ボタン ▶ □ 65、138
- 6 ◄ (前スキップ) / モニターユニットアサイン4 ボタン ▶ □ 162、138
- 7 ◀◀(早戻し) /モニターユニットアサイン1ボタ ン 162、138
- 8 ▶/Ⅲ(再生/一時停止)/モニターユニットアサ イン2ボタン ▶ □ 160、138

- 9 ▶▶(早送り) /モニターユニットアサイン3ボタン
 ン □ 162、138
- 10 ▶▶ (次スキップ) /モニターユニットアサイン6 ボタン ▶ □ 162、138
- 11 AUDIO カバー >> 🛄 106
- 12 録音レベル切り換えスイッチ(CH1/CH2) ▶ 🗰 105
- 13 録音レベル調整つまみ (CH1/CH2) ▶ □ 106
- 14 INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチ ▶ □ 105
- 15 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶ ◯ 56
- 16 MENU(メニュー)ボタン ▶ 🖽 29
- 17 ジョイスティック 🍽 🕮 29
- 18 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶ 🖽 29

■ グリップの名称

ご購入時グリップは本体に取り付けられています。



- 1 グリップ電子ダイヤル ▶ 〇 70、73
- 2 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶ ① 56
- 3 グリップベルト ▶ □ 45
- 4 ジョイスティック ▶ 🖽 29

- 5 FOCUS GUIDE(フォーカスガイド) /グリップア サイン1ボタン ▶ □ 84、138
- 6 接続プラグ ▶ □ 44
- 7 取り付けネジ 🍽 🖽 44
- ハンドルユニット/ブラケットの名称



- 1 1/4インチネジ穴
 - ハンドルに7箇所、ブラケットに8箇所。
- 2 前部アクセサリーシュー ▶ □ 37
 1/4インチネジ穴付き。
- 3 3/8インチネジ穴

- 4 上部アクセサリーシュー
 - 1/4インチネジ穴付き。
- 5 後部アクセサリーシュー 🍽 🕮 37
- 1/4インチネジ穴付き。
- 6 ブラケットに取り付け用の穴
- 7 カメラに取り付け用の穴(2箇所)

4Kワークフローの紹介 самега медіа

ここでは、本機を使って4K撮影を行う場合のワークフローの例を紹介します。



- * Cinema RAW Developmentのこと (ロ 187)。
- 4Kで撮影し(①)、CFastカードに4K YCbCr 4:2:2データを記録するか、またはREC OUT端子またはMON. 端子に接続した外部レコーダーで4K RAWデータを記録する(2)

 「外部のモニター/レコーダーを接続する」(□ 178)
- 2 4Kデータの記録と同時に、SDカードに2Kプロキシデータを記録する(3)
- 3 SDカードに記録された2K映像または現像ソフトウェアで生成したプロキシデータをNLEソフトウェアに 取り込み、オフライン編集を行う(④) 参考 ▶「クリップをパソコンに保存する」(□ 186)
- 4 外部レコーダーでRAWデータを記録したとき 現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像
 (□ 187)して、素材データを生成する(⑤)
 ●現像時にプロキシデータを生成することもできる。
 CFastカードに記録した4K YCbCr 4:2:2データは、そのまま素材データとして扱う。
- 5 素材データのカラーグレーディング処理を行う(6)

•••••

4Kワークフローの紹介

ACESワークフローによるカラーグレーディング

映画芸術科学アカデミー (AMPAS) が策定したACES2065-1 (Academy Color Encoding System) 色空間を使用してカラーグ レーディングを行うことができます。また、撮影現場でカラーグレーディング後の映像を確認しながら撮影することも できます (オンセット・グレーディング) *。

* ASC-CDLと3D LUTによるカラー調整に対応するモニターが必要。



*¹ Cinema RAW Developmentのこと (ロ 187)。

*² ASC-CDLに対応するカラーグレーディング機材が必要。

ACESproxy: オンセット・グレーディング時にMON.端子またはHDMI OUT端子から出力するACESproxyの映像デー タ。各端子のLUTを「ACESproxy」に設定すると出力できる(① 181)。

Input Transform: 入力機器の色情報をACES2065-1色空間に変換するテーブル。

Output Transform: ACES2065-1 色空間を出力機器の色情報に変換するテーブル。

ASC-CDL: カラーグレーディングの調整情報を記述したリスト。



電源を準備する	. 22
モニターユニットを取り付ける	. 27
日時を設定する	. 28
メニューで設定を変える	. 29
カメラを準備する	. 34
記録メディアを準備する	. 47
ブラックバランスを調整する	. 54

電源を準備する

電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。

■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパックBP-A30(付属)またはBP-A60(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位(目安)の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電する

付属のバッテリーチャージャー CG-A10を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カ バーを取り外します。(🛄 235)



*	2秒間に1回点滅 → 0 ~ 49%
	2秒間に2回点滅 → 50 ~ 74%
****	2秒間に3回点滅 → 75 ~ 99%

- 1 バッテリーチャージャーに電源コードを差し込む(①)
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む(②)
- 3 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる(③)
 - 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
 - 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量(目 安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。
 - 2つのバッテリーパックを同時に充電できる。
- 4 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す
- 5 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを バッテリーチャージャーから抜く

ご注意

● バッテリーチャージャーに指定された製品以外を接続しないでください。

- 故障の原因となりますので、バッテリーチャージャーを固定して使用しないでください。
- 10 ℃ ~ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

MEMO

- バッテリーチャージャーやバッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、235ページをご覧ください。
- バッテリーの充電時間は245ページ、フルに充電したときの使用時間の目安は242ページを、それぞれをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- ●バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。バッテリーパックを本機に取り付けると、バッテリー/使用時間ステータス画面(□ 222)でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

本体に取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする(①)
- 2 BATT.OPEN(バッテリーカバー開く)レバーを▼方向にスライドさせて、バッテリーカバーを開ける(②)
 - BP-A60(別売)などの高容量バッテリーを取り付けるとカバーを閉じることができません。カバーは必要に応じて取り外すことができます(① 236)。
- 3 バッテリーパックを図のように奥に押しつけな がら左にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる(③)
- 4 バッテリーカバーを閉じる

本体から取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 BATT.OPEN(バッテリーカバー開く)レバーを▼方 向にスライドさせて、バッテリーカバーを開ける
- 3 RELEASE (バッテリー取り外し)レバーを矢印の方向に押し(①)、バッテリーパックを右にスライドさせて、バッテリーパックを取り出す(②)
- 4 バッテリーカバーを閉じる

残量を確認する

BP-A30(付属)またはBP-A60(別売)は、本機に装着しなくても、バッテリー上のボタンを押して残量(目安)を確認できます。また、本機に取り付け、電源を入れたあとは、カメラモード/メディアモードの各画面(□ 58、158)や、バッテリー/ 使用時間ステータス画面(□ 222)で、分単位の残量(目安)を確認することもできます。



- 1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す
 - 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量(目安) を確認できる。

* 0 0 0	$0\sim 25\%$
** 0 0	$26\sim50\%$
* * * 0	$51\sim75\%$
* * * *	$76\sim100\%$

■ コンセントにつないで使う

ACアダプター CA-A10(付属)を使って、本機をコンセントにつないで使用できます。コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

電源コードにフェライトコアを取り付ける

ACアダプター CA-A10 (付属) は、電源コードにフェライトコアを取り付けて使用します。これによって、発生するノイズを低減できます。



- 1 電源コードのACアダプター側のプラグの端から 約4 cmの位置にフェライトコアを当てる
- 2 コードのコンセント側を持って、図のようにフェ ライトコアに2回巻き付ける
- 3 フェライトコアを閉じる

•••••

コンセントにつなぐ



- **1** POWER(電源)スイッチをOFFにする(①)
- 2 DC IN端子にDCプラグを差し込む(②)
 - DCプラグの赤い指標を上にして差し込む。
 DCケーブルを抜くときは、DCプラグ部分を引きながら抜く。
- 3 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プ ラグをコンセントに差し込む(③)

ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

備

■ コイン型リチウム電池 (CR2025)を入れる

コイン型リチウム電池は、本機の設定を保存するために使用されます。電池が消耗したときは交換してください。



- 1 バッテリーとACアダプターを装着してい ないことを確認する
- 2 コインなどを使って、コイン型リチウム電 池カバーを外す(①)
 - OPENからさらに回すと、カバーが浮き上が り取り外しやすくなる。
- 3 +側を上にしてコイン型リチウム電池(付属)を入れる(②)
- 4 電池カバーを閉じる(③)

MEMO

 コイン型リチウム電池を取り外すと、本機の 設定が初期状態に戻ります。メニューやカス タムピクチャーの設定は、あらかじめSDカー ドに保存してください(CL1155)。

■ 電源を入れる/切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)ス イッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。









カメラモードで起動するとき POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。

メディアモードで起動するとき POWER(電源)スイッチをMEDIAにする。

電源を切るとき POWER(電源)スイッチをOFFにする。

モニターユニットを取り付ける

モニターユニットは本体またはハンドルユニットに取り付けることができます。本体に取り付けるときはモニターユニット底面の取り付け部を、ハンドルユニットに取り付けるときはモニターユニット背面の取り付け部を使用します。 液晶モニターの詳細については、「液晶モニターを使う」(①41)、「液晶モニター/ファインダーを調整する」(2042)をご 覧ください。

例:底面の取り付け金具で本体に取り付ける場合



モニターユニットを取り外す

カラーゴム

1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

- 2 モニターユニット底面の取り付け金具を本体上 部のアクセサリーシューに差し込む(①)
- 3 モニターユニット底面の取り付けネジを回して 固定する(②)
- 4 2本のユニットケーブル(付属)で、本体とモニ ターユニットのVIDEO端子/AUDIO端子をそれぞ れ接続する(③、④)
 - プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。
 - ユニットケーブルのプラグは、本体/モニターユニットのVIDEO端子/AUDIO端子のそれぞれに共通で使用可能。またカラーゴムを装着すると、ケーブルの誤接続防止に役立つ。

- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 ユニットケーブル (2本) を本体とモニターユニットから抜く (①)
 - ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ケーブル を引き抜く。
- 3 モニターユニットの取り付けネジをゆるめる
 (②)
- 4 モニターユニットをスライドさせて取り外す (③)

● 落下したりしないように、机などの安定した所で着脱してください。

準 備

ご注意

日時を設定する CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。 * 設定保持用のコイン型リチウム電池 (CR2025)が消耗したときも同様です。

■ 日付と時刻を設定する



(MEMO)

撮影画面に日時を表示するには

◆ □ 映像/端子設定メニュー > 「Custom Display 2」 > 「日付/時刻」(□ 207)

日時設定、タイムゾーンを変更するには

- ◆ ◆システム設定メニュー > 「日時設定」*または「タイムゾーン」*(□ 211)
 * ブラウザーリモート (□ 127)の動作中は使用できない。
- 設定保持用のコイン型リチウム電池が消耗すると、日付/時刻の設定が解除されます。そのときは、コイン型リチウム電池 (CR2025)を交換してください (□ 26)。
- GPSレシーバー GP-E1(別売)を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます(□116)。

メニューで設定を変える CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニューー覧」(1196)をご覧ください。



■ メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例:ピーキングに「Peaking 2」を選択する場合



SELECT/ SET	2 設定するメニューを選ぶ ① ジョイスティックを上下に押すかSELECT (選択)ダ イヤルを回して、設定するメニューを選ぶ。 ・選んだメニューのサブメニューが表示される。 ② ジョイスティックまたはSET(設定)ボタンを押す*。 ・カーソルがメニュー項目に移動する。 ジョイスティックを右に押して、カーソルをメ ニュー項目に移動することもできる。 ・表示しきれないメニュー項目があるときは、メ ニューの右端にスクロールバーが表示される。 カーソルを上下に移動するとメニューがスつ
SELECT/	 3 設定するメニュー項目を選ぶ ① ジョイスティックを上下に押すかSELECT (選択)ダイヤルを回して、設定するメニュー項目を選ぶ。 ② SETを押す。 カーソルが設定内容に移動する。 メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。 「CANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「うを選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。 * 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。
SELECT/ SELECT/	 4 設定内容を選び、設定する ① ジョイスティックを上下に押すかSELECT(選択)ダイヤルを回して、設定内容を選ぶ。 ② SETを押す。 ● 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。 × Packing
MENU	 5 メニューを消す ① MENUボタンを押す。 ● メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面に[SET]、CANCEL、MENUが表示されることがあります。 このときはガイドに応じて、それぞれ、 SET (ジョイスティック)、CANCELボタン、MENUボタンを押してください。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使用しているときは、RC-V100の上/下/左/右/SET (設定) ボタンがジョイス ティックと同様に機能します。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます(□ 216)。

■ マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。マイメニューにはメ ニュー項目を15個まで登録できます。また、マイメニューは3セット保存できるので、必要に応じて切り換えて使用で きます。アサインボタン(LL 138)にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。

マイメニューを選択する



- ① ★1マイメニュー1 > 「選択」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
 - 選択したマイメニューに応じて、マイメニューのアイコンが★1、★2、★3 のいずれかに変わる。

マイメニューを登録する

現在選択しているマイメニューにメニュー項目を登録することができます。







2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

- ②「OK」を選ぶ > SETを2回押す。
 - ●「カラーバー タイプ」が現在選択しているマイメニューに登録される。

登録したメニュー項目を並べ換える

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。

★ マイメニュー1 環 編集 登 5 約 20 消去 数定が時化 数定が時化 数定が時化 数定しません。 (本) ★	1	 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ ① ★₁マイメニュー1 > 「編集」 > 「並べ換え」を選ぶ > SETを押す。 ● 現在選択しているマイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。
マイメニュー1 並べ換え Manual C カラーバー <u>9イブ</u> カラーバー 表示	2	 メニュー項目を選んで並べ換える ① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ > SETを押す。 ● 選んだメニュー項目の左に◆が表示される。 ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、移動先を 選ぶ > SETを押す。 ● メニュー項目が移動する。

登録したメニュー項目を消去する

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を、1項目ずつまたはすべて消去することができます。

 × マイメニュー1 * 編集 ⑦ ラ 参 参 参 か) 登録 ジベ税2 * 73法 * 73 	1	マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ ① ★₁マイメニュー1 > 「編集」 > 「消去」または「設定初期化」を選ぶ > SETを押す。
マイメニュー1 消去 CMED カラーバー 表示 カラーバー タイブ	2	消去する
		「消去」を選んだとき 消去するメニュー項目を選ぶ > SETを押す。
		 ①「OK」を選ぶ > SETを押す。 ●「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは、現在選択しているマイメニューに登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。

② SETを押す。

メニューで設定を変える

マイメニューの名前を変更する

3セットのマイメニューそれぞれに名前を設定できます。

- ① ★マイメニュー1 > 「編集」 > 「メニュー名変更」を順に選ぶ。
- ② [Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ③ 8桁の任意の英数字記号を入力し、「OK」を選ぶ > SETを押す。
 参考 >>「文字入力のしかた」

文字入力のしかた

モニターユニットを接続しているとき:キーボード画面で操作します。



カメラを準備する

ここでは、レンズの取り付け/取り外しや、ファインダー/液晶モニターの調整、グリップ/ハンドルの取り付けなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ レンズを準備する

レンズの取り付け/取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせて ご覧ください。

ご注意

● レンズの取り付け/取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、カメラやレンズを落とさない ようにご注意ください。

MEMO

レンズを取り外したとき

- レンズ/本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- ■本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほ こりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 EFレンズマウントからボディキャップを、レンズ からダストキャップを取り外す(①)
- 3 レンズを取り付ける(②)
 - ・本機とレンズの取り付け指標を合わせ、レンズを図 のようにカチッと音がするまで回す。
 - EFレンズの指標は赤い丸、EF-Sレンズの指標は白い 四角。

EFレンズを取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 レンズロック解除ボタンを押しながら(①)、レンズを図のように回して(②)取り外す(③)
 ●回転が止まるまで回してから取り外す。
- 3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける
- 4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける

カメラを準備する

(MEMO)

- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなることがあ ります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- 取り付けたレンズによっては、次の動作になることがあります。
 - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
 - フォーカスモードスイッチがAFのときに手動でフォーカス調整できない。
 - フォーカスプリセットが動作しない(超望遠レンズ)。
 - レンズに搭載されたパワーズーム機能が使用できない。
- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ (APS-C)より大きいため、EF-Sレンズを装着すると、ケラレが 発生することがあります。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます(対応レンズのみ。 □ 212)。

EFレンズの周辺光量/倍率色収差を補正する

CAMERA MEDIA

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなる(周辺光量の低下)、映像の周辺部に色ずれや色に じみが発生する(倍率色収差)などの現象が見られますが、レンズごとの補正データを用いて補正することができます。

×	カメラ設定		
!	ND濃度拡張		
CP	Shutter		
b 3)	White Balance		
_0	フォーカス		
Ξ.	本体グリップズーム		
₩	ABB		
靈	カラーバー		
4	周辺光量補正	切	
+	色顺差捕正	ধ্য	

 ① レンズを取り付けたあと、「 カメラ設定メニュー > 「周辺光量補正」または 「色収差補正」を順に選ぶ。

「周辺光量補正」/「色収差補正」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けているレンズの補正データが本機にない。
- 取り付けているレンズがこれらの補正に対応しているかどうか、キャノンのホームページで確認する。
- 2 これらの補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。
- ③ ①から操作する。

②「入」を選ぶ > SETを押す。

●以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量/倍率色収差が補正される。

MEMO

レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量/倍率色収差補正対応レンズ(一部を除く)の補正データは、あらかじめ本 機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機の ファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤ ノンのホームページでご確認ください。

周辺光量/倍率色収差の補正ができないとき

- レンズの補正データが本機に格納されていないとき。
- 他社製レンズを装着しているとき。他社製レンズを装着して各補正を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

周辺光量補正を行うとき

- 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
- ISO感度/ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。
- センサーサイズの違いにより、EF-Sレンズのときは周辺光量の低下が大きくなることがあります。

EFレンズのファームウェアを更新する

CAMERA MEDIA

本機に装着したEFレンズのファームウェアを更新することができます。EFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

×	システム設定	이번 16월 19일 - 19일 - 19일 - 19일 - 19일	(1)
P.,	Firmware		
CP	Ð		
\$n)	Camera	1.0.0.00	
Ľ			
=			
5			
I Y			

- レンズのファームウェアをキヤノンのサイトからダウンロードしてSDカードに保存し、SDカードをSDカードスロットに入れる。
- ② レンズを取り付けたあと、 ¥システム設定メニュー > 「Firmware」 > 「レンズ」を順に選び > SETを押す。
 - 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。

「レンズ」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けたレンズがファームウェアの更新に対応していないか、本機に 入れたSDカードにファームウェアが保存されていない。 レンズやSDカードを確認して①から操作する。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
- ④ ファームウェアの更新ファイル (XXX.LFU)を選ぶ > SETを押す。
- ⑤ [OK]を選ぶ ➤ SETを押す。
 - レンズのファームウェアの更新が開始される。
 - ファームウェアの更新は中止できない。
- ⑥ 更新が終了したらSETを押す。

ご注意

ファームウェアの更新中は次のことを必ず守ってください。

- 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
- 他のボタンを操作しない。
- SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。

MEMO

- プレ記録 (□ 122)中はファームウェアの更新を行うことができません。
- ACアダプターまたは十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
- エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。
.....

本機の構成例

本機は、ハンドルユニット、モニターユニット、グリップを着脱できるので、撮影シーンに応じて必要なユニットを自由に組み 合わせて撮影できます。



ご注意

 構成を変更するときは、本機やユニットが落下したりしないように、 机などの安定した所で装着・調節してください。

MEMO

有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)を使用する

1920×1080画素のEVF-V70を装着できます。EVF-V70を装着すると、 EVF-V70のボタンやダイヤルなどで本機を操作することができます。 EVF-V70を本機に取り付けるときは、クランプベースCL-V1(別売)が必要 です。なお、EVF-V70の装着時は、ブラウザーリモートのライブビューと、 記録中の拡大表示 (Magnification)が使用できません。

ロッドクランプRD-1(別売)を使用して、Φ15 mmのロッドを備える市販のファインダーなどを取り付けることができます。



LCDモニター LM-V1(別売)を使う

本機のVIDEO端子 (CL 12)にLCDモニター LM-V1(別売)を接続すると、LM-V1の画面をタッチして、一部のフォーカス機能を操作することができます。なお、LCDアタッチメントユニットLA-V1(別売)を使用してLM-V1を本機に取り付けることはできません。

LCDモニター LM-V1の名称



- 1 LCDパネル (タッチパネル)
- 2 FUNC(ファンクション) / LCDモニターアサイン 1ボタン ▶ □ 138
- 3 MENU(メニュー)ボタン ▶ 🖽 29
- 4 ジョイスティック 🍽 🗀 29
- 5 MIRROR(反転表示)切り換えボタン ▶ 〇 39
- 6 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶ □ 29

- 7 DISP(ディスプレイ) / LCDモニターアサイン2ボ タン ▶ □ 138
- 8 ▲ (LCDモニター位置合わせ)マーク
 - LCDアタッチメントLA-V1(別売)を取り付けるとき に使う。本機ではLA-V1は非対応。
- 9 1/4インチネジ穴(1/4-20/深さ11.2 mm。2個)
- **10 VIDEO**(ビデオ)端子 ▶ ① 12

.....

準 備

LCDモニター LM-V1を接続する

1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

- 2 ユニットケーブル (同梱)で、カメラ本体とLM-V1のVIDEO端子を接続する
 プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。
 - ユニットケーブルを外すときは、ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ユニットケーブルを引き抜く。



MEMO

- ワイヤレスファイルトランスミッターWFT-E6 / WFT-E8 (別売) (① 127)やGPSレシーバーGP-E1 (別売) (① 116)と同時に使用するときは、LM-V1をWFT-E6 / WFT-E8やGP-E1から離して使用してください。LM-V1をWFT-E6 / WFT-E8の近くで使用すると、Wi-Fiの通信に影響することがあります。
- ・撮影スタイルに合わせて、画面の反転のしかたを切り換えてください。LM-V1のMIRROR(反転表示)切り換えボタン
 を押すたびに、左右反転→上下反転→上下左右反転→反転なしの順に切り換わります。
- LM-V1のタッチパネルの応答性は、 Ŷシステム設定メニュー > 「Custom Function」 > 「タッチ操作レスポンス」(□ 213)で 変更できます。

■ ファインダーを使う

本機のファインダーは有機ELパネルを採用しており、ファインダーをのぞくと自動的に点灯し、のぞくのをやめると自動的に消灯します。

ファインダーの角度と視度を調整する

ファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



- ファインダーを手前に引き出し(①)、見やすい 角度に調整する(②)
- 2 本機の電源を入れる (22 26)
- 3 視度調整レバーを左右に動かして調整する(③)

MEMO

ファインダーを常に点灯させるには

▶ 回映像/端子設定メニュー > 「VF設定」>「アイセンサー」(□ 205)。

アイカップを取り付ける



ファインダーのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。左目でファ インダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。取り外すときは、ア イカップの側面を引っ張るようにして外します。

ご注意

ファインダーキャップを取り付けてファインダー内部を保護する 太陽光によってファインダー内部が破損するのを防ぐため、ファインダーを使用しないときはファイ ンダーキャップを取り付けてください。ファインダー内のキズ/ゴミの防止にも有効です。取り付け るときは、ファインダーユニットのゴム部分の内側にはめ込んでください。



カメラを準備する

液晶モニターを使う

本機のモニターユニットは左右に270°回転可能なため、本機を側面から操作できます。また、液晶モニターは左に180°、 前後に270°回転可能。ショルダースタイルなど、さまざまな撮影スタイルに対応できます。

液晶モニターを開く



- 1 必要に応じてモニターユニットを左右に回転させる(①)
- 2 液晶モニターを開き、前後に回転させて見やす い角度に調整する(②)

ショルダースタイルにする



- 1 液晶モニターを開く(①)
- 2 液晶モニターを左に180°回転する(②)
- 3 液晶モニターを前方に180°回転する(③)
- 4 MIRROR (反転表示) 切り換えボタンを押して、画面の反転のしかたを切り換える(④)
 - MIRRORボタンを押すたびに、左右反転→上下反転
 →上下左右反転→反転なしの順に切り換わる。

MEMO

- モニターユニットは、ハンドルユニットの前部アクセサリーシューに取り付けたり、ハンドルユニットを前後逆に取り 付けて後部アクセサリーシューに取り付けたりして、液晶モニターの位置を変更できます。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けたときに映像が上下左右に反転する場合は、Ŷシステム設定メニュー > 「Custom Function」>「スキャンリバース記録」(□ 212)で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録 することができます。

液晶モニターを消灯するには

◆ □ 映像/端子設定メニュー > 「VF/モニター選択」(□ 204)。

■ 液晶モニター/ファインダーの画面を調整する CAMERA MEDIA

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、バックライト、輝度の各項目を、液晶モニターとファインダーそれぞれ 個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



調整する

- ① (二) 映像/端子設定メニュー > 「LCD設定」または「VF設定」を順に選ぶ。
 ② 調整する項目を選ぶ > SETを押す。
 - ●「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「バック ライト」*1、「輝度」*2から選ぶ。
 - *1 液晶モニターのみ。 *2 ファインダーのみ。
- ③ ジョイスティックを上下に押すか、SELECTダイヤルを回して調整する
 > SETを押す。
- ④ 調整する項目について、②、③を繰り返す。

(MEMO)

●「LCD設定」を割り当てたアサインボタンを押して、「LCD設定」サブメニューを表示することができます(◯ 138)。「VF設定」サブメニューについても同様です。

液晶モニターとファインダーを白黒にする

CAMERA MEDIA

画面を白黒表示にします。白黒表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。



- ① 圏アシスト設定メニュー ➤ 「白黒」 ➤ 「LCD出力」または「VF出力」を順に選ぶ。
 ② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ③ 圏アシスト設定メニュー > 「白黒」 > 「設定」を順に選ぶ。
- ④「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

●MON.端子とHDMI OUT端子の出力を白黒にすることもできる。

カメラを準備する

•••••

本体を三脚に取り付ける

ご購入時、本体には3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1が取り付けられています。取り付けネジの長さが5.5mm未満の 三脚を取り付けることができます。



取り付けネジ径が1/4インチの三脚を使う

取り付けネジの径が1/4インチの三脚を使用するときは、三脚ベース(三脚取り付け部)を1/4インチネジ用の三脚ベース (付属)に交換する必要があります。

3/8インチネジ用三脚ベースTB-1





- 1 3/8インチネジ用の三脚ベースを取り外す(①)
 - ネジを4本取り外して、3/8インチネジ用の三脚 ベースを取り外す。
- 2 1/4インチネジ用の三脚ベース(付属)を取り付ける(②)
 4本のネジをしっかり閉める。
- 3 三脚を取り付ける
 三脚のネジは確実に締める。

ご注意

● ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。



.....

■ グリップを取り外す/取り付ける

グリップを取り外す

グリップを取り外してサムレストを取り付ければ、手持ち撮影用の最小幅構成にできます。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 グリップの取り付けネジを回して、グリップを取り外す(①)
 - このとき接続プラグが接続されているので、無理に 引っ張らない。
- 3 グリップの接続プラグを抜く(②)
- 4 サムレストを取り付ける(③)

グリップを取り付ける

グリップは15°刻みで角度を変えて取り付けることができます。撮影の状況に応じて好みの角度で取り付けます。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 サムレストを取り外す(①)
- 3 グリップの接続プラグを奥までしっかり差し込んで接続する(②)
 - グリップ接続端子の周囲の白線が見えなくなるまでしっかり差し込む。
 - 接続が不十分だと(白線が見えていると)、カメラ本 体の操作が利かなくなることがある。
- 4 グリップを好みの角度に合わせ、取り付けネジ を回して固定する(③)

•••••

準 備

グリップベルトを調節する

人さし指をSTART/STOPボタンに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



■ ハンドルユニットを取り付ける

- 1 ブラケットを本体に取り付ける(①、②、③)
 六角レンチ(付属)を使用して、3本の六角穴付きボルトで固定する。
- 2 ハンドルをブラケットに取り付ける(④)
 2本の六角穴付きボルトで固定する。

MEMO

 ハンドルユニットには3/8インチネジ穴と1/4インチネジ穴 が、ブラケットには1/4インチネジ穴が切ってあり、市販 のアクセサリーを取り付けることができます。

カメラを準備する

■ ショルダーストラップを取り付ける



■ 端子カバーを取り外す/取り付ける

本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

取り外す



端子カバーを開けて、 まっすぐに引き出す。

取り付ける



端子カバーの取り付け部 を、取り付け口に差し込 む。

MEMO

● 取り外し/取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用して ください。

記録メディアを準備する

本機では、動画*1をCFastカードまたはSDカード*2に、静止画をSDカード*2に記録します。CFastカードスロットは2つあり、2つのCFastカードに同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください(CL 50)。

*1メインの動画(以降、「メイン動画」と記載)はCFastカードに、オフライン編集用の動画(以降、「プロキシ動画」と記載)はSDカードに記録します。

*² SDカードは、カスタムピクチャーファイルと設定データの保存や、ソフトウェアCanon XF Utility(CD 186)で作成したユーザーメモファイルの取り込みにも使用します。

■ 使用可能な記録メディア

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなど でご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0規格に準拠したCFastカード。

SDカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、 🂒 SDHCメモリーカード、 🐖 SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASSE CLASS
メーカー *2	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています(2015年07月現在)。

ご注意

● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。

CFastカードまたはSDXCメモリーカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリー ダー/ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わ せください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初 期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

MEMO

● すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ CFastカードを入れる CAMERA MEDIA



- CFastカードカバー開くレバーを▶ /
 (①)
 CFastカードカバーが上または下に開く。
- 2 カードのおもて面を上にして、奥までしっか り入れる。(②)
- 3 CFastカードカバーを閉じる(③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無 理に閉めない。

CFastカードアクセスランプの光りかた		
	スロットの状態	
点灯 (赤)	カードにアクセス中	
点灯 (緑)	記録/再生可能でかつ、スロットが記録/ 再生先として選択されている	
消灯	カードが入っていない別のスロットが選択されている	CFastカードアクセスランプ
アクセスランプは点灯しないようにすることもできます (凹 211)。		

CFastカードを取り出す CAMERA MEDIA



- 1 選択中のCFastカードを取り出すとき CFast カードアクセスランプが緑色に点灯しているこ とを確認する
 - アクセスランプが消灯しているCFastカードはいつでも取り出し可能。
- 2 CFastカードカバー開くレバーを▶ /
 ▲方向
 にスライドさせる
 CFastカードカバーが上または下に開く。
- 3 CFastカード取り出しボタンを押す。(①)
 CFastカードが出てくる。
- 4 CFastカードを取り出す(②)
- 5 CFastカードカバーを閉じる(③)

ご注意

- CFastカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。 ■ 雷源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - アクセスしているCFastカードスロットのカードカバーを開けない。

SDカードを入れる/出す CAMERA MEDIA



1 SDカードカバーを開ける(①)

2 カードのラベル面をグリップ側にして、カチッ と音がするまでしっかり入れる(②)

SDカードを出すとき

- SDカードアクセスランプが消灯または緑色に点灯 していることを確認する。
- 2 カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。
- 3 SDカードカバーを閉じる(③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無 理に閉めない。

ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。 ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3の ような正しい向きで入れてください。

22

誤消去防止ツマミ

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを [LOCK] 側にすると、データを保護できます。

SDカードアクセスランプの光りかた

	SDカードスロットの状態	
点灯 (赤)	カードにアクセス中	
点灯 (緑色)	プロキシ動画が記録可能か、またはプロキシ動画/静止画が再生可能	
消灯	カードが入っていないか、カードにアクセスしていない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている	

SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます(凹 211)。

■ 初期化する CAMERA MEDIA

記録メディアをはじめて使用するときや、記録メディアに記録した動画/静止画などすべての情報を消去するときは 初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があると きは「完全初期化」を選びます。

 × 記録/メティア設定 マティア初期化 マ ⇒ 	1	初期化する記録メディアを選ぶ
)) CFastA ピ CFast8 ⑤ DD−ド ・ 答 ♥		 ・ ・ ・
*		「SD カード」を選んだとき
		「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ≥ SETを押す。
メディア初期化 CFast A	2	 初期化を実行する
すべての情報が消去されます		①「OK」を選ぶ > SETを押す。
		● 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。
Cancel OK		 ● 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。 SDカードの「完全初期化」を中止するとき

ご注意

- 初期化すると、OKマークを付けた動画、静止画、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルなど、CFastカード/ SD カード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期 化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

MEMO

- 動画記録中に、もう一方のCFastカードを初期化することができます。
- ●「メディア初期化」を割り当てたアサインボタンを押して、「メディア初期化」サブメニューを表示することができます (◯ 138)。

■ 記録/再生に使用するCFastカードスロットを切り換える CAMERA MEDIA

本機は、2つのCFastカードスロットを備えています(CFast 🛛 / CFast 🕒)。両方のスロットにCFastカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



- 1 SLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押す
 - 選択されたスロットのCFastカードアクセスランプ が緑色に点灯する。

MEMO

- ●両方のスロットにCFastカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモート画面の「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

■ CFastカードスロット記録方式を選ぶ CAMERA MEDIA

2つのCFastカードに、連続して映像を記録するリレー記録と、同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録

撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく 連続して記録することができます。CFast □ ⇔CFast □ 両方向で連続記録が可能です。 ▲記録/メディア設定メニュー »「リレー /ダブルスロット記録 | »「リレー記録 | で「入 |を選ぶ » SETを押す。

ダブルスロット記録

同じ映像をA/B両方のCFastカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。 合記録/メディア設定メニュー》「リレー/ダブルスロット記録」》「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ》 SETを押す。

(MEMO)

- スローモーション撮影時はリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないCFastカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、 一方のCFastカードに書き込みエラーが発生しても、他方のCFastカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録またはスロー&ファストモーション記録との併用はできません。

■ CFastカード/ SDカードの記録可能時間を確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのときは、各スロットに入っている記録メディアの記録可能時間(分単位)*1と、選択されているスロットを画面で確認できます(① 58)。メディアモードのときは、選択しているスロットに入っているCFastカードの記録可能時間(分単位)を、表示パネルで確認できます(① 60)。また、メディアステータス画面(① 220)を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間*1、静止画記録可能枚数*2、SDスピードクラス*2を確認できます。

*1記録可能時間は、現在設定しているビットレート (〇〇 64)を元に算出します。

*² SDカードのみ。

記録メディアを準備する

クリップを修復する CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にメモリーカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。 修復が必要なクリップを含むカードをスロットに入れた際、「CFast A (CFast B)(回)修復が必要なクリップがあります」 が出たときは、メディアモードで次の操作を行ってください。



1

メイン動画またはプロキシ動画のインデックス画面を表示する (〇〇159)

● エラーメッセージが表示されたカードのインデックス画面を表示する。



クリップを修復する

- ① ?が表示されているサムネルを選ぶ > SETを押す。
- クリップ修復」を選ぶ > SETを押す。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
 選んだクリップが修復される。
 ●「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。
- ④ SETを押す。

MEMO

修復したクリップについて

- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- クリップの末尾のデータが、最大約0.5秒間消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが 物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

ブラックバランスを調整する CAMERA MEDIA

使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整する ことができます。



ボディキャップを取り付けてください

実行しますか?

Cancel

ОК

1 オートブラックバランス (ABB)を選ぶ

 ① 「 カメラ設定メニュー > 「ABB」を順に選ぶ。
 ● 画面に「ボディキャップを取り付けてください 実行しますか?」 が表示される。

7 ボディキャップを取り付けて、ABBを実行する

① ボディキャップを取り付ける。

- レンズを取り付けているときはレンズを取り外し、ボディキャップ を取り付ける。
- ②「OK」を選ぶ > SETを押す。
 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。
 - 調整には約40秒かかる (23.98P / 24.00Pの場合)。

3 終了する

● 画面に「処理が完了しました」が表示されたら調整完了。SETを押して 終了する。

画面に「エラー」が出たとき

● センサーの遮光が正しく行われていない。

SETを押し、再度操作1から操作する。

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき、または長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- ISO感度/ゲインの設定を変更したとき。
- ♥システム設定メニュー > 「リセット」> 「全設定」または「カメラ設定」で、本機の設定をリセットしたとき。

● ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。

動画を撮影する	56
映像の信号形式を選ぶ	64
カメラダイレクト設定を使う6	65
シャッタースピードを調整する…6	66
ISO感度/ゲインを調整する	69
NDフィルターを切り換える	72
アイリスを調整する	73
ホワイトバランスを調整する	78
フォーカスを調整する	82
ズームを操作する	93
マーカー/	
ゼブラパターンを表示する	94
タイムコードを設定する	97
ユーザービットを設定する	99
外部機器と同期をとる1(00

10	日く
招豆	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
JHX	コン

音声を記録する103
カラーバー/ テストトーンを出力する110
波形モニターを表示する111
ショットマークを付加する 112
OKマーク/チェックマークを 付加する113
メタデータを操作する114
GPS情報を記録する116
レックレビューで確認する118
プロキシ動画を同時に記録する119
特殊記録を行う120
RC-V100(別売)で リモート撮影する126
Wi-Fiでリモート撮影する127

動画を撮影する CAMERA MEDIA

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、103ページをご覧ください。

■準備する



- 1 撮影状況に応じて、ハンドルユニット、モニター ユニットなどの構成を準備する(□ 37)
- 2 充電したバッテリーパックを取り付ける(22)
- 3 記録メディア(CFastカード、SDカード)を入れる (□ 47)
 - リレー記録(□ 52)、ダブルスロット記録(□ 52)を行うときは、CFastカードを2枚入れる。
 - プロキシ動画/静止画を記録するときは、SDカードを入れる。
 - 外部レコーダーに記録するときは、外部レコーダー に接続して必要な設定を行う(□180)。
- 4 レンズを取り付ける (1134)
- 5 ファインダーや液晶モニターを調整する(1140、41)

MEMO

記録されるクリップに、撮影者や撮影場所、撮影内容などの情報をユーザーメモとして付加することができます。ユーザーメモを付加するときは、撮影前に設定してください(CL1114)。





影



ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
- 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- レックレビュー機能(□118)を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップを再生して確認できます。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャーを使用する」(□ 142)または「メタデータを操作する」
 (□ 114)をご覧ください。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- 1つのクリップには6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- ●「Shot Mark 1追加」または「Shot Mark 2追加」を割り当てたアサインボタンを押すと、撮影中にショットマーク1 / 2を 付加できます(□ 112)。また、「 Mark追加」または「 Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押すと、最後に記 録したクリップにOKマーク/チェックマークを付加できます(□ 138)。

撮影設定をロックする

POWER(電源)スイッチを (キーロック)にすると、カメラモードのまま、START/STOPボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。POWER(電源)スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。



* START/STOPボタンを無効にすることもできます(□□ 212)。ブラウザーリモートからは操作できます。

撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。各項目の表示の入/切はカスタムディスプレイ (「Custom Display 1」/「Custom Display 2」。 206)で指定できます。以下の表内では「CD1」、「CD2」と省略表記します。



画面の左側と中央

アイコン/表示	説明	アイコン/表示	
(1777) / (17777) / (177777) / (177777) / (177777) / (177777) / (177777) / (177777) / (1777777) / (1777777) / (1777777) / (1777777) / (1777777) / (177777777) / (17777777777) / (1777777777777777) / (177777777777777777777777777777777777	バッテリー残量と撮影/再生可能時間 (分単位)の目安。 回は残量なし。充電 したバッテリーと交換する。本機/バッ テリーの状態により、実残量と表示が異 なることがある。 CD2 > バッテリー残量	C.LOG3 / C.LOG2 C.Gamut / DCL-P3 / BT2020 / BT709 \ C.LOG \ BT.2020 \ BT.709	カス CD1
記録メディア状態 CD2 ➤記録可能時	 記録可能時間(分) 時間 	Ψ β	Othe CD1
A B 0000 min	CFastカードの状態 緑色:記録可能(メイン動画) / 白色: 認識中。選択中のCFastカードに▶が付く。		測光 CD1
AB(赤色) END	CFastカードの空き容量なし	聲(称巴∕ 黄色/赤色)	局温 Ⅰ (上昇
Ao Eo (赤色)	CFastカードなし/記録不可能		CD2
50 0000 min	SDカードの状態 緑色:記録可能(プロキシ動画) / 黄色:	FAN	冷劫 CD2
	空き容量が少ない	LENS	レン
ऽ▣ (赤色) END	SDカードの空き容量なし		CDI
💁 (赤色)	SDカードなし/記録不可能	き (赤色)	コイ
0000 mm	焦点距離 (目安) CD1 > 焦点距離		ワン
MF AF	フォーカスモード (□ 82) CD1 > フォーカスモード	(黄色/白色)	AF
2 5	顔検出AF (〇〇 90)	[](白色)	コン
	CD1 > フォーカスモード		顏楨

アイコン/表示	説明
C.LOG3 / C.LOG2 C.Gamut / DCI-P3 / BT2020 / BT709、 C.LOG、 BT2020、 BT709	カスタムピクチャーのPreset(□ 142) CD1 ➤ Custom Picture
СР ₂	カスタムピクチャー (□ 142) : Other Settings > ActivateかOn CD1 > Custom Picture
B A	測光方式 (□177) CD1 > 測光方式
閏(緑色∕ 黄色∕赤色)	高温警告(□ 63)内部温度が上昇すると ■(黄色)が、本機を使い続けてさらに 上昇すると ■(赤色)が表示される。 CD2 > 温度/ファン
FAN	冷却ファン (□163) CD2 ▶ 温度/ファン
LENS	レンズ警告 CD1 > レンズ
き (赤色)	コイン型リチウム電池警告(〇〇 26)
	ワンショットAF枠 (1186)
[] (黄色/白色)	AFブーストMF枠 (C1 87)
(白色)	コンティニュアスAF枠 (🛄 88)
	顔検出枠 (〇〇90)
₩.[]	追尾 (〇) 92)

画面の上側

アイコン/表示	説明
(n)	ネットワーク接続状態 (1127) 白色:接続完了 黄色:接続/切断処理中 赤色:Wi-Fi機能停止 CD2 ≥ ネットワーク機能
CHARREC (赤色)	表示文字記録(□154) CD2 ≥表示文字記録
D	ダブルスロット記録 (〇〇 52)
撮影状態 (記録モ CD2 ▶ 記録モート	ード)
STBY、●REC	動画記録:撮影一時停止中/撮影中
INT STBY*、 ●INT、 ●INT REC	インターバル記録: 撮影一時停止中(撮 影開始前/開始後)、撮影中 * INTが点滅する。
FRM STBY*、 ●FRM STBY、 ●FRM REC	フレーム記録:撮影一時停止中(撮影開 始前/開始後)/撮影中 * FRMが点滅する。
S&F STBY、 ●S&F REC	スロー&ファストモーション記録:撮影 一時停止中/撮影中
PRE REC STBY、 ●PRE REC	プレ記録:撮影一時停止中/撮影中
$1 s \sim 10 m00 s$	インターバルカウンター (□ 124) CD2 > インターバルカウンター
00.00P、00.00i、 000/00.00P	撮影フレームレート*(□ 120)/フレーム レート(□ 64) * スロー&ファストモーション記録時のみ。 CD2 > フレームレート
REC ➡、STBY ➡	記録コマンド状態 (□1 180) CD2 ➤ 記録コマンド
Gen.	ゲンロック (□ 100) CD2 > Genlock
00:00:00.00 00:00:00:00	タイムコード (□197) CD2 > Time Code
SD 0000	静止画の記録可能枚数 CD2 > 静止画記録可能枚数
YCC422 10bit、 RGB444 00bit	カラーサンプリング (□164) CD2 ▶ 解像度/カラーサンプリング
0000x0000	解像度(□164) CD2 > 解像度/カラーサンプリング

画面の右側

アイコン/表示	説明
Rec Ooff 、 MOOF 、 HDMF	映像出力 (□ 178) CD2 > 映像出力
DISP (赤色)	画面表示出力 (111183) CD2 > オンスクリーン表示
¢\$	GPS信号の受信状態*(C2 116) 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉する と点灯する。 * GPSレシーバー GP-E1接続時のみ。 CD2 ≥ GPS
Memo	ユーザーメモ (□ 114) CD2 > User Memo
00 00 00 00	ユーザービット (□ 99) CD2 > User Bit
CH0/CH0	音声出力チャンネル (□ 184) CD2 ▶ モニターチャンネル
yyyy.mm.dd HH:MM	日時表示 CD2 > 日付/時刻
LM	オーディオリミッター (□ 106) CD2 > Audio Level
CH1 100 - -dB 4030 20 10 0 CH2 100 -	オーディオレベルメーター (□ 105) CD2 ➤ Audio Level

画面の下側

アイコン/表示	説明
â	キーロック (□ 57) CD1 > キーロック
A000C000	カメラインデックス、リール番号、クリッ ブ番号 (□□61) CD2 > リール番号/クリップ番号
9 .	ヘッドホン音量(111109)
	LUT (□ 181) CD1 > LUT
MAGN、 MAG&(赤色)	拡大表示 (□ 85) CD1 ➤ Magnification
PEAK1 (PEAK2)	ピーキング (□1 85) CD1 > Peaking
AWB 0000 K、 ☑ A/ ☑ B 0000 K、 K 0000 K、 ※、 ※	ホワイトバランス (□ 78) CD1 > White Balance

 	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

アイコン/表示	説明	アイコン/表示	説明
ND 00 stops	NDフィルター(□ 72)	1/0000、000.00°、	シャッタースピード (□166)
	CD1 > ND Filter	000.00Hz	CD1 > Shutter
F0.0 / T0.0 / closed	アイリス/F値 (T値) (□173) CD1 > Iris	AE ±0.00	AEシフト (□□ 76) CD1 > Exposure
ISO 000000	ISO感度/ゲイン (□□ 69)		露出バー (□1 77)
00.0dB	CD1 ≥ ISO/Gain		CD1 > Exposure

(MEMO)

● モニターユニットのDISP.(ディスプレイ)ボタンまたは「Display」を割り当てたアサインボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。各表示レベルは、 □ 映像/端子設定メニュー > 「DISP.ボタン設定」で、入/切を個別に選択できます(□ 206)。

全表示 → フレーム表示*2 → マーカー *1 → 全消去*3

- *¹マーカーの表示 (🛄 94)を 「入」にしているときのみ。AF枠などフォーカス用の枠も表示される。
- *2 映像をやや縮小し、周辺の領域に画面表示を行う表示方式。焦点距離、カラーサンプリング、解像度、ユーザービット、AEシフト、 露出バー、音声出力チャンネルは表示しない。

*3 撮影状態を除くほとんどの画面表示が消去される。

表示パネルの表示

次の項目は表示パネルで確認できます。また、モニターユニットを取り付けていなくても、ホワイトバランス、ISO感度 /ゲイン、シャッタースピードの3つのカメラ設定は、表示パネルを見ながら設定できます(1165)。



¹¹

- 1 ホワイトバランス ▶ □ 78
- 2 オーディオレベルメーター * 🍽 🛄 106
- 3 NDフィルター ▶ ① 72
- 4 フレームレート ▶ □ 64

- 5 色温度設定/ホワイトバランスシフト ▶ □ 80
- 6 シャッタースピード № 166 モードが「スピード」または「スロー」の場合、分母のみを表示。
- 7 F值/T值 ▶ 🛄 73

•••••

- 8 ISO感度/ゲイン ▶ CD 69
- 9 タイムコード ▶ □ 97
- 10 CFastカード状態/記録可能時間(分)*
- 11 タイムコード設定 NDF ▶ □ 98 EXT-LOCK(外部同期信号ロック) ▶ □ 101 HOLD(タイムコードホールド) ▶ □ 98
- * メディアモードでも表示する。

■ 🔆 (照明)ボタンを使う

本体の一部のボタン (CC 11)は自照式で、表示パネルの照明とともに点灯/消灯を切換えることができます。暗い場所 で操作するときに便利です。



① 🌣 (照明)ボタンを押す。

- ・自照式ボタンと表示パネルの照明が点灯する。もう一度押すと消灯する。
- □ 映像/端子設定メニュー > 「表示パネル輝度」で、表示パネルの明るさを5段階で設定できる。

クリップファイル名を設定する CAMERA MEDIA

本機内の記録メディアに記録されるクリップファイルの名前を設定します。カメラや記録メディアごとに割り振る文字や、任意の文字列(5文字)を設定することができます。

クリップファイル名の構成

($\frac{\mathbf{D} \ \mathbf{O} \ 1}{3} - \underbrace{\mathbf{y} \ \mathbf{y} \ \mathbf{m} \ \mathbf{m} \ \mathbf{d} \ \mathbf{d}}_{4} \underbrace{\mathbf{X} \ \mathbf{X}}_{5} - \underbrace{\mathbf{C} \ \mathbf{A} \ \mathbf{N} \ \mathbf{O} \ \mathbf{N}}_{6} - \underbrace{\mathbf{O} \ 1 \ \mathbf{P}}_{7}$
	項目	内容
1	カメラインデックス	A~Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
2	リール番号	001~999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号を設定する。
3	クリップ番号	001~999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001~C999となる。999を超えると「C」が「D」 に変わり、D001~D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期 値を設定したり、初期値(C001)にリセットしたりすることもできる。
4	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
(5)	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A~Z、O~9からなる2文字。
6	ユーザー定義	A~Z、0~9からなる5文字。
7	<i>プロキシ、</i> ストリーム番号	プロキシクリップのときに「_P」が自動的に付加される。記録先がSD / SDHCメモリーカードのときは、「P」の前にストリーム番号(01~99の数字)が付加される。ストリーム番号は、クリップ内の映像ファイル(ストリーム)が分割されると1つ繰り上がる。

● 同時に記録したメイン動画とプロキシ動画のクリップは、ファイル名の①~⑥が同じになる。

設定する

X9〒-9 カXラインテックス 使 セット	1	 カメラインデックスを設定する ① 査記録/メディア設定メニュー >「メタデータ」>「カメラインデックス」を順に選ぶ。 ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、A ~ 2のいずれかの文字を選ぶ > SETを押す。 ③ 「セット」を選ぶ > SETを押す。
メタテータ リール番号 001 セット リセット	2	 リール番号/クリップ番号を設定する ① 書記録/メディア設定メニュー >「メタデータ」>「リール番号」または「クリップ番号」を順に選ぶ。 ② 「セット」を選ぶ > SETを押す。 ● 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。 ● 「リセット」を選びSETを押すと、番号が「001」にリセットされる。 ● 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。 ③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、数字を選ぶ > SETを押す。 ④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ >「セット」を選ぶ > SETを押す。
メタテータ ユーザー定義 ■ ANON セット	3	 ユーザー定義を設定する ① 査記録/メディア設定メニュー >「メタデータ」>「ユーザー定義」を順に選ぶ。 ② 操作2の③ ~ ④と同じ要領で、5文字の英数字を入力する >「セット」を選ぶ > SETを押す。
	Δ	リール番号を設定したとき使用するカードをすべて初期化

↓ リール番号を設定したとき 使用するカードをすべて初期化する(□ 50)

冷却ファンの動作方法を選ぶ CAMERA MEDIA

本機内部の熱を排出する冷却ファンは、カメラモードではファンのモード設定に応じた方式で回転し、メディアモード では常時回転します。ファンの回転速度は、カメラモードとメディアモード、およびカメラモードのときはファンのモー ドに応じて個別に設定できます。

カメラモードのとき

- オート:撮影一時停止中は回転し、撮影中(画面に●RECが表示中)は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇(聞(赤色)が出る)すると、冷却ファンが自動的に回転する(画面に TAN が出る)。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。撮影一時停止中の回転速度は、「ファン速度(STBY)」で、撮影中の回転速度は「ファン速度(REC)」でそれぞれ選択できる。
- 常時: 常に回転する(初期設定)。「ファン速度(常時)」で回転速度を選択できる。

× 県国2 12 日間 14 ★	システム撤定 ファン ち モー・オート ファン連想(ST6Y) ロー ファン連想(REC) ロー ファン連想(REC) ロー ファン連想(REG)	1	ファンのモードを選ぶ ① ∲システム設定メニュー >「ファン」>「モード」を順に選ぶ。 ② 「オート」または「常時」を選ぶ > SETを押す。
× 東国シ哈里爾 1 ★	システム設定 フアン バイ コー コー リー リー コー	2	 ファンの回転速度を選ぶ ① ◆システム設定メニュー > 「ファン」 > 「ファン速度 (STBY)」、「ファン速度 (REC)」または「ファン速度 (常時)」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。 ●「強制冷却」を選ぶと、回転数を最大にした冷却が可能 (「ファン速度 (STBY)」のみ)。

● 撮影一時停止中(STBY)と撮影中(REC)の両方の回転速度を設定する。

メディアモードのとき

1 ファンの回転速度を選ぶ

① ♥システム設定メニュー > 「ファン速度」を順に選ぶ。

- ②「ハイ」、「ミドル」、「ロー」のいずれかを選ぶ > SETを押す。
 - ●「カメラモードのとき」の操作2と同様に設定する。

ご注意

- 冷却ファンの回転中は、EXHAUST VENT(排気口)から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口(□11、12)をテープなどで塞がないでください。

(MEMO)

● 高温下など撮影環境によっては「オート」にしてもファンが停止しないことがあります。

映像の信号形式を選ぶ CAMERA MEDIA

映像 (メイン動画)を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度とカラー サンプリング、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。フレームレートは、システム周 波数によって選択できる値が異なります。メディアモードでは、システム周波数のみ設定できます。プロ キシ動画については、「プロキシ動画を同時に記録する」(① 119)をご覧ください。

	カラー サンプリング	ビットレート*1	システム周波数/フレームレート							
解像度				59.94	4 Hz		50.00 Hz			24.00 Hz
			59.94P	59.94i* ²	29.97P	23.98P	50.00P	50.00i* ²	25.00P	24.00P
4096×2160 3840×2160	YCC422 10 bit	410Mbps Intra-frame	_	_	•	•	_	_	•	•
	RGB444 12 bit	225Mbps Intra-frame	_	_			_	-		
	RGB444 10 bit	210Mbps Intra-frame	_	_			_	-		
2048×1080 1920 × 1080	YCC422 10 bit	310Mbps Intra-frame		—	—	_		—	—	—
13207 1000		160Mbps Intra-frame	_				_			
		50Mbps LongGOP								

*1ビットレートの方式はVBR(可変)。「Intra-frame」は1フレームごとに圧縮し、カット編集に適した高画質な圧縮方式。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。 *2 解像度が1920×1080のときのみ。

× 東国 2 2 日 四 ♀ ★	記録/メティア設定 システム局波数	59.94 Hz 50.00 Hz 24.00 Hz	1	 システム周波数を選ぶ ① 査記録/メディア設定メニュー > 「システム周波数」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > 「SET」を押す。 ● 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。
×≒閏沙≧曹曖ү★	記録/メティア設定 - フレームレート	59 94i 59 94P 29 97P 23 98P	2	 フレームレートを選ぶ ● 24.00 Hzを選んだ場合、この操作は不要。 ① 査記録/メディア設定メニュー >「フレームレート」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。 ● 選んだフレームレートが画面と表示パネルに表示される。
×東間シピ目間↑★	記録/メティア設定 「解発度/カラーサンプリング	4096x2160 YCC422 10 bit 13820x2160 YCC422 10 bit 2048/1080 YCC422 10 bit 1920x1080 YCC422 10 bit 2048/1080 R6B441 12 bit 2048/1080 R6B444 12 bit 2048/1080 R6B444 10 bit 1920x1080 R6B444 10 bit	3	 解像度とカラーサンプリングを選ぶ ① 1 記録/メディア設定メニュー > 「解像度/カラーサンプリング」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。 ● □□映像/端子設定メニュー > 「Custom Display 2」> 「解像度/カラー サンプリング」が「入」のときは、選んだ解像度とカラーサンプリン グが画面に表示される。
× 浦周 ≥ 10 日間 1 ★	記録/メティア設定 ビットレート	160 Mbps Intra-frame 50 Mbps Long 60P	4	「2048 x 1080 YCC422 10 bit」または「1920 x 1080 YCC422 10 bit」 を選んだとき ビットレートを選ぶ ① 合 記録/メディア設定メニュー > 「ビットレート」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。

MEMO

- 1枚の記録メディアに、異なるシステム周波数で撮影したクリップを混在して記録することはできません。
- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(□ 176)をご覧ください。
- REC OUT端子から4K RAW出力時は、29.97Pを超えるフレームレートを選択できません。



画面や表示パネルを見ながら、以下の項目を設定できます(カメラダイレクト設定)。ここでは基本的な操作を説明します。各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

設定できる項目

- ホワイトバランス
- ホワイトバランスの色温度/プリセット調整
- ISO感度/ゲイン
- シャッタースピード



■ カメラダイレクト設定の基本操作



画面のオレンジ色の表示は解除され、表示パネルは通常表示(すべての情報が表示される)に戻る。

MEMO

- カメラダイレクト設定が終了する場合
 - ■約6秒間操作しなかったとき。メニューやステータス画面を開いたとき。
 - アイリス、NDフィルターを調整したとき。
 - ■「ISO/Gain」を割り当てた電子ダイヤルを操作したとき。

シャッタースピードを調整する CAMERA MEDIA

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体(スポーツや乗り物など)を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の5種類のモードがあります。ブラウザーリモート(CL)127)を使ってワイヤレスで調整することもできます。

スピード: 秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段 から選べる。

アングル: 開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン: 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにす るときなど。

スロー: フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で 撮影するときなど。スロー&ファストモーション記録のときは選択できない。

切: 各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

■ 設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

			フレームレート							
			59.94P / 59.94i 29.97P 23.98P 24.00P 50.00				50.00P / 50.00i	25.00P		
シャッターフ		1/3段 刻み	1/1、1/1.26、1/1.59、1/2~1/2000秒							
	スピード* ¹	1/4段 刻み		1/1、1/1.19、1/1.4 1/2 ~ 1/24、1/30、 1/48、1/60 ~ 1	1/1、1/1.19、1/1.41、1/1.68、 1/2 ~ 1/25、1/30、1/33、 1/40、1/50、1/60 ~ 1/2000秒					
Ľ	アングル	*1*2	360°、240°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°							
ドの	クリアスキャン*1		23.	23.98 Hz \sim 250.38 Hz				4.00 Hz \sim 250.40 Hz		
モード	スロー *3		1/4、1/8、1/15、 1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒		1/3、1/6、1/12、 1/25秒	1/3、1/6、 1/12秒		
	切* ¹		1/60秒	1/30秒	1/24秒	1/24秒	1/50秒	1/25秒		

*1スロー&ファストモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。

*²1/100秒、1/60秒、1/50秒、1/40秒、3/100秒、1/30秒、1/25秒相当のアングルも設定可能。設定可能なアングルはフレームレートによって異なる。

*3スロー&ファストモーション記録のときは使用できない。

シャッタースピードを調整する



カメラダイレクト設定の詳細については、65ページをご覧ください。





スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパン するときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。 ● 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

シャッタースピードを調整する

(MEMO)

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 単光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、 原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると 抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120 秒を選んでください。
 - * フレームレートによっては選択できません。

小絞りによるボケを防ぐには

- ・晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。
- シャッタースピードのモードをスローにすると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッ タースピードを上げるか、ISO感度/ゲインを下げてください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のSHUTTER SELECTボタン、SHUTTER上/下ボタンで、シャッタースピードのモード/ 設定値をそれぞれ切り換えることもできます。
- Custom Pictureメニュー > 「Main Settings」で、GammaとColor Matrixに「EOS Standard」をそれぞれ選択しているとき、 「スピード」モードでデジタルー眼レフカメラEOSと同じシャッター値を設定しても、デジタルー眼レフカメラEOSと同 じ輝度にならないことがあります。



映像アンプの増幅量をISO感度またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度/ゲインそれぞれ個別に設定できます。ブラウザーリモート(□127)を使ってワイヤレスで調整することもできます。



■ 設定可能な値

	ᅔᆘᄀᆘᆖ	設定可能な値* ¹					
	次」の単田		感度拡張時のみ*2				
ISO感度	1段	160* ³ 、200、400、800、1600、3200、6400、12800、 25600	100、51200、102400				
	1/3段	160, 200, 250, 320, 400, 500, 640, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3200, 4000, 5000, 6400, 8000, 10000, 12800, 16000, 20000, 25600	100、125、32000、40000、 51200、64000、80000、102400				
ゲイン	ノーマル (3 dB)	-2 dB* ³ , 0 dB \sim 42 dB	-6 dB, -3 dB, 45 dB ~ 54 dB				
512	ファイン (0.5 dB)	$-2 \sim 24 \text{ dB}$	_				

*¹ 推奨のダイナミックレンジを実現するために必要な感度は、Canon Logガンマ/ Wide DRガンマ使用時はISO400(ゲイン6 dB)以上、 Canon Log 2 / Canon Log 3ガンマ使用時は、ISO800(ゲイン12 dB)以上。

*2 県カメラ設定メニュー > 「ISO/Gain」> 「感度拡張」を「入」にすると、推奨以外の感度を選択できる(□197)。

*3「感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。



カメラダイレクト設定の詳細については、65ページをご覧ください。







電子ダイヤルで調整する

電子ダイヤルにISO感度/ゲインを割り当てると、カメラ本体またはグリップの電子ダイヤルでISO感度/ゲインを調整できます。なお、カメラ本体とグリップの電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。



MEMO

- ISO感度/ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度/ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上 げるか、ISO感度/ゲインを下げてください。

- ISO感度/ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度/ゲインを切り換えない でください。
- ♥システム設定メニュー > 「Custom Function」> 「カメラ電子ダイヤル方向」または「グリップ電子ダイヤル方向」で、 本体またはグリップの電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます(□154)。
- ISO感度/ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100(別売)のISO/GAIN上/下ボタンを押して調整することもできます。

NDフィルターを切り換える CAMERA MEDIA

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは標準では3段階から選択でき、拡張設定をすると5段階から選択できます。切り換えは、本機のほかブラウザーリモート(①127)を使ってワイヤレスで操作することもできます。 * アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。



ND FILTER NDフィルターを切り換える 1 ① ND FILTER(NDフィルター)切り換え+ボタンを押す。 ● + ボタンを押すたびに、次の順にNDフィル ターが切り換わる (-ボタンは逆順)。 A001C031 🙅 A 5400 K ND 2 stops $OFF \rightarrow 2 \text{ stops} \rightarrow 4 \text{ stops} \rightarrow 6 \text{ stops} \rightarrow 8 \text{ stops}^*$ \rightarrow 10 stops* \rightarrow OFF 30 Stops * 県カメラ設定メニュー > 「ND濃度拡張」が「入」の 150 200 ときのみ選択可能。 ② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作 A N を繰り返す。 ● 切り換えたNDフィルターが画面と表示パネル に表示される。

MEMO

- ●「ND+」または「ND-」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできます。
- シーンによっては、NDフィルターを入/切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイト バランスをセットして撮影すると効果的です(□ 78)。
- 8 stops / 10 stopsと他の濃度を切り換えると、次のようになることがあります。
 - ピントがずれる。レンズの距離目盛りもずれる。
 - レンズによっては無限遠にピントが合わない。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能(本機のND FILTER切り換え+ボタンと同じ動作)。
- RC-V100のNDフィルターランプは、2 stops ~ 8 stops選択時はランプの1 ~ 4が点灯し、10 stops選択時はランプの1 と4が同時に点灯する。
アイリスを調整する CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じてアイリス (絞り)を調整します。本機では次の3種類の方法でアイリスを調整でき ます*。設定可能な値 (F値) は取り付けたレンズによって異なり、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、 「ファイン」をメニューで設定できます。

* レンズによって使用できる調整方法が異なる (🛄 244)。

マニュアルアイリス: 本体/グリップの電子ダイヤルやブラウザーリモート(①127)で手動調整する。 プッシュオートアイリス: PUSH AUTO IRISボタンやブラウザーリモート(①127)で一時的に自動調整する。 オートアイリス: 適正露出になるように常に自動調整する。

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
$CN7 \times 17$ KAS S/E1 $CN20 \times 50$ IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	А
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート/マニュアル切替えスイッチ	А



■ マニュアルで調整する

EFレンズを装着している場合、電子ダイヤルにアイリスを割り当てると、カメラ本体またはグリップの電子ダイヤルでア イリスを調整できます。なお、カメラ本体とグリップの電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。



MEMO

- ♥システム設定メニュー > 「Custom Function」> 「カメラ電子ダイヤル方向」または「グリップ電子ダイヤル方向」で、 本体またはグリップの電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます(□154)。
- ●「Iris +」または「Iris -」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます(□□138)。
- 接点のないEFレンズやEFシネマレンズ*を装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整 してください。

* アイリス調整に対応するEFシネマレンズ (🛄 244)を除く。

アイリスを調整する

.....

- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、「果カメラ設定メニュー >「Iris」>「Zoom連動F値補正」で、 ズームに連動してF値を補正するかどうかを指定できます(□1 198)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS(アイリス)ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります(初期状態)。

表示をT値に切り換えるには(EFシネマレンズのみ)

- ▶ 「
 ★ 「
 ★ 」
 ★ 」
 ★ 」
 ★ 」
 ★ 」
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】
 ★ 】</
- 画面に表示されるF値 (T値)がレンズの指標と異なることがあります。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着して、アイリスがオープンまたはクローズの状態からF値を変更すると き、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

■ 一時的にオートで調整する(プッシュオートアイリス)

PUSH AUTO IRIS (プッシュオートアイリス)ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

SET	 7イリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する(□ 74) ● アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする(□ 73)。
PUSH AUTO IRIS	 2 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける ● 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。 ● 画面のF値の左に▲が表示され、調整にともなって画面と表示パネルのF値が更新される。 ■ 1.4 ISO 200 1/30
0 PUSH AUTO IRIS	 3 PUSH AUTO IRISボタンを離す ● 絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左の▲は消える。

MEMO

- アイリスを自動で調整するときの応答性を、「 カメラ設定メニュー » 「AE」 » 「AEレスポンス」で設定できます (□ 197)。
- スロー &ファストモーション記録のときは、プッシュオートアイリスを使用できません。

■ オートで調整する (オートアイリス)

対応するEFレンズ (C) 244)を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。



(MEMO)

- オートアイリス対応レンズ装着時、「Irisモード」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます(□1138)。
- スロー &ファストモーション記録のときは、オートアイリスを使用できません。
- 次のときはF値が変わることがあります。
 - EFシネマレンズの内蔵エクステンダーとアイリス補正機能を使用にしていて、オートアイリスからマニュアルアイリスに切り換えたとき。
 - Iris表示のT値/ F値を切り換えたとき。
 - レンズのアイリス設定のオート/マニュアルを切り換えたとき。
- アイリスのゲインを調整できるEFシネマレンズの装着時、レンズのアイリスゲインが高いと撮影シーンによってはハン チング(絞りが不安定になること)が発生することがあります。このときは、レンズのアイリスゲインを初期設定に戻 してください。

■ 露出を調整する(AEシフト)

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整するとき、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影することができます。補正量は-2段~+2段まで17段階で設定できます。



● 「 カメラ設定メニュー 「AE」 > 「AEシフト」を順に選ぶ。
 ② いずれかの値を選ぶ > SETを押す。

MEMO

●「AEシフト+」と「AEシフト−」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます(□138)。

アイリスを調整する

● PUSH AUTO IRISボタンを押しながら、本体またはグリップの電子ダイヤルを回してAEシフトを調整することができます。あらかじめ電子ダイヤルにアイリスを割り当てて操作します(□138)。



測光方式を設定する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、 より適正な明るさで撮影することができます。



① 見カメラ設定メニュー > 「測光方式」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ > SETを押す。

- バックライト: 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明 るく制御する。
- スタンダード: 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測 光する。
- スポットライト: スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、ス ポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるよ うに制御する。
- バックライトを選ぶと画面に図が、スポットライトを選ぶと画面に▲が表示される。

MEMO

●「バックライト」または「スポットライト」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます(□□138)。

ホワイトバランスを調整する CAMERA MEDIA

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかた には次の4種類があります。蛍光灯下で撮影するときは、ホワイトバランスセットで調整してください。ブ ラウザーリモート (ಝ 127)を使ってワイヤレスで調整することもできます。

ホワイトバランスセット:

グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録できる。

色温度設定:

2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

プリセット設定:

「※(太陽光)」または「★(電球)」のいずれかを選ぶ。−9~+9の範囲 で微調整可能。

オートホワイトバランス (AWB): 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。



(MEMO)

- カスタムピクチャーの「Color Matrix Tuning」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイト バランス設定より優先されます。
- '果カメラ設定メニュー > 「White Balance」 > 「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたとき に値がなめらかに変化します (◯ 198)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のA / Bボタン、PRESETボタン、▲ボタン、AWBボタンを使って、調整することもできます。
- 本機で表示または設定する色温度は目安です。

| ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「▲A」と「▲B」の2種類の設定を登録できます。



ホワイトバランスを調整する



MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

- ■場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれに▲が速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

79

色温度設定/プリセット設定で調整する

色温度を指定するか、屋外(太陽光)用、または屋内(電球)用にプリセットされた設定を選んでホワイトバランスを調整します。色温度は、設定範囲が2000K~15000Kの範囲を100K刻みで設定できます。プリセット設定を選んだときは、 +9~-9の範囲で微調整することができます。



ホワイトバランスを調整する

■ オートホワイトバランス (AWB)で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的 に調整し直されます。



MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは 🔩 (ホワイトバランスセット)で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯/ LED照明下での撮影。
- ホワイトバランスを自動で調整するときの応答性を、「■カメラ設定メニュー »「White Balance」»「AWBレスポンス」 で設定できます(□ 198)。
- スロー&ファストモーション記録のときは、オートホワイトバランスを使用できません。

フォーカスを調整する CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかた*1には、次の6種類があり、AFの方式にはデュアルピクセルCMOS AFを使用します。マニュアルフォーカスで調整中は、ピーキング (輪郭強調)表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。ブラウザーリモート (〇〇 127)を使って調整することもできます。

マニュアルフォーカス:	レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操 作ボタンを押して手動でフォーカスを調整する。
ワンショットAF*2:	ONE-SHOT AFボタンやブラウザーリモートで一時的に自動調整する。
AFブーストMF* ² :	大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。 AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。
コンティニュアスAF*2:	フォーカスを常に自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定する ことも可能。
顔検出AF*2:	人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。

追尾*2: 選んだ被写体を認識し、被写体が動いても追尾する。

*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる (〇) 244)

*2マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。





フォーカスを調整する

調整方法と必要な設定

調整方法		EFレンズのフォーカス モードスイッチ ^{*1}	AFモード*2	
	フェーカフリング	MF	—	
マニュアルフォーカス	フォールスリンク	AF* ³		
	ブラウザーリモート	AF	ワンショット	
	ONE-SHOT AFボタン	٨٢	ワンショット	
JJJJ J J PAF	ブラウザーリモート	Аг		
AFブーストMF	フォーカスリング+自動	AF		
	ブラウザーリモート+自動	AF	AFJ—ARMF	
	自動(カメラ本体)	٨E	連続	
	自動(ブラウザーリモート)	Аг		
顔検出AF*4 /追尾*4	カメラ本体	٨٢	ワンショット/	
	ブラウザーリモート	AF	AFブーストMF /連続	

*1 フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ (11 244)の操作については、下表を参照のこと。

*2 県カメラ設定メニュー > 「フォーカス」 > 「AFモード」の設定。

*3 レンズによってはフォーカスリングによる調整ができないことがある。

*4 県カメラ設定メニュー »「フォーカス」の、「顔検出&追尾」で有効にする。追尾は、さらに「追尾」アサインボタンで有効にする。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ/マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス/マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

■ マニュアルで調整する

マニュアルでフォーカスを調整します。

 ① "県カメラ設定メニュー >「フォーカス」>「AFモー # AFJ-32/MF ### ① 「ワンショット」を選ぶ > SETを押す。 ② 「ワンショット」を選ぶ > SETを押す。 		┃ AFモードを「ワンショット」に設定する	★ カメラ設定 「見 フォーカス 「ひ ワンジョット
	(SET)	 ● ● カメラ設定メニュー > 「フォーカス」> 「AFモード」を順に選ぶ。 ② 「ワンショット」を選ぶ > SETを押す。 	20 AFモード AFブーストMF 11 連続 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11





MEMO

- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使うとき、初期設定では、RC-V100のFOCUS (フォーカス) ダイヤルを右に 回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング (輪郭強調)表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

デュアルピクセルフォーカスガイド



FOCUS GUIDE(フォーカスガイド)ボタンを押すと、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整 方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味(調整方向、調整量)は次の とおりです。「顔検出&追尾」と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表 示されます。 (図アシスト設定メニュー »「フォーカスガイド」で入/切することもできます。



フォーカスを調整する

•••••

フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠(1084)を移動します。

1 フォーカスガイド枠を移動する

ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチ*する。
 * LCDモニター LM-V1装着時のみ。

● ガイド枠が移動する。

MEMO

●オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件/設定(□ 89)では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

.

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき

- ワンショットAFの調整中や、コンティニュアスAFで調整中。
- 現在のF値がF11以上のとき。
- 一部のEFシネマレンズ (□ 244)を除く、マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- デュアルピクセルフォーカスガイドを「顔検出&追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目の位置から ずれることがあります。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

PEAKING	1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す	
	● 画面に ����� または ���� が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。 ● もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。 ● 醫アシスト設定メニュー ➤ 「Peaking」 ➤ 「設定」でピーキング表示を入/切することもできる	3.
	2 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ ① 圏アシスト設定メニュー > 「Peaking」 > 「選択」を 順に選ぶ。 ② 「Peaking 1」、「Peaking 2」のいずれかを選ぶ > SET を押す。	

拡大表示

MAGN.	1	MAGN.(拡大)ボタンを押す	50 mm A2 0235
		 画面に (MG) が表示され、画面の中心部*を中心に約2倍に拡大される。 * 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。 	A001C031 ۲۰۰۰ - ۲۱٬۵۰۰ ۵۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹۰۱ ۹



2 必要に応じて拡大位置を移動させる

① ジョイスティックを上下左右に押すかSELECTダイヤルを回して、拡大位置を移動させる。
 LCDモニター LM-V1(別売)装着時は、LM-V1の画面をドラッグして移動させる。
 ● 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。

● もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

MEMO

ピーキング/拡大表示を使うとき

- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、圏アシスト設定メニュー > 「Peaking」> 「Peaking 1」または [Peaking 2]でそれ ぞれ設定できます。
- 液晶モニター、ファインダー、出力端子(MON.端子、HDMI OUT端子)に出力できます。各出力はメニューで個別に 入/切できます(□ 208、209)。
- 「Peaking」サブメニューまたは「Magnification」サブメニューの「フォーカスアシスト白黒」(CC 209)で、画面を自動的 に白黒表示にできます。
- ■記録される動画/静止画には影響しません。
- 圏アシスト設定メニュー > 「Magnification」> 「記録時有効」を「入」にすると、記録中に拡大表示を使用できます。 このとき、顔検出&追尾と、ブラウザーリモートのライブビュー映像表示は使用できません。

ワンショットAFで調整する

AF枠内の被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。AF枠の位置・サイズ は変更できます。

	 1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFIcする ● フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする(① 83)。 ● 画面にAFが表示される。
(SET)	2 AFモードを「ワンショット」に設定する ① 「県カメラ設定メニュー >「フォーカス」 >「AFモー ド」を順に選ぶ。 ② 「ワンショット」を選ぶ > SETを押す。 ③ 必要に応じてAF枠の位置 / サイズを変更する (□ 90)。

フォーカスを調整する



MEMO

ワンショットAFが動作しないとき

- スロー &ファストモーション記録のとき。
- シャッタースピードのモードがスローで、設定値が1/4秒または1/3秒のとき。
- 顔検出AFが「顔限定」で、顔が検出されていないとき。
- 現在のF値がF11以上のときは、従来方式 (コントラストAF)で調整します。

🛛 AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。 4K撮影でピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整 動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

	1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする
MF	 ● フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオート にする(□ 83)。 ● 画面にAFが表示される。
	2 AFモードを「AFブーストMF」に設定する
(* (SET))+)	 ● フォーカス位置が手動調整領域内のときは、回面に黄色の枠(AFブーストMF枠)が表示される。 ③ 必要に応じてAF枠の位置/サイズを変更する(□ 90)。
ATA	3 フォーカスリングを回して、調整する
	● フォーカス位置が合集位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自 動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

コンティニュアスAFで調整する

画面中央の縦横それぞれ80%のエリア内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。



(MEMO)

● オートフォーカスで調整するときにピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によって わずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレートが29.97P、25.00P、24.00P、23.98Pのいずれかのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

対応するEFレンズ装着時はオートフォーカスの調整速度や応答性を変更できます。対応レンズの詳細については、キヤ ノンのホームページをご覧ください。

- '用カメラ設定メニュー > 「フォーカス」> 「AFスピード」で、AFスピード*を10段階で選択できます(□198)。 * ピントが合うまでの速度。
- '■カメラ設定メニュー > 「フォーカス」> 「AFスピード適用条件」で、AFスピードの設定が常に有効か、記録中のみ 有効かを選択できます (◯ 198)。
- '
 ,
 カメラ設定メニュー > 「フォーカス」> 「AFレスポンス」で、AFの応答性を7段階で選択できます (□1 199)。
- コンティニュアスAFで調整中にONE-SHOT AFボタンを押し続けると、一時的に最大のAFスピード/応答性で調整します。ピントが大きく外れた状態から素早く合焦させたいときや、合焦状態を維持して被写体に追従したいときなどに使用します。

コンティニュアスAF が動作しないとき

- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。オートアイリスに対応したEFレンズ (□ 244)装着時を除く。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。
- スロー &ファストモーション記録のとき。

フォーカスを調整する

•••••



フォーカス位置を固定する(AFロック)

1

コンティニュアスAFまたはAFブーストMF中にフォーカス位置を固定することができます。「AFロック」を割り当てたア サインボタン (① 138)を押して操作します。

例: カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる場合

カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる (🛄 138)



- 7 オートフォーカスの動作中 カメラアサイン8ボタンを押す
 - フォーカスが固定され、画面の白い枠(AF枠)と▲ が灰色に変わる。顔を検出中は、主な 被写体の顔に灰色の枠が表示される。
 - もう一度押すと解除される。

MEMO

AFロックが自動的に解除されるとき

- 電源の切/入、システム周波数の変更を行ったとき。
- レンズを着脱したとき。
- AFモードを「ワンショット」に変更したとき。
- スロー &ファストモーション記録のとき。

■ AF枠の位置/サイズを変更する

オートフォーカスで調整するときに、画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。



顔を検出してフォーカスを合わせる (顔検出AF)

人物の顔を検出して、検出した複数の人物の中から主な被写体を自動的に決定し、主な被写体が動いても自動的に追 尾します。オートフォーカス機能を併用すれば、主な被写体に自動的にピントを合わせることができます(顔検出AF)。 また、デュアルピクセルフォーカスガイドを使用すれば、主な被写体に手動でフォーカス調整することもできます。さ らに、主な被写体を変更することもできます。

	1 顔検出&追尾を有効にする	
(SET)	 「一、一、カメラ設定メニュー >「フォーカス」>「顔検出&追尾」を順に選ぶ。 「ク」を選ぶ > SETを押す。 「切」を選ぶと顔の検出を行わない。 「一、一、「フォーカス」>「顔検出 AF」を順に選ぶ。 顔が検出されないときの動作を選ぶ > SETを押す。 顔優先: AFモードの設定に応じた調整方法になる。 顔限定: ピントが固定される。 画面に ③(顔優先)または ③(顔限定)が表示される。 	顏受先 顏羨定

フォーカスを調整する



			顔検出AF				
AFモード	フォーカス操作	Ē	領優先	顔限定			
		顔の検出あり	顔の検出なし	顔の検出あり	顔の検出なし		
ワンショットAF	ボタン押下なし (マニュアルフォーカス)	マニュアルフォーカス					
	ボタン押下あり (ワンショットAF動作中)	検出した	AF枠内の	検出した 顔に合焦	マニュアル フォーカス		
コンティニュアスAF	自動調整	顔に合焦	被写体に合焦				
AFブーストMF	自動調整中						
	自動調整していないとき (黄色の枠が表示中)		マニュアルフォーカス				

MEMO

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。顔が上下逆さまのとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードが1/30秒未満(システム周波数が59.94 Hz時)、1/25秒未満(同50.00 Hz時)、1/24秒未満(同24.00 Hz時)のとき。
- スロー&ファストモーション記録モードのとき。
- マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- 〇アシスト設定メニュー > 「Magnification」 > 「記録時有効」が「入」のとき。
- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出&追尾」を「切」にしてください。
- ●「顔検出&追尾」や「顔検出AF」を割り当てたアサインボタンを押して、それぞれの操作をすることもできます(□1138)。

フォーカスを調整する

■ 選んだ被写体を追尾する

ねらった被写体を追尾し、AFモードの設定に応じて、追尾対象の被写体にピントを合わせることができます。

例:カメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる場合



MEMO

● 特徴が似た別の被写体を誤って追尾することがあります。そのときは、被写体を選択しなおしてください。



ズーム調整に対応するEFシネマレンズ(□ 244)を装着すると、本機からズームを操作することができます。 また、ブラウザーリモート(□ 134)から操作することもできます。



カメラからのズーム調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
$CN7 \times 17$ KAS S/E1 $CN20 \times 50$ IAS H/E1	ズームサーボ/マニュアル切替えノブ	SERVO
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	ズーム切替えノブ	SERVO

1 レンズのズーム設定をSERVOにする

SET	2 ズーム操作を有効にする ① 「 ① 「 ⑦ ○ ⑦
SETT	3 ズームスピードを選ぶ ① 「県カメラ設定メニュー >「本体グリップズーム」 >「スピード」を順に選ぶ。 ② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ > SETを押す。 ○ ズームスピードは固定速で、値が大きいほど高速 になる。
	 4 本体のグリップのジョイスティックを上下に操作して、ズームを調整する ● 上に操作すると望遠(テレ)方向に、下に操作すると広角(ワイド)方向に調整できる。

MEMO

● リモートコントローラー RC-V100(別売)のZOOMダイヤルを使って、調整することもできます。

● ズームスピードを低速に設定していると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。



撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

■ マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。



① 圏アシスト設定メニュー > 「マーカー」>「表示」を順に選ぶ。
 ②「入」を選ぶ > SETを押す。
 ● マーカーが表示可能になる。
 ● マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

表示したいマーカーを選ぶ

異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の 設定をします。

例:センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



マーカー/ゼブラパターンを表示する

×	アシスト設定		
-	マーカー		
CP	水平		
h)	グリッド	切	
-0	アスペクトマーカー	切	1
	アスペクト比	2.39:1	
188	セーフティーゾーン	切	
4			
★1	セーフティーゾーン面積	95%	

2 表示するマーカー (セーフティーゾーンマーカー)を選ぶ

- ・⑦ 四アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「セーフティーゾーン」を順に 選ぶ。
- ②「切」以外を選ぶ > SETを押す。
 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
 セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。
- 3 マーカー (セーフティーゾーンマーカー)の個別設定 (セーフ ティーゾーン基準、セーフティーゾーン面積)を行う
 - ① 圏アシスト設定メニュー »「マーカー」»「アスペクトマーカー」を順 に選ぶ。
 - ②「切」以外を選ぶ > SETを押す。
 - アスペクトマーカーの表示が有効になる。
 - ③「セーフティーゾーン基準」を選ぶ > SETを押す。
 - ④「映像全体」または「アスペクトマーカー領域」を選ぶ ≥ SETを押す。
 - ⑤「セーフティーゾーン面積」を選ぶ > SETを押す。
 - ⑥「80%」、「90%」、「92.50%」、「95%」のいずれかを選ぶ > SETを押す。
 選択した基準と面積を元にセーフティーゾーンの領域が変更される。

MEMO

アスペクトマーカーのアスペクト比をカスタマイズするには

- ① 〇アシスト設定メニュー » 「マーカー」 » 「アスペクト比」で 「カスタム」を選ぶ » SETを押す。
- ②「カスタムアスペクト比」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して値を選ぶ > SETを押す。
- ④ ③を繰り返して任意のアスペクト比を入力し、「セット」を選ぶ ≫ SETを押す。
- ●他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます(□ 60)。
- ●「マーカー」を割り当てたアサインボタンを押して、マーカー表示を入/切することもできます(□□138)。

■ ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼ ブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1

設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは5±5%~95±5%の範囲 (5%刻み)で設定可能。

ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは0%~100%の範囲(5%刻み)で設定可能。





ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

マーカー/ゼブラパターンを表示する

ゼブラパターン表示を入/切する



ZEBRA(ゼブラ)ボタンを押す。圏アシスト設定メニュー »「Zebra」»「設定」で入∕切することも できます。

ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



MEMO

● ゼブラパターンは、液晶モニター、ファインダー、出力端子(MON.端子、HDMI OUT端子)に出力できます。各出力は メニューで個別に入/切できます(□ 208)。

タイムコードを設定する

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、 映像とともに記録メディアに記録されるほか、REC OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子またはTIME CODE 端子(1100)に出力できます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードをREC OUT端子または MON.端子に出力できます。また、外部のタイムコードジェネレーターに同期することもできます(11100)。 また、「システム周波数」が「59.94 Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

カウントアップ方式を選ぶ CAMERA MEDIA

歩進モード	歩進方法	内容
Preset (プリセット)	Rec Run (レックラン)	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run(フリーラン)	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen. (リジェネ)	_	タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録している間、タイム コードは記録したクリップの順で連続する。

★ 映像/描子設定 〒 Time Code アreset カリ モード Regen. ピ 日 日 日 日 本 1 *	1	 歩進モードを選ぶ ① □ 映像/端子設定メニュー > 「Time Code」 > 「モード」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。 ● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。
	2	「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ ① □ 映像/端子設定メニュー > 「Time Code」 > 「Run」を順に選ぶ。 ② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ > SETを押す。
★ 映像/描子設定 Time Code ・ 5 か) モード Preset Run Rec Run DF/NDF DF TC In/Out In ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3	 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する ① □ 映像/端子設定メニュー > 「Time Code」 > 「設定」を順に選ぶ。 ② 「セット」を選ぶ > SETを押す。 ● タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。 ● 「リセット」を選びSETを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。 ● 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。 ③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して数値を選ぶ > SETを押す。 ④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ > 「セット」を選ぶ > SETを押す。

● 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコード から歩進する。

97

タイムコードを設定する

ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り換える CAMERA MEDIA

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えることができます。なお、フレームレートが 29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定されます。



① □□映像/端子設定メニュー > 「Time Code」> 「DF/NDF」を順に選ぶ。
 ② 「DF」または「NDF」を選ぶ > SETを押す。
 ● DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
 DFのとき 00:00:00
 NDFのとき 00:00:00

| タイムコードを保持する (タイムコードホールド) CAMERA MEDIA

「Time Codeホールド」を割り当てたアサインボタン(CL 138)を押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「H」が表示されるほか、表示パネルに「HOLD」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* TIME CODE端子、REC OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子に重畳されるタイムコード、および「表示文字記録」(C 212)で映像に重ねて記録する画面表示上のタイムコードはホールドされません。HDMI OUT端子の出力映像に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について

29.97P STBY	→ (00:00:08.15 P)	R :	Regen.(リジェネ)設定時
		Ρ÷	Rec Run (レックラン) 設定時
		F	Free Run(フリーラン)設定時
		E	タイムコード外部入力時
		H :	タイムコードホールド時
		表示なし	:再生時

(MEMO)

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98P / 24.00Pのときは0~23、25.00P / 50.00i / 50.00Pのときは0~24、それ以外は0~29となります。
- インターバル記録、フレーム記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ●ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になること があります。
- コイン型リチウム電池の残量があれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。
- ●「Time Code」を割り当てたアサインボタンを押して、「Time Code」サブメニューを表示することができます(□1 138)。

ユーザービットを設定する CAMERA MEDIA

8桁の16進数(0~9、A~Fの英数字)、時刻または日付(年月日)をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。外部機器からタイムコードと同時にユーザービットを入力しているときは、外部入力したユーザービットを記録することもできます(□101)。

任意の16進数を設定する

★ 映像/海子設定 明 User Bit	1	 「設定」を選ぶ ① □ 映像/端子設定メニュー > 「User Bit」 > 「タイプ」 > 「設定」を順に選ぶ。 ② 「セット」を選ぶ > SETを押す。 ● ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。 ● 「リセット」を選びSETを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」に リセットされる。
		● 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
User Bit タイプ 設定	2	8桁の任意の16進数を入力する
		 ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して英数字を選ぶ > SETを押す。
セット リセット		 ② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ > 「セット」を選ぶ > SETを押す。

時刻または日付を設定する



- ① 🖾 映像/端子設定メニュー > 「User Bit」 > 「タイプ」を順に選ぶ。
- ②「時刻」または「日付」を選ぶ > SETを押す。

.

外部機器と同期をとる

ゲンロック(GENLOCK)によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。同期 にはGENLOCK/SYNC OUT端子を使い、外部の同期信号を本機に入力するときはGenlock入力に、本機から 同期信号を出力するときはSync出力に、メニューで切り換えます。また、本機のタイムコードを外部入力 のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のカメラに入力 すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のカメラに出力してマルチカ メラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影/再生時にREC OUT端子/ MON.端子の出力を編集機など に入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。

接続のしかた

映像信号を同期させるとき

GENLOCK/SYNC OUT端子に下図のように接続して、リファレンスビデオ信号*を入出力します。GENLOCK/SYNC OUT端子はメニュー(後述)で端子の機能を切り換えて使用します。

* リファレンスビデオ信号として、入力にはHD三値信号またはアナログ・ブラックバースト信号が、出力にはHD三値信号が使用できます。

タイムコードを同期させるとき



外部のリファレンスビデオ信号に同期する(GENLOCK) CAMERA MEDIA

同期信号(アナログブラックバースト信号またはHD三値信号)をGENLOCK/SYNC OUT端子に入力すると、自動的に内部の V同期/H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲でH位相を調整することもできます。

★ 映像/端子設定 一 GENLOCK/SYNC OUT端子 CP HD Sync出力	1	GENLOCK/SYNC OUT端子の機能を「Genlock入力」に設定する		
》 (第7 Genice2スカ ピ □ 号 デ ★		 □ □ 映像/端子設定メニュー > 「GENLOCK/SYNC OUT端子」 > 「選択」を 順に選ぶ。 ② 「Genlock入力」を選ぶ > SETを押す。 		
GENLOCK/SYNC OUT端子 Genlock調整	2	H位相を調整する		
0 0 セット		 (1) □ 映像/端子設定メニュー > 「GENLOCK/SYNC OUT端子」 > 「Genlock 調整」を順に選ぶ。 ② -1023から1023の範囲で調整値を選ぶ > 「セット」を選ぶ > SETを押す。 		

(MEMO)

- 同期可能なGENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- 入力されたGENLOCK信号を検知すると、画面に Gen が点滅して表示され、入力信号に本機がロックすると点灯に変わります。
- 不正なGENLOCK信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。この場合、タイムコードの記録も乱れることがあります。

■ 外部のタイムコード信号に同期する(タイムコード入力) CAMERA MEDIA

TIME CODE端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。同時に入力されるユー ザービットも記録できます。なお、TIME CODE端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードの カウントアップ方式(CLI 97)が「Free Run(フリーラン)」のときのみ、タイムコードを入力できます。



① 回映像/端子設定メニュー > 「Time Code」 > 「TC In/Out」を順に選ぶ。
 ② 「In」を選ぶ > SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットを記録することができます。



(MEMO)

- 記録信号形式のフレームレートが23.98P / 24.00Pのときは24フレーム信号のタイムコード、25.00P / 50.00i / 50.00Pの ときは25フレーム信号のタイムコード、その他のフレームレートのときは30フレーム信号のタイムコードを入力でき ます。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。
- 入力されたタイムコードに本機がロックすると、表示パネルに「EXT-LOCK」が表示されます。
- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、□□映像/端子設定メニュー >「Time Code」 >「モード」と「Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります(入力されるタイムコードがノンドロップフレームのときは、表示パネルにNDFが表示されます)。

タイムコードの同期が乱れる場合

ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入/切、メディアモードへの切り換え
- 記録信号形式の変更

■ リファレンスビデオ信号を出力する CAMERA MEDIA

本機のGENLOCK/SYNC OUT端子から同期信号としてリファレンスビデオ信号(HD三値信号)を出力できます。出力される信号は、REC OUT端子の出力信号形式とメニューの設定(後述)によって決まります。

×	映像/端子設定 GENLOCK/SYNC OUT端子		
CP		HD Sync出力	
b 1)	選択	Genlock入力	
-9			
l 📾			
龗			
é			
+			
~1			

 ① □ 映像/端子設定メニュー > 「GENLOCK/SYNC OUT端子」> 「選択」を順に 選ぶ。

- ② [HD Sync出力]を選ぶ > SETを押す。
- ③ 必要に応じて、□□映像/端子設定メニュー >「GENLOCK/SYNC OUT端子」
 >「SYNCスキャンモード」で、「P」と「PsF」を切り換える。

REC OUT端子の			
解像度	フレームレート	3110001编于(110二间信号)	
4096 × 2160	29.97P	1080/29.97 (P/PsF)	
3840×2160	25.00P	1080/25.00 (P/PsF)	
2048×1080	24.00P	1080/24.00 (P/PsF)*	
1920×1080	23.98P	1080/23.98 (P/PsF)	
2048×1080 1920×1080	59.94 (P/i)	1080/59.94i	
	50.00 (P/i)	1080/50.00i	

* Slow & Fastモーションモードの場合、撮影フレームレートが1~30のときは1080/30.00 (P/PsF)に、31~60のときは1080/60.00iとなる。 また、Slow & Fastモーション(CROP)モードのときは、1080/60.00iとなる。

タイムコードを出力する CAMERA MEDIA

本機のタイムコードを、LTC規格の信号でTIME CODE端子から出力します。その際、ユーザービットも同時に出力されま す。また、REC OUT端子/ MON.端子の出力にはエンベデッドタイムコードが重畳されます。さらに、**合**記録/メディア 設定メニュー > 「HDMI Time Code」を「入」にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳することもできます(① 203)*。 TIME CODE端子はメニューで出力モードに切り換えます。

* インターバル記録、フレーム記録、スロー&ファストモーション記録のときを除く。

音声を記録する CAMERA MEDIA

本機では、4チャンネルのリニアPCM記録方式の音声を記録/再生できます。サンプリング周波数は48kHz、 量子化ビット数は24ビットと16ビットが選択できます。収録する音声は、外部マイク(INPUT端子)、外部 ライン入力(INPUT端子)、外部マイク(MIC端子)、モノラルマイク*(内蔵)から選びます。また、REC OUT 端子/ MON.端子またはHDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声 信号を外部レコーダーで記録することもできます。

* ボイスメモの用途に使用します。



記録音声と必要な設定

CH1~ CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、INPUT端子の状態やMIC端子へのマイクの接続有無、メニュー設定から決まります。

記録音声			必要な設定								
CH1	CH2	CH3	CH4	INPUT端子の 状態* ¹	MIC端子への マイク接続	「CH2 Input」 *2	モノラル マイク* ³				
INPUT1端子	INPUT2端子		MIC端子 (R)	有効	有	INPUT2	_				
	INPUT1端子	WIIC 师丁 (L)				INPUT1					
	INPUT2端子		モノラル マイク		無	INPUT2					
	INPUT1端子	エノヨル				INPUT1					
MIC端子 (L)	MIC端子(R)	マイクマイク		マイク	マイク	マイク	マイク		有	_	入
モノラル マイク	モノラル マイク						無効	無	_		

*1 モニターユニットまたはマイクロホンアダプター MA-400(別売)と、本機との接続 (AUDIO端子)の有無。

*2 ♪ハオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「CH2 Input」の設定 (□ 200)。

*3 ♪))オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「モノラルマイク」の設定(□ 200)。

MEMO

● 各記録チャンネルの設定状態は、ステータス画面で確認できます(□216)。

....

■ 量子化ビット数を選ぶ CAMERA MEDIA

記録/出力する音声の量子化ビット数は、24ビットまたは16ビットが選択できます。



① ♪リオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「量子化ビット数」を順に選ぶ。 ② いずれかを選ぶ > SETを押す。

| 外部マイク/外部ライン入力機器を本機に接続する

INPUT端子にはXLRコネクターの外部マイク/外部ライン入力機器を、MIC(マイク)端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。なお、INPUT端子を使用するときは、本機にモニターユニットまたはマイクロホンアダプター MA-400 (別売)*を取り付ける必要があります。これらユニットのマイクホルダーには、Φ19 ~ 20 mmのマイクを固定できます。

* モニターユニット (🛄 27)と同様に本体またはハンドルに取り付け、AUDIO端子のみ接続します。



音声を記録する

....

■ 外部マイク(INPUT端子) / 外部ライン入力(INPUT端子)の音声を選択する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。



INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチをLINE(ライン)またはMIC(マイク)にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源を ONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- INPUT端子を1チャンネルのみ使用するときは、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

● +48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2に INPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設 定することもできます。



- ① ♪リオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「CH2 Input」を順に選ぶ。
- ②「INPUT2」または「INPUT1」を選ぶ ➤ SETを押す。

INPUT 2: INPUT 1 / INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。 INPUT 1: INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子 の音声は録音されない。

INPUT端子の録音レベルを調整する

INPUT端子の録音レベルはチャンネルごとにオート/マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する



録音レベル切り換えスイッチをA(オート)にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

撮

INPUT 1 / INPUT 2端子の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 / INPUT 2端子が同じ音声入力 (外部ライン入力または外部マイク)に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。♪)オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」>「INPUT 1/2 ALCリンク」(□ 200)で設定します。

マニュアルで調整する

INPUT 1 / INPUT 2端子の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は-∞~+18 dBの範囲で行うことができます。調整後、 (AUDIO) カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。



音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマ ニュアルで調整するときに、入力レベルが約−6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止 します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、♪リオーディオ設定メ ニュー > 「Audio Input」 > 「INPUT 1/2 リミッター」(□ 200)で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター 上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- [Audio Level]を割り当てたアサインボタンを押して、オーディオレベルメーターの表示を入/切することができます。 (□ 138)

••

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① ♪Nオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「INPUT 1 Micトリミング」ま たは「INPUT 2 Micトリミング」を順に選ぶ。 ② 下記のいずれかを選ぶ > SETを押す。 +12 dB、+6 dB、0 dB、 -6 dB、 -12 dB

外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します (Att.: Attenuator)。



① ♪ハオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「INPUT 1 Mic Att.」 または 「INPUT 2 Mic Att.」を順に選ぶ。 ② [入 |を選ぶ > SETを押す。 ● マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

外部マイク (MIC端子)の音声を選択する

録音レベルを調整する

外部マイク(MIC端子)の録音レベルを調整します。録音レベルはオートまたはマニュアルで設定できます。オートにす ると自動調整され、マニュアルにすると0~99の範囲で手動調整できます。



③ SETを押す。

MEMO

 ● 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター 上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。

外部マイク (MIC端子)の特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



- ① ♪リオーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「MICローカット」を順に選ぶ。
 ② 次のいずれかを選ぶ > SETを押す。
 - 入:海辺やビルの近くなど風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の 「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の 音と一緒に低減される。
 - 切:一般的な音を録音するとき。

外部マイク (MIC端子)のアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます。



- ♪)オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「MIC Att.」を順に選ぶ。
 ②「入」を選ぶ > SETを押す。
 - マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

■ モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ (モノラル音声)を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。モノ ラルマイクを使用するときはメニューで有効にします。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されま す。



♪)オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「モノラルマイク」を順に選ぶ。
 (2) 「入」を選ぶ > SETを押す。

(MEMO)

● MIC端子にマイクを接続し、かつ本機にモニターユニットまたはマイクロホンアダプター MA-400(別売)を接続すると、 モノラルマイクは使用できません。
音声を記録する

ヘッドホンでモニターする



Φ3.5 mmステレオミニプラグのヘッドホンをΩ(ヘッドホン)端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

.

MEMO

音量を調整するには

- ♪リオーディオ設定メニュー > 「Audio Output」 > 「ヘッ ドホン音量」で調整する。
- ■「ヘッドホン+」または「ヘッドホン-」を割り当てたア サインボタンで操作する(□138)。

カラーバー/テストトーンを出力する CAMERA MEDIA

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを表示/出力できます。また、 同時に1kHzのテストトーンを出力することもできます。

出力先

	液晶モニター/ ファインダー	REC OUT端子	MON.端子	HDMI OUT端子	○(ヘッドホン端子)
カラーバー	•	_	•	•	_
テストトーン		•	•	•	•

■ カラーバーを表示/出力する

表示/出力するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。

★ カメラ設定 「売 カラーバー ■ ち	1 カラーバーを表示する
→ <u>表示 切</u> 1 <i>3-4ブ</i> SMPTE 中 電 ぐ	 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
*:	 ● 画面にカラーバーが表示される。 ③ ■ 用カメラ設定メニュー > 「カラーバー」> 「タイプ」を順に選ぶ。 ④ 「SMPTE」、「FBU」、「ARIB」のいずわかを選ぶ > SFTを押す。
	 ● START/STOPボタンを押す、電源を切る、メディアモードに切換える、 のいずれかを行うと、自動的に「切」になる。

(MEMO)

- ●「カラーバー」を割り当てたアサインボタンを押して、入/切することもできます(□138)。
- 査記録/メディア設定メニュー > 「記録コマンド」が「入」の場合、カラーバーはMON.端子とHDMI OUT端子から出力 されません(撮影一時停止中を除く)。

■ テストトーンを出力する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて-12 dB、-18 dB、-20 dBから選ぶことができます。



① ♪)オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」 > 「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
 ② 「-12 dB」、「-18 dB」、「-20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ > SETを押す。
 ● 選択したレベルのテストトーンが出力される。



画面に波形モニター(Waveform Monitor)を表示することができます。波形モニターのタイプは6種類から 選択できます。また、波形の倍率を1倍と2倍から選択できます。

WFM	 1 モニター表示を有効にする ① WFM(波形モニター)ボタンを押す。 ● WFM(波形モニター)ボタンを押すたびにモニター表示が入/切される。 ● 圏アシスト設定メニュー > 「WFM」 > 「設定」で入/切することもできる。 ● 圏アシスト設定メニュー > 「WFM」 > 「Waveform Monitor」 > 「位置」で、波形モニターの 表示位置 (右/左)を選択できる。
	1波形モニターのタイプを選ぶ① 圏アシスト設定メニュー > 「WFM」 > 「Waveform Monitor」 > 「タイプ」を順に選ぶ。② 次のいずれかを選ぶ > SETを押す。ライン :ライン表示する。ライン+スポット :ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。ラインセレクト :赤い横線における波形を表示する。フィールド :フィールド表示する。RGB :R、G、B信号をパレード表示する。YPbPr :Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。
(SET)	 2 ラインセレクトを選んだとき 波形を表示す るラインのY座標を設定する ①「ラインセレクト」を選ぶ > SETを押す。 ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤル を回して、ラインのY座標値を選ぶ。 ③「セット」を選ぶ > SETを押す。 ● 垂直解像度が1080のときは0 ~ 1079の範囲 (1ライン刻み) で、垂直解像度が2160のときは0から2158の範囲 (2ライン刻み)で設定する。
	 3 波形の倍率を選ぶ ① ヘアシスト設定メニュー >「WFM」>「Waveform Monitor」>「Gain」を順に選ぶ。 ② 「1x」(1倍)または「2x」(2倍)を選ぶ > SETを押す。 「2x」を選んだとき 「Yポジション」を選ぶ > SETを押す。 ※形モニターの縦軸(輝度)の表示範囲が50%になり、表示開始輝度(%)を選択できる。 ② 「0%」、「15%」、「30%」、「45%」、「50%」のいずれかを選ぶ > SETを押す。

MEMO

- 波形モニターは、液晶モニター、ファインダー、出力端子 (MON.端子、HDMI OUT端子)に出力できます。出力先はメ ニューで個別に入/切できます (◯ 210)。
- 液晶モニターやファインダーの映像にLUTを適用していても、波形モニターの波形には影響しません。

111

ショットマークを付加する CAMERA MEDIA

撮影中、CFastカードに記録されたクリップの重要なフレームにショットマークを付加できます。ショットマークを付加しておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークをつけたフレームだけをインデックス表示して、目的のフレームをすばやく探すことができます。ショットマークには、ショットマーク1とショットマーク2があり、それぞれ独立して付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加/消去することもできます(①172)。

|撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマーク1またはショット マーク2を割り当てる必要があります。

例:カメラアサイン 8ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマーク1を付加する場合



MEMO

- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。
- インターバル記録モードまたはフレーム記録モードで撮影中は、ショットマークを付加できません。
- ショットマークを付加すると、メディアモードのインデックス画面で、クリップサムネイルの横に≦が表示されます。



カメラモードで最後にCFastカードに記録したクリップに、OKマークまたはチェックマークを付加することができます。OKマーク/チェックマークを付けておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークを付けたクリップだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。OKマーク/チェックマークは、メディアモードで再生中またはインデックス画面で付加することもできます(□166)。

撮影中にOKマーク/チェックマークを付加する

例:カメラアサイン8ボタンに「**∞**Mark追加」または「**∞**Mark追加」を割り当てて、マークを付加する場合



MEMO

● OKマークとチェックマークは、同じクリップに同時に付加することはできません。

メタデータを操作する CAMERA MEDIA

本機で記録したクリップにはメタデータが付加されます。付加されたメタデータは、ソフトウェアCanon XF Utility(以下、XF Utility)で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。 設定されるメタデータは、以下のとおりです。設定のしかたは項目によって異なります。

		メタデータ				
		ユーザーメモ		撮影情報	カメラ設定情報	山川の武方佐桂忠
		クリップタイトル、 撮影場所、撮影内容	GPS情報	シーン、テイク	シャッター、ISO感度/ ゲインなどの撮影時設定	([1] 203)
	カメラ	_	●*1	•	_*2	•
設定	XF Utility	•	•*3	_	_	_
	ブラウザー リモート	٠	•	_	_	_
参照	XF Utility	•	•	•	•	_

*1 GPSレシーバー GP-E1(別売)装着時のみ、撮影時に自動的に記録される(1111)。

*2 撮影時に自動的に記録される。

*3 記録されたクリップに対してのみ設定可能。

XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを 選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityについては「クリップをパソ コンに保存する」(CL) 186)をご覧ください。

	1 XF Utilityでユーザーメモを設定し、SDカードに保存する 参考 ▶ XF Utilityの使用説明書
	2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARDスロットに入れる
(SET) +	3 メタデータの設定方法を選ぶ ① 合記録/メディア設定メニュー >「メタデータ」 >「設定」を順に選ぶ。 ② 「SDカード」を選ぶ > SETを押す。 ★ ★ ★
	 4 ユーザーメモファイルを選ぶ ① 査記録/メディア設定メニュー >「メタデータ」> 「User Memo」を順に選ぶ。 ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤル を回して、SDカードに保存されているユーザーメ モのファイル名のいずれかを選ぶ > SETを押す。 ● 面面に WWD が表示される。 ●「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。

MEMO

録/メディア設定

(未設定)

 マ メタデータ
 マ シ カメライン
 カメライン
 ロール番号
 クリップ語
 コーザー

- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。
- XF Utilityを使ってユーザーメモを設定するとき、設定は撮影前に行ってください。CFastカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。
 * XF Utilityを使用して変更することができます。
- GPSレシーバー GP-E1(別売)を装着してGPSを有効にしているときは、SDカードからユーザーメモを指定しても、ユー ザーメモは付加されません。

撮影情報 (シーン、テイク)を設定する



2 任意の文字列を入力する

- ① 「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ② 文字列を入力し、「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□ 33)。

GPS情報を記録する CAMERA MEDIA

本機の拡張システム端子() 12)にGPSレシーバー GP-E1(別売)を装着して撮影すると、クリップのメタデータ() 114)にGPSから取得した位置情報(緯度、経度、標高。以下「GPS情報」)を記録できます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます() 165)。また、Canon XF Utility() 186)では、GPS情報を使ってクリップを検索することができます。GP-E1の取り付け方や詳細についてはGP-E1の説明書をご覧ください。

GPSレシーバーを取り付ける



GPSを有効にする



- ① ♥システム設定メニュー > 「GPS」 > 「設定」を順に選ぶ。
- ②「入」を選ぶ ≻ SETを押す。
 - GPS機能が有効になる。画面に分が点滅表示されGPS衛星を探索する。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



- - 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態に なったときに日時を自動設定する。
 - GPS自動時刻設定が有効のときは、 ♥システム設定メニュー > 「日時設定」は使用できません。

GPS情報を記録する

ご注意

● GPSレシーバーは、使用する国/地域の法令等の規制に従って使用してください。国/地域によってはGPSの使用な どが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。

- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 動画に記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます(□ 216)。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 動画から切り取った静止画には、GPS情報は記録されません。

レックレビューで確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのままで、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像 をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

例:カメラアサイン8ボタンに「レックレビュー」を割り当てる場合



(MEMO)

● 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となった メディア内のクリップが再生されます。

プロキシ動画を同時に記録する CAMERA MEDIA

CFastカードにメインの動画を記録しながら、SDカードにプロキシ動画を記録できます。プロキシ動画の記録信 号形式は2K YCbCr 4:2:0 8 bitで、ビットレート*は24 Mbps / 35 Mbpsと比較的低いため、オフライン編集に向 いています。また、LUTを指定すれば、メイン動画と異なる色空間/ガンマに変換して記録することもできます。 * メイン動画の記録信号形式に応じて自動的に決まります。

プロキシ動画の記録信号形式

メイン動画の	記録信号形式	プロキシ動画の記録信号形式*1			
解像度	フレームレート	解像度	カラーサンプリング	ビットレート* ²	
4096×2160 2048×1080	29.97P、25.00P、	2048×1080	YCbCr 4:2:0 8 bit	24 Mbps Long GOP	
3840×2160 1920×1080	24.00P、23.98P	1920×1080			
1920×1080	59.94i、50.00i	1920×1080			
2048×1080		2048×1080		25 Mbps Long COD	
1920×1080	59.94P、50.00P	1920×1080		55 Mups Long GOP	
		_			

*1 フレームレートと音声信号形式はメイン動画と同一。 *2 ビットレートの方式はVBR(可変)固定。

	1	プロキシ動画の同時記録を有効にする	★ 記録/メティア設定 *〒 XF-AVC Proxy記録 ■ シ
(SET)		 ①	Diff BE λ □ UTBE □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ↓ □ □
	2	必要に応じて、LUTを選ぶ	
(SET)		 ① 書記録/メディア設定メニュー ➤ 「XF-AVC Proxy記録 ② 「BT.709」、「BT.2020」、「DCI」のいずれかを選ぶ ➤ SE 	录」 ▶ 「LUT設定」を順に選ぶ。 Tを押す。

START/STOPボタンを押して、記録開始/一時停止する

- メイン動画の記録開始と同時に、プロキシ動画の記録が開始される。
- もう一度START/STOPボタンを押すと、メイン動画とともにプロキシ動画の記録が一時停止 され、プロキシクリップがSDカードに記録される。

ご注意

START

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。

3

MEMO

- 同時記録中にメイン動画の記録が停止すると、プロキシ動画の記録も停止します。
- インターバル記録、フレーム記録、スロー&ファストモーション記録のときは、プロキシ動画は記録されません。
- リレー記録によってCFastスロットが切り換わると、同時に記録しているプロキシクリップも分割されます。
- SD / SDHCメモリーカードに記録する場合、クリップ内の映像ファイル(ストリーム)は約4 GB毎に分割されます。本 機では連続して再生されます。
- カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できるLUTが異なります。また、これらの設定を変更すると、LUTの設定は「切」になります。
- CFastカードスロットにカードが入っていないときは、プロキシ動画だけが記録されます。

特殊記録を行う CAMERA MEDIA

次の4種類の特殊記録を行うことができます。

スロー &ファストモーション記録:	再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にス ローモーションやファストモーションの効果を得る。
プレ記録:	撮影開始時点の一定時間前から記録することで、撮影開始操作が遅 れたときの撮り逃がしを防ぐ。
フレーム記録:	あらかじめ設定したフレーム数分の映像を記録する。クレイアニメ を撮影するときなどに有効。
インターバル記録:	あらかじめ設定した記録間隔とフレーム数で、間欠的に記録を行う。 自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するときに有効。

■ スロー&ファストモーション記録を行う

再生時のフレームレート*と異なるフレームレート(撮影フレームレート)で、プログレッシブ方式で記録できます。 再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果(最低1/5倍速)が得られ、 再生時のフレームレートより低いフレームレートで撮影し、再生するとファストモーション効果(最高60倍速)が得ら れます。なお、記録モードが「Slow & Fastモーション(CROP)」で、フレームレートと撮影フレームレートが同じときは、 音声が記録されます。それ以外の場合は、音声は記録されません(ミュート)。再生時間で約6時間分以上の記録はでき ません。

*記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定可能な撮影フレームレート

	堤影フレールレート*1			
フレームレート	垂直解像度	カラーサンプリング		
50 04D	1080	VCC122 10 bit	$1\sim 60$	
J9.94F	1080(CROP) * ²	TCC422 TO DIL	$1 \sim 120$	
	2160	YCC422 10 bit	1 ~ . 20	
29.97P	1090	RGB444 10/12 bit	$1 \sim 30$	
24,00P、 23.98P	1060	VCC422 10 bit	$1\sim 60$	
	1080(CROP) * ²	TCC422 TO DIL	$1 \sim 120$	
	1080	VCC122 10 bit	$1\sim 50$	
JU.UUF	1080(CROP) * ²	TCC422 TO DIL	$1 \sim 100$	
	2160	YCC422 10 bit	1 25	
	1090	RGB444 10/12 bit	1,0 23	
23.00P	1000	VCC 422 10 bit	$1\sim 50$	
	1080(CROP) * ²	TCC422 TO DIL	$1 \sim 100$	

*11~30は1fps刻み、32~60は2fps刻み、64~120は4fps刻みで選択可能。

*2記録モードが「Slow & Fastモーション(CROP)」のときのみ。

特殊記録を行う

•••••



SET	 スロー&ファストモーション記録を有効にする ●記録/メディア設定メニュー > 「記録モード」を順に選ぶ。 ②「Slow & Fastモーション」または「Slow & Fastモーション(CROP)」を選ぶ > SETを押す。 スロー&ファストモーション記録モードになる。 ●「Slow & Fastモーション(CROP)」を選ぶと、120Pまでの撮影フレームレートが選択できる。このとき、解像度は2K (2048×1080または1920×1080)、カラーサンプリングはYCC422 10 bitに変更される。 ●画面に「S&F STBY」と、設定されているフレームレート(撮影フレームレート/再生フレームレームレート)が表示される。
S&F FRAME RATE	2 S&F FRAME RATE(S&Fフレームレート)ボタンを押す ● 画面の撮影フレームレートの背景がオレンジ色になる。
	 3 撮影フレームレートを設定する ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、値を選ぶ > SETを押す。 ● 書記録/メディア設定メニュー > 「特殊記録設定」>「S&Fフレームレート」で、設定することもできる。

スロー&ファストモーション記録モードで撮影する



MEMO

- ●「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPのときは、自動的にIntra-frameのビットレートに変更されます。
- インターバル記録、フレーム記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- スロー&ファストモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- タイムコードは、TIME CODE端子、REC OUT端子/ MON.端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されません。
- 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に数秒程度の時間がかかることがあります。
- システム周波数を変更すると、スロー&ファストモーション記録モードは解除され、設定値はリセットされます。
- REC OUT端子から4K RAW出力時は、記録モードに「Slow & Fastモーション(CROP)」を選択できません。
- 記録モードが「Slow & Fastモーション(CROP)」で撮影フレームレートが60fps以上の場合、ビットレートが310Mbpsの ときは210Mbpsに、160Mbpsのときは110Mbpsにそれぞれ変更されます。

■ プレ記録を行う

プレ記録モードでは、START/STOP (スタート/ストップ)ボタンを押して撮影を開始する一定時間 (3秒)前からの映像と 音声を記録することができます。



- ① 書記録/メディア設定メニュー > 「記録モード」を順に選ぶ。
- ②「プレ記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に [PRE REC STBY]が表示され、プレ記録モードになる。
- ③ START/STOPボタンを押す。
 - 撮影が開始される。
 - 画面に「●PRE REC」が表示されて、タリーランプが点灯する。
- ④ 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す。
 - 撮影開始から、プレ記録時間分さかのぼった時点からの映像が記録される。
 - 画面に 「PRE REC STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。

(MEMO)

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run (レックラン)またはRegen. (リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに 設定される。外部のタイムコードにロックしているときは、外部入力タイムコードになる。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- スロー &ファストモーション記録、インターバル記録、フレーム記録と同時に使用することはできません。
- システム周波数を変更すると、プレ記録モードは解除されます。

特殊記録を行う

...

■ フレーム記録を行う

記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、設定したフレーム数分の映像を記録します。記録中、音声は記 録されません(ミュート)。撮影時は、本体を三脚などに固定してリモートで操作することをおすすめします。

設定する



撮影する

START/ () 1 フレーム記録モードで撮影する ① START/STOPボタンを押す。 • フレーム記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されてタリーランプが点灯する。 ● 設定したフレーム数分のフレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。 ② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。 ② 撮影を停止するとき フレーム記録を無効にする ① ゴ記録/メディア設定メニュー > 「記録モード」を順に選ぶ。 ③ 「通常記録」を選ぶ > SETを押す。 ● フレーム記録モードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つの クリップとして記録される。 ● 画面に「STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。

MEMO

- ●「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPのときは、自動的にIntra-frameのビットレートに変更されます。
- インターバル記録、スロー &ファストモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- フレーム記録モードで撮影中に、記録フレーム数を変更することはできません。
- クリップの末尾に、フレーム記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- システム周波数を変更すると、フレーム記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

フレーム記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)で記録され、記録フレーム数ずつ歩進する。
- Free Run (フリーラン)またはタイムコード入力している状態でフレーム記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- フレーム記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、TIME CODE端子、REC OUT端子/ MON.端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

■ インターバル記録を行う

記録間隔と記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録中、音声は 記録されません (ミュート)。

設定する

× 〒圖 2 12 日 20 14 ★	記録/メティア設定 記録モード	適常記録 Slow & Fastモーション Slow & Fastモーション(CROP) プレ記録 インターバル記録	1	 インターバル記録を有効にする ① 書記録/メディア設定メニュー > 「記録モード」を順に選ぶ。 ② 「インターバル記録」を選ぶ > SETを押す。 ● 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、インターバル記録モードになる。
× 県間 2 2 目目 2 ↑ ★	記録/メティア設定 特殊記録記定 > インターパル記録 インターパル	1 sec 2 sec 3 sec 5 sec 10 sec 15 sec 30 sec 1 min	2	 記録間隔を設定する ① 書記録/メディア設定メニュー >「特殊記録設定」>「インターバル 記録」>「インターバル」を順に選ぶ。 ② 次のいずれかの時間を選ぶ > SETを押す。 1秒*、2秒、3秒、5秒、10秒、15秒、30秒、1分*、2分、3分、5分、10分 * メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示される。
20日123日 14日 12日 14日 14日 14日 14日 14日 14日 14日 14日 14日 14	記録/メティア設定 特殊記録設定 > インターバル記録 記録フレーム	1 3 6 9	3	 記録フレーム数を設定する ① 書記録/メディア設定メニュー >「特殊記録設定」>「インターバル 記録」>「記録フレーム」を順に選ぶ。

②「1」、「3」、「6」、「9」のいずれかを選ぶ > SETを押す。

*

インターバル記録モードで撮影する



MEMO

- ●「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPのときは、自動的にIntra-frameのビットレートに変更されます。
- フレーム記録、スロー &ファストモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- インターバル記録モードで撮影中に、記録間隔やフレーム数を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバル記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- システム周波数を変更すると、インターバル記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

インターバル記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)で記録され、記録フレーム数ずつ歩進する。
- Free Run (フリーラン) またはタイムコード入力している状態でインターバル記録モードにすると、強制的にRec Run に設定される。
- インターバル記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、TIME CODE端子、REC OUT端子/ MON.端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

RC-V100(_{別売})でリモート撮影する CAMERA MEDIA

本機のREMOTE端子() 12)にリモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、リモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



CAMERA MEDIA	2	POWER(電源)スイッチをCAMERAにする		
	3	 RC-V100を有効にする ① ◆システム設定メニュー > 「REMOTE端子」を順に選ぶ。 ② 「RC-V100」を選ぶ > SETを押す。 	× システム設定 図 か ピ 電 ド () () () () () () () () () ()	RC-V100 スタンダード

(MEMO)

本機で動作しないボタン/ダイヤル

AGCボタン
 AUTO KNEEボタン

● AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ (□ 244)を装着しているときのみ使用可能です。

- ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ(□ 244)を装着しているときのみ使用可能です。
- RC-V100の画質調整(□153)は、 Custom Pictureメニュー > 「Other Settings」 > 「Activate」が「On」のときのみ使用できます(□144)。

Wi-Fiでリモート撮影する CAMERA MEDIA

本機の拡張システム端子(①12)にワイヤレスファイルトランスミッターWFT-E6/WFT-E8(別売)を取り付け、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから操作することによって、ワイヤレスでリモート撮影できます(ブラウザーリモート)。撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2、メタデータ設定、各種マークの付加が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認が可能です。



*²ホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカスなどが調整可能。

*10S. Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

ワイヤレスファイルトランスミッター (別売)を取り付けてブラウザーリモートを起動する

リモート撮影を行うには、本機の拡張システム端子にワイヤレスファイルトランスミッターを取り付け、ネットワーク 設定を行ったあと、ブラウザーリモートを起動する必要があります。「ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8 EOS C300 Mark II用ガイド」*で詳細を確認して、取り付け/設定/ブラウザーリモートの起動を行ってください。 * キヤノンのホームページからダウンロードできます。

■ リモート撮影する

ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」、「メタデータ入力画面」があり、ログインしたユー ザーによって操作できる画面が異なります。

詳細操作画面 (Full Control / Camera Control)

パソコンやタブレットなど画面が比較的大きい機器を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラ ウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の 説明ページをご覧ください。





- 1 ライブビュー映像表示エリア
 - カメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID(□ 213)とレンズ情報が表示される。
 - カラーバーの表示中、ライブビューは表示されない。
- 2 ブラウザーリモート接続状態表示*
- 3 カメラのバッテリー残量の目安*(1158)
- 4 LIVE VIEW(ライブビュー)ボタン
 押すとライブビュー映像が表示される。
- 5 ♠(♠)Touch Focus(タッチフォーカスロック)ボタン
- 6 Shot Mark 1 / 2(ショットマーク1 / 2)ボタン (□ 112)
- 7 Mark(OKマーク)ボタン
- 8 ■Mark(チェックマーク)ボタン
- 9 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン
- 10 画面切り換えボタン
- 11 ダブルスロット記録*(1152)
- 12 撮影状態(2258)/記録コマンド状態

- 13 タイムコード*(0097)
- 14 CFastカードとSDカードの状態/撮影可能時間
- 15 SLOT SELECT(スロット選択)ボタン(1151)
- 16 NDフィルター
- 17 AEシフト (□ 76)
- 18 ISO感度/ゲイン
- 19 シャッタースピード
- 20 ホワイトバランス
- 21 F值/T值
- 22 言語選択
 - 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。
- 23 🖬 (キーロック)ボタン
 - ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。
 金を押すとロックは解除される。本体側の操作は ロックされない。
- 24 カメラ設定変更エリア/切り換えタブ
 - White Balance (ホワイトバランス)、Exposure (露出)、Focus(フォーカス)の各調整を切り換える。
 - * 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更する ことはできない。

簡易操作画面(Full Control)



MEMO

ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

Wi-Fiでリモート撮影する

•••••

撮影する



ショットマークを付加する



① 撮影中 「Shot Mark 1」または「Shot Mark 2」を押す。

(MEMO)

 ●ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、通信状況によっては0.5秒以上ずれること があります。

OKマーク/チェックマークを付加する

	1	撮影が終了したあと	「 Ⅲ Mark」または「 ☑ Mark」を押す。
🕅 Mark 🗹 Mark			

ホワイトバランスを調整する







● エクステンダーを使用してEFシネマレンズを装着しているときは、F値を選んで調整できません。

Wi-Fiでリモート撮影する

ISO感度/ゲインを調整する

ISO	1/3	2	00
Extended Range		-	+

- ① 必要に応じて、「ISO」または「Gain」を選ぶ。
- ② 必要に応じて、「Extended Range」を選んで、感度拡張を有効にする。
- ③ 調整時の刻み幅を選ぶ。
- ④ ISO感度/ゲインの値を押してリストから値を選ぶか、「-」または「+」を押して値を調整する。
 - ISO感度またはゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

シャッタースピードを調整する



- シャッタースピードのモードを、「Speed」、「Angle」、「Clear Scan」、「Slow」、 「Off」から選ぶ。
- ② 調整時の刻み幅(段)を「1/3」または「1/4」から選ぶ。
- ③ シャッタースピードの値を押してリストから値を選ぶか、「-」または「+」 を押して値を調整する。
 - シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

露出を調整する (AEシフト)



- ① 「AE Shift -」または 「AE Shift +」を押す。
 - AEシフトの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

フォーカスを調整する

準備する



MEMO

 EFレンズのフォーカスモードスイッチをMFにしていると、ブラウザーリモートからフォーカス調整できません。なお、 レンズによっては、フォーカス調整できないことがあります。

マニュアルで調整する



デュアルピクセルフォーカスガイドを使う

Focus Guide Off	1	「Focus Guide」を「On」にする
		● 画面にフォーカスガイド枠が表示される。

ワンショットAFで調整する

One Shot	1	AFモードに「One Shot」を選ぶ
ONE-SHOT AF	2	「ONE-SHOT AF」を押す
		 ● 画面に白いAF枠が表示され、自動的にフォーカスが調整される。 ● 枠は、ピントが合うと緑色に、フォーカス調整できないと赤色に変わり、その後数秒で消える。

AFブーストMFで調整する

One Shot	】 AFモードに「AF-Boosted MF」を選ぶ
~	2 フォーカス操作ボタンを押して、ピントを調整する
× × × ·	●「マニュアルで調整する」と同じ要領で操作する。 ● フォーカス位置が自動調整領域に入ると、自動的にピント合わせ行う。

コンティニュアスAFで調整する

	AF Speed 0	必要に応じて、「AF Speed 0」からオートフォーカスのスピードを選ぶ
--	------------	---------------------------------------

Wi-Fiでリモート撮影する

One Shot 2 AFE

2 AFモードに「Continuous」を選ぶ

- 画面に白い枠 (AF枠)が表示され、継続したピント合わせを行う。
- ●「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。
- ●「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。

.....

AF枠の位置を変更する

ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。

Selectable	┃ AF枠位置に「Selectable」を選ぶ
Touch Focus	2 「 ^a Touch Focus」ボタンが表示されていることを確認する
	3 ライブビュー表示上で被写体をタッチする
	● タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

顔を検出してフォーカスを合わせる

Face Det. & Tracking On	1	「Face Det. & Tracking On」を選び、顔検出を有効にする
Face Priority	2	顔検出AFのモードを「Face Priority」または「Face Only」から選ぶ
	3	カメラの画角に人物が入ると顔を検出する
		 ● 検出したすべての顔に枠が表示され、主な被写体と判断した顔の枠に <> と▶が付く。 ● 主な被写体以外の枠をタッチすると、タッチした枠が主な被写体になる。
	4	マニュアルまたはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

選んだ被写体を追尾する

Face Det. & Tracking On	1 「Face Det. & Tracking On」を選び、顔検出を有効にする
Tracking	2 「Tracking」を選び、追尾を有効にする
	3 ライブビュー画面上で被写体をタッチする(□ 133)
	● タッチした被写体に追尾する。「Cancel Tracking」を選ぶと解除する。
	4 マニュアルまたはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する





ズーム調整に対応するEFシネマレンズ(L) 244)を装着しているときは、ズームを調整できます。レンズの詳細についてはレンズの説明書をご覧ください。



① レンズのズーム設定をSERVOにする。
 ② Zoomタブに切り換える。
 ③ ズームスライダーを上下にドラッグして、ズームを調整する。

MEMO

● 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

メタデータ入力画面 (Full Control / Meta Control)

パソコンなどのネットワーク機器のブラウザーリモート画面からメタデータを設定することができます。設定可能なメ タデータには、ユーザーメモ (クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容)とGPS情報(撮影地の高度/経度/緯度) があります。



Wi-Fiでリモート撮影する

- 1 GPS情報入力エリア
- 2 ユーザーメモ入力エリア
- 3 ライブビュー映像表示エリア/カメラID/レンズ 情報*
 - * 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更する ことはできない。
- 4 (1)有効化ボタン
 - ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効 にする。
- 5 メタデータ設定操作ボタン

뒙 影

メタデータを入力する

直前に記録したクリップや記録中のクリップ、これから記録するクリップにユーザーメモを付加することができます。

(小)有効化	1	ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする
		 「(*⁽)[*])[*]有効化」を押す。
		●本体で次の操作を行って有効にすることもできる。
		査 記録/メディア設定メニュー ▶↓メタデータ」▶↓設定」▶↓リモート」
クリップタイトル 撮影者	2	ユーザーメモ/ GPS情報を入力する
撮影場所 撮影内容		①「クリップタイトル」、「撮影者」、「撮影場所」、「撮影内容」、「GPS情報」をそれぞれ設定する。
GPS情報		● 各項目の右側の 「クリア」を押すと、入力した内容を消去できる
直前に上書き	3	ユーザーメモ/ GPS情報を本体に転送する
		①「直前に上書き」、「次撮影に適用」または「上書き」を押す。
次撮影に適用		直前に上書き* ¹ :直前に記録したクリップに設定する。
		次撮影に適用: これから記録するクリップに設定する。
		上書き*2: 撮影中のクリップに設定する。
		*1 直前にクリップを記録したときのみ。
		● ユーサーメモ/ GPS情報の内容がカメラ本体に転送され、押したボタンに応じて設定される
		110.

MEMO

- ブラウザーリモートから入力したメタデータ設定が解除される場合
- 本機の電源をOFF/ONしたとき。
- 🗗 記録/メディア設定メニュー » 「メタデータ」 » 「設定」で設定方法を切り換えたとき。
- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を一端有効にすると、ブラウザーリモート画面で無効にすることはできません。SD カードから設定するときは、本機の 合記録/メディア設定メニュー »「メタデータ」»「設定」を「SDカード」 にしてください。
- ブラウザーリモートを使って、リレー記録されたクリップにメタデータを設定する場合、リレー前のクリップにはメ タデータは付加されません。

MEMO

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する… 138 カスタムピクチャーを使用する… 142 機能や表示をカスタマイズする… 154 設定データの保存と読み出し…… 155

アサインボタンの機能を変更する CAMERA MEDIA

本体に11個、モニターユニットに10個、グリップに1個のアサインボタンがあり、リモートコントローラー RC-V100(別売)を取り付ければ、さらに4個のアサインボタンを使用できます。使用頻度の高い機能を割り 当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。なお、モニターユニットやグリップなどの装 着状況によって、使用できるアサインボタンが異なります。



No.8を除くカメラアサインボタンと、No.7~No.10のモニターユニットアサインボタン、グリップアサイン 1ボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。No.1~No.6のモニターユ ニットアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に 設定できます。使用可能な機能は、モードによって異なります(111139)。

アサインボタンの機能を変更する

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
One-Shot AF	ワンショットAFを実行する。		
AFロック*	コンティニュアスAF中にフォーカス位置を固定する。		
Focus Guide	デュアルピクセルフォーカスガイドの入/切を切り換える。		
顔検出AF	顔検出AFの顔優先/顔限定を切り換える。		
顏検出&追尾	顔検出&追尾の入/切を切り換える。		
追尾	追尾の入/切を切り換える。		
Push Auto Iris	プッシュオートアイリスを実行する。		
Irisモード	アイリスのモードを切り換える。		
lris +	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く。		
Iris —	F値を調整する。押すたびに、絞りを絞る。		
ND +	NDフィルターを正順 (濃くなる方向)に切り換える。		
ND —	NDフィルターを逆順 (薄くなる方向)切り換える。		
AEシフト+	露出を明るめに調整する。	٠	
AEシフトー	露出を暗めに調整する。		
バックライト	測光方式のバックライトの入/切を切り換える。		
スポットライト	測光方式のスポットライトの入/切を切り換える。		
FUNC.	FUNC.ボタンの機能を割り当てる。		
Shutter	カメラダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換える。		
ISO/Gain	カメラダイレクト設定のISO感度/ゲイン設定に切り換える。		
White Balance	カメラダイレクト設定のホワイトバランス設定に切り換える。		
Peaking	ピーキングの入/切を切り換える。		
Zebra	ゼブラパターン表示の入/切を切り換える。		
WFM	波形モニターの表示の入/切を切り換える。		
Magnification	拡大表示の入/切を切り換える。		
カラーバー	カラーバーの入/切を切り換える。		
マーカー	マーカーの入/切を切り換える。		
LCD設定	LCD設定メニューを表示する。		•
VF設定	VF設定メニューを表示する。		•
EVF-V70設定	EVF-V70設定メニューを表示する。有機EL電子ビューファインダー(別売) 装着時のみ、EVF-V70設定メニューの操作が可能。	•	٠
LCD LM-V1設定	LM-V1設定メニューを表示する。LCDモニター LM-V1(別売)装着時のみ、 LM-V1設定メニューの操作が可能。	•	•
LUT	LUTの入/切を切り換える。		
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する/しないを切り換える。		•
Display	画面の表示レベルを切り換える。		
Shot Mark 1追加*	ショットマーク1を付加する。		•

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Shot Mark 2追加*	ショットマーク2を付加する。	٠	٠
OK Mark追加	OKマークを付加する。		٠
✔ Mark追加	チェックマークを付加する。		٠
Time Code	タイムコードメニューを表示する。		
Time Codeホールド *	画面に表示されるタイムコード値を保持/保持解除を切り換える。		
ヘッドホン+	ヘッドホンの音量を大きくする。		
ヘッドホンー	ヘッドホンの音量を小さくする。		
モニターチャンネル	○(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	•	•
Audio Level	オーディオレベルメーター表示の入/切を切り換える。		
Photo *	静止画を記録する。	٠	٠
レックレビュー *	カメラモードのままで、最後に撮影したクリップを再生する。	٠	
S&F Frame Rate	スロー&ファストモーション記録モードのときに、カメラ画面で撮影フ レームレート設定に切り換える。	•	
Status*	ステータス画面を表示する。		
Custom Picture	■Custom Pictureメニューを表示する		
マイメニュー	マイメニューを表示する。		
メディア初期化	Media初期化メニューを表示する。		
Index	インデックス画面を切り換える。		٠
ユーザー設定*	任意のメニュー項目を表示する。		

.

* アサインボタンのみの機能

. .

アサインボタンの機能を変更する

.



アサインボタンに割り当てた機能を使う



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押す と、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイ スティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して項目を選び、SETを押します。

MEMO

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます(□ 216)。
- ♥システム設定メニュー > 「リセット」>「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます (□ 210)。

カスタムピクチャーを使用する CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して撮影すると、カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒にCFastカードに保存できます(□ 147)。カスタムピクチャーファイルは本機とSDカードに20セット保存でき、本機とSDカードまたはCFastカードとの間で相互にコピーすることもできます。

機能分類	機能	設定項目	
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	148
	ブラックガンマ	Black Gamma	149
	マスターペデスタル	Black — Master Pedestal	149
	マスターブラック	Black — Master Black	149
	<u> </u>	Knee	150
	セットアップ	Other Functions — Setup Level	152
	100%オーバー	Other Functions — Over 100%	152
	シャープネスレベル	Sharpness — Level	150
	シャープネス水平帯域	Sharpness — H Detail Freq.	150
	シャープネスHVバランス	Sharpness — HV Detail Bal.	150
	シャープネスリミット	Sharpness — Limit	150
	シャープネスセレクト	Sharpness — Select	150
輪郭やノイズに関わる	ニーアパーチャー	Sharpness — Knee Aperture	150
グループ	輝度適応シャープネス	Sharpness — Level Depend	151
	コアリングレベル	Sharpness — Coring — Level	150
	輝度適応コアリング	Sharpness — Coring — D-Ofst / D-Curve	150
	ノイズリダクション	Noise Reduction	151
	スキンディテール	Skin Detail	151
	セレクティブNR	Selective NR	151
	色空間	Color Space	148
	カラーマトリックス	Color Matrix	149
	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	149
色の方向性、強さ、変換に 関するグループ	ニーサチュレーション	Knee — Saturation	150
	カラーゲイン	Color Matrix Tuning – Gain	151
	色相	Color Matrix Tuning – Phase	151
	色調	Color Matrix Tuning — R-G / R-B / G-R / G-B / B-R / B-G	151
	ホワイトバランス	White Balance	151
	カラーコレクション	Color Correction	152

(MEMO)

● SDカードまたはCFastカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C300 Mark Ⅱのみで使用可能です。

カスタムピクチャーを使用する

•••••

カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとし て登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集 /登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



 Preset選択時は選んでいるPreset名が、Other Settingsで調整(「Other Settings」) 「Activate」が「On」)時は♥が画面に表示される。

ガンマ、色空間、カラーマトリクスのプリセットについて

あらかじめ次の組み合わせのプリセットが用意されています。プリセットを使わないときは、「Main Settings」でガンマ、 色空間、カラーマトリクスを個別に選択できます。プリセットまたはMain Settingsを選んだ後、「Other Settings」で詳細 な設定を調整することができます。

プリセット (Preset)	ガンマ (Gamma)	色空間 (Color Space)	カラーマトリクス (Color Matrix)	特徴
Canon Log 3 : C.Gamut	Canon Log 3	Cinema Gamut	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 3ガン マを使用。Canon Logの特徴を残したままダイナミック
Canon Log 3 : BT.2020	Canon Log 3	BT.2020 Gamut	Neutral	レンジを拡大した。色空間はCinema Gamut、BT.2020 Gamut、DCI-P3 Gamut、BT.709 Gamutの4種類から選択す ス
Canon Log 3 : DCI-P3	Canon Log 3	DCI-P3 Gamut	Neutral	ି ଏ ତ ା
Canon Log 3 : BT.709	Canon Log 3	BT.709 Gamut	Neutral	
Canon Log 2 : C.Gamut	Canon Log 2	Cinema Gamut	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 2ガ ンマを使用。Canon Logよりダイナミックレンジが広く、
Canon Log 2 : BT.2020	Canon Log 2	BT.2020 Gamut	Neutral	暗部の階調性が高い。色空間はCinema Gamut、BT.2020 Gamut、DCI-P3 Gamut、BT.709 Gamutの4種類から選択す ス
Canon Log 2 : DCI-P3	Canon Log 2	DCI-P3 Gamut	Neutral	~~o
Canon Log 2 : BT.709	Canon Log 2	BT.709 Gamut	Neutral	

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	 	

プリセット (Preset)	ガンマ (Gamma)	色空間 (Color Space)	カラーマトリクス (Color Matrix)	特徴
Canon Log*	Canon Log	BT.709 Gamut	Cinema EOS Original	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log ガン マを使用。ダイナミックレンジが広く、ポストプロダク ションに適した色調。
BT.2020*	Wide DR	BT.2020 Gamut	Neutral	広いダイナミックレンジを実現。色空間はBT.2020 Gamut
BT.709*	Wide DR	BT.709 Gamut	Neutral	CD1.109 Galliar1/1・2)进行。

* 書記録/メディア設定メニュー »「REC OUT 4K RAWモード」が「4K RAW」以外のときのみ。

(MEMO)

Canon LogなどのLogガンマを使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを 実現できます。
- 撮影中、液晶モニター、ファインダー、REC OUT端子、MON.端子/ HDMI OUT端子の出力にLUTを適用し、モニタリングに適したガンマ/色空間に変換できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT(ルックアップテーブル)*を適用できます。
 * 最新のLUTデータについては、キャノンのホームページでご確認ください。

RC-V100リモートコントローラー (別売)を使うとき

- リモートコントローラー RC-V100(別売)のCUSTOM PICT.ボタンを押して、 CL Custom Pictureメニューを表示することもできます。
- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できま せん(□152)。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更/登録されます。大切なカ スタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、 RC-V100で調整してください。

画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

🔰 カスタムピクチャーファイルを選ぶ (🛄 143)

× Custom Picture	
	Canon Log 2 : C.Gamut
CP Preset	Canon Log 2 : DCI-P3
ദ്	Canon Log 2 : BT.709
Ē	Canon Log BT.2020
蜀	BT.709
Ŷ	Off
★1	

- 2 プリセットを使用するとき プリセットを選ぶ
 - ① Custom Pictureメニュー ➤ 「Preset」を順に選ぶ。
 ② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
 - プリセットを使用しないときは [Off]を選ぶ。
カスタマイ

 Custom Picture Main Settings 		3	「Off」を選んだとき ガンマ、色空間、カラーマトリックスを選ぶ
50) Gamma Color Space Color Matrix	Wide DR BT.709 Gamut Neutral		[参考] ➤ Main Settings ➤ [Gamma]、[Color Space]、[Color Matrix] (□ 148)
¥			①「Main Settings」》「Gamma」を順に選ぶ。
★1			② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
			③ 同様に「Main Settings」 > 「Color Space」または「Color Matrix」を順に選んで、色空間とカラーマトリクスを選択する。
X Custom Picture R Other Settings T ⇒		4	画質調整の設定を行う
Activate Black Black Gamma Low Key Satur.	Off		参考 ▶ 「Other Settings」 (□ 149)
Knee Sharpness Noise Reductio	► ►		例: Master Pedestal (マスターペデスタル)を調整する場合
			①「Other Settings」 > 「Activate」を順に選ぶ。
			②「On」を選び ➤ SETを押す。
			● 「Other Settings」の設定が有効になる。
			③「Black」▶「Master Pedestal」を順に選ぶ。
			 ④ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して値を選ぶ ➤ SETを押す。
			設定を初期設定に戻すとき
			❶ ❹ Custom Pictureメニュー ➤ 「ファイル」 ➤ 「リセット」を順に選ぶ。 ❷ 「OK」を選ぶ > SETを押す。
ファイル	名称変更	5	カスタムピクチャーファイルの名前を設定する
	ファイル名	0	① IP Custom Picture メニュー > 「ファイル」)「夕称枩百」を順に浮ぶ
	Input		

② 「Input」を選ぶ > SETを押す。
 ③ 8文字の英数字・記号で名前を入力し「OK」を選ぶ > SETを押す。
 ◎ 参考 > 「文字入力のしかた」(□ 33)
 ● カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。



- プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② ■Custom Pictureメニュー > 「ファイル」 > 「プロテクト」を順に選ぶ。
- ③「プロテクト」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - カスタムピクチャー選択画面で表示されるカスタムピクチャーファイル 名に 回が表示されるようになる。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることができます。

 ・回へコピー:
 選択中のカスタムピクチャーファイル(本機)をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

回から読み出し: 選択中のカスタムピクチャーファイル(本機)をSDカードのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

選択中のカスタムピクチャーファイル (本機)をSDカードにコピーする



- ① カスタムピクチャーファイルを選ぶ(11143)。
- ②「ファイル転送」>「蛔ヘコピー」を順に選ぶ。
- ③ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「新規 ファイル」*を選ぶ > SETを押す。
 - * SDカード内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「新 規ファイル」が表示される。
- ④「OK」を選ぶ > SETを押す。
 選択中のカスタムピクチャーファイル (本機)がSDカードにコピーされる。
 ●「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
 ⑤ SETを押す。

選択中のカスタムピクチャーファイル(本機)をSDカードのカスタムピクチャーファイルで 置き換える



- ① カスタムピクチャーファイルを選ぶ (① 143)。
- ②「ファイル転送」>「50から読み出し」を順に選ぶ。
- ③ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ > SETを 押す。
- ④ [OK]を選ぶ > SETを押す。
 - 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑤ SETを押す。

MEMO

● 記録したクリップと一緒に保存されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることもできます (□ 170)。

カスタムピクチャーを使用する

カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する

調整を行った画質設定で撮影すると、カスタムピクチャーファイルがクリップと一緒に保存されます。クリップと一緒 に保存したカスタムピクチャーファイルは、本機にコピーして再利用することができます(111170)。



- ① 書記録/メディア設定メニュー > 「メタデータ」> 「
 「四 ファイル付加」を順に選ぶ。
- ②「入」を選ぶ > SETを押す。
 - 「切」にすると、カスタムピクチャーファイルはクリップと一緒に保存されない。

カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

	設定項目/内容・設定値				
Preset					
あらかじめ用意された様	標準的な設定。Canon LogなどのLogガンマを使用する設定は、ポストプロダクション処理が前提とな				
る。ガンマ、色空間、カラーマトリクスの組み合わせは次のとおり。					
Canon Log 3 : C.Gamut	: Canon Log 3 🖊 Cinema Gamut 🖊 Neutral				
Canon Log 3 : BT.2020	: Canon Log 3 🗡 BT.2020 Gamut 🗡 Neutral				
Canon Log 3 : DCI-P3	: Canon Log 3 🖊 DCI-P3 Gamut 🗡 Neutral				
Canon Log 3 : BT.709	: Canon Log 3 / BT.709 Gamut / Neutral				
Canon Log 2 : C.Gamut	: Canon Log 2 🖊 Cinema Gamut 🗡 Neutral				
Canon Log 2 : BT.2020	: Canon Log 2 🗡 BT.2020 Gamut 🗡 Neutral				
Canon Log 2 : DCI-P3	: Canon Log 2 / DCI-P3 Gamut / Neutral				
Canon Log 2 : BT.709	: Canon Log 2 / BT.709 Gamut / Neutral				
Canon Log*	: Canon Log 🖉 BT.709 Gamut 🦯 Cinema EOS Original				
BT.2020*	: Wide DR / BT.2020 Gamut / Neutral				
BT.709*	: Wide DR 🗡 BT.709 Gamut 🗡 Neutral				
切					
* 💣 記録/メディア設定メ	ニュー > 「REC OUT 4K RAWモード」が「4K RAW」以外のときのみ。				





Main Settings > Gamma	
Preset(プリセット)が「	切」のときに、映像全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。
Canon Log 3 :	Canon Logの特徴を残したまま、ダイナミックレンジを広くしたガンマ。ポストプロダクション処理が前提。
Canon Log 2 :	Canon Logに対して、さらにダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提。
Canon Log* :	ダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提。
Wide DR* :	広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。
EOS Standard* :	デジタルー眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択したとき。Normal1に比 べてコントラストが高い。
Normal 1 (Standard)* :	TVモニターで見るとき。
Normal 2 (x4.0)* :	TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。
Normal 3 (BT.709)* :	TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。
Normal 4 (x5.0)* :	TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。
* 🗗 記録/メディア設定>	<ニュー > 「REC OUT 4K RAWモード」が「4K RAW」以外のときのみ。



Main Settings > Color Space

Preset(プリセット)が「切」のときに、映像の色空間を選択する。

Cinema Gamut:	センサーの特性に基づいてキヤノンが開発した色空間 (Cinema Gamut)でBT.2020より広い色域をカバーする。 ACES2065-1色空間に変換して使用することを想定してい る。
BT.2020 Gamut :	。 UHDTV(4K/8K)用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠し た色空間。
DCI-P3 Gamut : BT.709 Gamut :	DCI (Digital Cinema Initiatives)で規格化されている色空間。 sRGB規格に準拠した標準的な色空間。



設定項目/内容・設定値

Main Settings ➤ Color Matrix

Preset(プリセット)が「切」のときに、映像の色調を選択する。				
Neutral :	忠実な色再現。			
Production Camera :	映画制作用の色再現。			
Cinema EOS Original :	EOS C500の4K出力 (BT.709)と同等の色再現。			
Video :	EOS C300 / C500でカスタムピクチャーをOFFにしたときと同等の色再現。			
EOS Standard :	デジタルー眼レフカメラEOSで、ピクチャースタイルに「スタンダード」を使用したときと同等の色			
	再現。			
Off ·	谷調を調整しない。			

Other Settings > Activate

設定値: On、Off / 内容: Other Settings(その他の設定)の調整の有効/無効を設定する。

Other Settings > Black* > Master Pedestal

設定値: ±50(±0)

黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。 *「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。

Other Settings > Black* > Master Black Red, Master Black Green, Master Black Blue

設定値: ±50(**±0**) 黒の色かぶりをRGB個別に補正する。 *「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。

Other Settings ➤ Black Gamma



Other Settings > Low Key Satur.

低輝度領域の色の濃い/薄いを調整する。 Activate [On、**Off**]: Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効する。 Level [±50 (**±0**)]: 低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。 Range

入力



設定項目	/内容・	設定値
------	------	-----

Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level Depend Level、Level Depend Slope、Level Depend Offset 低輝度部分の輪郭強調を弱める。 Level Depend Level [0~50]: 処理対象の低輝度部分の輝度。 Level Depend Slope $[\mathbf{0} \sim 3]$: 低輝度と高輝度部との間の傾きを0(なし)、1(急)~3(なだらか)の4段階で設定する。 Level Depend Offset [0~50]: 低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。 Other Settings ➤ Noise Reduction 設定值: -1、Off、1~12 ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。 Offにしても、弱いノイズフィルターが適用される。-1にすると、ノイズフィルターが完全に解除される。 Other Settings ➤ Skin Detail 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う。調整中、設定した肌色部分を検出すると、液晶モニター またはMON.端子出力の映像上にゼブラパターンで表示する。 Effect Level [Off, Low, Middle, High] : 肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整は3段階 のレベルで設定でき、Highがもっとも強く調整される。 Hue [±16 (±0)]: 検出する肌色の色相。 Chroma [0 ~ 31 (**16**)]: 検出する肌色の彩度。 Area $[0 \sim 31 (16)]$: 検出する肌色の色相の幅。 Y Level [0 ~ 31 (16)]: 検出する肌色の輝度レベル。 Other Settings ➤ Selective NR 特定の色域を検出してノイズを低減するための設定を行う。調整中、設定した色部分を検出すると、液晶モニターまたは MON.端子出力の映像上にゼブラパターンで表示する。 Effect Level [Off, Low, Middle, High]: 特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。 調整は3段階のレベルで設定でき、Highがもっとも強く調整される。 Hue [0 ~ 31(0)] : 検出する色の色相。 Chroma [0 ~ 31 (**16**)]: 検出する色の彩度。 Area [0 ~ 31 (**16**)]: 検出する色の色相の幅。 Y Level [0 ~ 31 (16)]: 検出する色の輝度レベル。 Other Settings ➤ Color Matrix Tuning 映像の色調を微調整する。 Gain [±50(±0)]: 色の濃さを調整する。 Phase [±18 (±0)]: 色相を調整する。 R-G[±50(±0)]: シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 R-B[±50 (±0)]: シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 G-R [±50 (±0)]: マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 G-B [±50 (±0)]: マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 B-R [±50(±0)]: イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。

B-G [±50 (±0)]: イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。

Other Settings > White Balance

ホワイトバランスのシフト量を調整する。 R Gain [±50(±0)]:赤色の濃淡を調整する。 B Gain [±50(±0)]:青色の濃淡を調整する。 カスタマイ

設定項目/内容·設定値

Other Settings ➤ Color Correction

特定の範囲の色調を補正する。調整中、設定した範囲の色調部分を検出すると、液晶モニターまたはMON.端子出力の映像 上にゼブラパターンで表示する (Area A(B) Revision LevelまたはArea A(B) Revision Phaseの調整中を除く)。 Select Area [**Off**, Area A, Area B, Area A&B] : 補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定でき、補正はいずれかま たは両方を選択できる。 Area A(B) Setting Phase $[\mathbf{0} \sim 31]$: AエリアまたはBエリアの色相を設定する。 Area A(B) Setting Chroma $[0 \sim 31 (16)]$: AエリアまたはBエリアの彩度を設定する。 Area A(B) Setting Area $[0 \sim 31 (\mathbf{16})]$: AエリアまたはBエリアの色相の幅を設定する。 Area A(B) Setting Y Level $[0 \sim 31 (16)]$: AエリアまたはBエリアの輝度レベルを設定する。 Area A(B) Revision Level $[\pm 50 (\pm 0)]$: AエリアまたはBエリアにおける、色の濃さの補正量を設定する。 Area A(B) Revision Phase $[\pm 18 (\pm 0)]$: AエリアまたはBエリアにおける、色相の補正量を設定する。 Other Settings ➤ Other Functions ➤ Setup Level 設定値: ±50(±0) Black > Master Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップの調整量を設定する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。 Other Settings ➤ Other Functions ➤ Over 100% 100%を超える信号の出力のしかたを設定する。 Through: 信号をそのまま出力する。 Clip : 白レベルを100%でクリップする。 Press : 108%までの信号全体を100%に圧縮する。 ファイル ▶ 選択 設定値: **C1** ~ C20 / 内容: カスタムピクチャーファイルを選択する。 ファイル ▶ 名称変更 設定値: 8文字の英数字・記号(CP000001)/ 内容:カスタムピクチャーファイルの名前を変更する。 ファイル ▶ プロテクト 設定値: **プロテクト解除、**プロテクト / 内容:カスタムピクチャーファイルをプロテクトする。 ファイル > リセット 設定値:OK、Cancel / 内容:選択しているカスタムピクチャーファイルの設定を初期状態に戻す。 ファイル ▶ ファイル転送 現在選択しているカスタムピクチャーファイルをSDカードまたは本機にコピーする。 50ヘコピー: 選択している本機内のカスタムピクチャーファイルをSDカードにコピーする。

⑨から読み出し: SDカード内のカスタムピクチャーファイルを本機にコピーし、選択しているカスタムピクチャーファイル(本機)を置き換える。

カスタムピクチャーを使用する

.

MEMO

● リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続して、「Other Settings」 > 「Activate」を「On」にすると、次の項目をRC-V100 から調整できます。

■ BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue

- Black GammaのLevel
- KneeのSlope*、Point*
- SharpnessのLevel
- White BalanceのR Gain / B Gain
- * KneeのActivateがOnのときのみ。



使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、画面の表示項目をカスタマイズする「カ スタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定するこ とができます。

| カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧のŶシステム設定メニュー »「Custom Function」(□ 212)をご覧ください。メディアモードでは「SELECTダイヤル方向」のみ設定できます。

設定項目	内容
カメラ電子ダイヤル	カメラ電子ダイヤルに割り当てる機能を選択する。
グリップ電子ダイヤル	グリップ電子ダイヤルに割り当てる機能を選択する。
カメラ電子ダイヤル方向	カメラ電子ダイヤルの操作方向を設定する。
グリップ電子ダイヤル方向	グリップ電子ダイヤルの操作方向を設定する。
SELECTダイヤル方向	カメラ本体または有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)のSELECTダイヤルの操作方向 を設定する。
電源オフ時のレンズ収納	対応レンズ(1212)を装着して電源を切ると、レンズの全長が最短になるように、自動的にレンズを収納する。
3D記録モード	本機を2台使用して3D撮影する場合、REC OUT端子/MON.端子から出力される映像信号と音声 信号のずれを補正する。
スキャンリバース記録	記録する映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させるかどうかを設定する。
表示単位系	長さの単位をMetersとFeetから選ぶ。GPS情報の高度の表示に使用する。
表示文字記録 (CFast)	CFastカードに記録する映像に重ねて記録する画面表示 (タイムコード、日付、時刻)を選ぶ。
START/STOPボタン	カメラ本体、グリップ、モニターユニットのSTART/STOPボタンを有効にするかどうかを、個別に 設定する。
キーロック	POWER(電源)スイッチを
タッチ操作レスポンス	LCDモニター LM-V1(別売)のタッチパネルを操作したときの応答性を設定する。

■ カスタムディスプレイで設定できる項目

カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」(□ 58)を、設定内容の詳細は、 □ 映像/端子設定メ ニュー > 「Custom Display 1」、「Custom Display 2」または「Custom Display」(□ 206)をご覧ください。



メニューで行った各種の設定情報(設定データ)を本体またはSDカードに保存できます。設定データは、 必要に応じて読み出して再利用できます。複数のカメラC300 Mark IIを同じ設定にするときに便利です。

■ 設定データを保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとして本体またはSDカードに保存します。



- ① ♥システム設定メニュー > 「メニュー / □ 設定保存」 > 「保存」を順に選ぶ。
- ②「カメラ本体へ」または「蛔へ」を選ぶ > SETを押す。
- ③「OK |を選び、SETを押す。
- 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ保存先に保存 される。保存されている設定データは、現在の設定で上書きされる。
 ④ SETを押す。

■ 設定データを読み込む

本体またはSDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① ♥システム設定メニュー > 「メニュー/ □ 設定保存」 > 「読み出し」を順に選ぶ。
- ②「カメラ本体から」または「ஹから」を選ぶ > SETを押す。
- ③「OK」を選び、SETを押す。
 - メニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ読み込み先から読み 込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する(メニューは消える)。

(MEMO)

保存されない設定

- ♀システム設定メニュー > 「ネットワーク設定」> 「接続設定」の「暗号化キー」*
- ●システム設定メニュー > 「ネットワーク設定」>「ブラウザーリモート」>「ユーザー設定」の「パスワード」*
 * 初期設定値を除く。
- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- C300 Mark IIの設定データのみ使用可能です。

MEMO





クリップを再生する CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像 (クリップ) の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」(1)175)をご覧ください。

■ インデックス画面

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする(2)26)と本機がメディアモードで起動し、CFastカードに記録されているクリップのサムネイル(縮小画)がインデックス画面に表示されます(メイン動画インデックス画面)。なお、クリップ撮影時のシステム周波数の設定が、本機の設定と異なると再生できません。本機のシステム周波数を再生するクリップと同じ設定してください(2)64)。



6~7、11~16には、選択しているクリップの情報が表示されます。

- 1 リレー記録マーク
 - 記録中にメディアが切り換わった場合、切り換わり前後のクリップに表示される。
- 2 ショットマーク
 ショットマーク1またはショットマーク2が付加 されているときに表示される。
- 3 OKマーク/チェックマーク
 OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。
- 4 収録日(月日)と記録開始時間
- 5 カーソル (オレンジ色の枠)
- 6 カメラインデックス、リール番号、クリップ番号
- 7 収録日(年月日)と記録開始時間
- 8 クリップのサムネイル
- 9 記録メディア
 - 現在選択しているCFastカードをハイライト表示 する。

- 10 クリップ番号/クリップ総数
- 11 特殊撮影情報
 - 特殊撮影(インターバル記録、フレーム記録、スロー&ファストモーション記録、プレ記録)で記録 されたクリップのときに、そのモード名が表示される。
- 12 記録開始フレームのタイムコード
- 13 カスタムピクチャー
 カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているときのみ表示される。
- 14 カラーサンプリングと解像度
- 15 フレームレート
 - スロー&ファストモーション記録で記録されたクリップのときは、「撮影フレームレート/再生フレームレート」が表示される。
- 16 記録時間

クリップを再生する

•••••

CFastカードを切り換える



両方のCFastカードスロットにCFastカードを入れているときは、SLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押して、再生するCFastカードを切り換えることができます(CL) 51)。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の4種類のインデック ス画面に切り換えることができます。

- Mark Index(OKマークインデックス画面):
 選択中のCFastカードに記録されているクリップのうち、OKマークが付加されたクリップのみを表示する。
- ✓ Mark Index(チェックマークインデックス画面): 選択中のCFastカードに記録されているクリップのうち、チェックマークが付加されたクリップのみを表示する。
- XF-AVC Proxy Index(プロキシ動画インデックス画面): SDカードに記録されているプロキシクリップのみを表示する。
- Photo Index(静止画インデックス画面):

SDカードに記録されている静止画のみを表示する。



■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生には本体またはモニターユニット上の各種再生操作ボタンを使用します。本体のボタン操作では、▶/耻(再生/一時停止)、■(停止)が行えるほか、ジョイスティックガイドに従って ジョイスティックで操作することもできます。



ご注意

アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

● クリップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。

クリップを再生する



● モニターユニットのDISP.(ディスプレイ)ボタンまたは「Display」を割り当てたアサインボタン(□ 138)を押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 → ジョイスティックガイド非表示 → 全消去*

* 再生直後の再生状況とタイムコードや、クリップ番号/クリップ総数を除くほとんどの画面表示が消去される。

161

再

クリップを再生する

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、本体またはモニターユニットの再生操作 ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、モニター ユニットのDISP.(ディスプレイ)ボタンまたは「Display」を割り当てたアサインボタンを押して表示を入/切できます。

松桦 台口	操作			三首 日日					
182 86		ボタン	ジョイスティック	сл. нд					
早送り* ¹	再生中に								
早戻し* ¹	再生中に			- 押りたりに再主速度が刺った→利口の一→利の市に切り換ける					
コマ送り	一時停止中に	—	II ►	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。					
コマ戻し*3	一時停止中に	_	- II	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。					
スキップ再生	再生中に			次のクリップの先頭から再生。					
	再生中に			現在のクリップの先頭から再生。					
	再生中に 2回押す			前のクリップの先頭から再生。					

*1 操作中、画面が乱れることがあります。

*2 画面に出る倍速表示は目安です。

*³「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPの場合、コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、フレームレートが59.94Pのときは0.2秒、50.00Pのときは0.24秒、それ以外のときは約0.5秒です。

MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/Ⅲボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声をヘッドホンで聞くことができます。 音量は、♪))オーディオ設定メニュー > 「Audio Output」 > 「ヘッドホン音量」で調整できます。アサインボタン(□ 138) で調整することもできます。音声はREC OUT端子、MON.端 子とHDMI OUT端子にも出力されます(□ 178)。

MEMO

 ●モニターするチャンネルの選択については、「音声出力 チャンネルを選ぶ」(□ 184)をご覧ください。

クリップを操作する CAMERA MEDIA

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画の各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。また、すべてのクリップに対する操作は、**合**記録/メディア設定メニューから行うことができます。

■ クリップメニュー一覧

		インデックス画面					
メニュー項目	内容	メイン 動画	チェック/ OKマーク	ショット マーク	エクス パンド	プロキシ 動画	
Cancel	クリップメニューを消す。						_
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。						165
OK Mark追加	OKマークを付加する。	*1					166
OK Mark消去	OKマークを消去する。		•*2				167
✔ Mark追加	チェックマークを付加する。	* 1					166
✔ Mark消去	チェックマークを消去する。		•*3				167
クリップコピー	クリップを別のCFastカードにコピーする。		•*2				168
クリップ消去	クリップを消去する。		•*3				169
Shot Mark	ショットマーク1またはショットマーク2が付加 されたフレームだけをショットマークインデッ クス画面に表示する。	•	•				
Shot Mark 1	ショットマーク1が付加されたフレームだけを ショットマークインデックス画面に表示する。		•				170
Shot Mark 2	ショットマーク2が付加されたフレームだけを ショットマークインデックス画面に表示する。	•	•				
エクスパンドクリップ	エクスパンドクリップインデックス画面に切り 換える。	•	٠				171
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ/ GPS 情報を消去する。	٠	•			•	169
☞ファイルコピー	カスタムピクチャーファイルを本機にコピーす る。	•	•			•	170
Shot Mark 1追加 / Shot Mark 1消去	ショットマーク1を付加/消去する。			•*4	•*4		170
Shot Mark 2追加 / Shot Mark 2消去	ショットマーク2を付加/消去する。			•*4	•*4		172
表示間隔+	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔を より粗くする。				•		171
表示間隔-	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔を より細かくする。				•		171
一時停止	選んだフレームの再生一時停止状態にする。						_

*1 クリップにOKマーク/チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。

*² OKマークインデックス画面のみ。

*3 チェックマークインデックス画面のみ。

*4 ショットマークの付加状態によって、表示される項目が変わる。



ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

● プロキシクリップの操作を行うときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

クリップを操作する

•••••

■ クリップ情報を表示する

クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、選択しているクリップの情報を確認できます。クリップ情報 画面でジョイスティックを左右に押すと、前/次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



- 1 選択しているクリップのサムネイル(縮小画)
- 2 カラーサンプリング 🍽 踊 64
- 3 GPS情報マーク ▶ 🗰 116
- 4 撮影開始日時
- 5 クリップファイル名 🍽 🛄 61
- 6 ビットレート/解像度
- 7 特殊記録情報/フレームレート
 - 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、 「FRM REC」、「S&F REC」、「PRE REC」のいずれか が表示される。
 - スロー&ファストモーション記録で記録したク リップのときは、フレームレートの表示が「撮影 フレームレート/再生フレームレート」になる。

- 8 OKマーク/チェックマーク/ショットマーク/ リレー記録マーク
- 9 カスタムピクチャー
- 10 前のクリップのサムネイル
- 11 次のクリップのサムネイル
- 12 記録開始フレームのタイムコード
- 13 記録終了フレームのタイムコード
- 14 収録時間

クリップに付加されているレンズ型名情報/ユーザーメモを表示する



クリップ情報画面でジョイスティックを上に押すか SELECTダイヤルを左に回すと、クリップに付加されてい るレンズ型名情報とユーザーメモを表示できます。ジョ イスティックを下に押すかSELECTダイヤルを右に回す と、クリップ情報画面に戻ります。



クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを表示する



カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているクリップのときは、クリップ情報画面で ジョイスティックを下に押すかSELECTダイヤルを右に回すと、カスタムピクチャーの設定内容を 表示することができます。設定内容は4つの画面に分かれており、操作するたびに「配 Data 1/4 | →「 C Data 2/4 | → 「 C Data 3/4 | → 「 C Data 4/4 | → 「Lens & W D | → 「 クリップ情報画面 | の ように切り換わります。

OKマーク/チェックマークを付加する

メイン動画のクリップにOKマーク/チェックマークを付加しておくと、OKマーク/チェックマークが付加されたクリッ プだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止 されるため、重要なクリップを保護することができます。

再生中にOKマーク/チェックマークを付加する

再生中のメイン動画のクリップにOKマーク/チェックマークを付けることができます。



● OKマークを付加したクリップには、画面に Mが、チェックマークを付加したクリップに は、画面に▼が表示される。

クリップを操作する

メイン動画インデックス画面でOKマーク/チェックマークを付ける

メイン動画インデックス画面で選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。



- メイン動画インデックス画面で、マークを付けるクリップを選ぶ。
 クリップメニュー > 「図 Mark追加」または「☑ Mark追加」を順に選ぶ > SETを 押す。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左に Mが表示される。
 ●「 Mark追加」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイル

MEMO

● OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップ にチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付 加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

の左に▼が表示される。

OKマーク/チェックマークを消去する

1つのクリップのOKマーク/チェックマークを消去する



- ① マークを消去するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー > 「 Mark 消去」または 「 Mark 消去」を順に選ぶ。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

すべてのクリップのOKマークをまとめて消去する



- ① 合記録/メディア設定メニュー ▶ 「**Ⅲ** Marks全消去」を順に選ぶ。
- ②「OK」を選ぶ > SETを押す。
 選択中のCFastカードに記録されているすべてのクリップから、OKマークが消去される。
- 中止するとき CANCELを押す。

■ クリップをコピーする

CFastカードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのCFastカードにコピーすることができます。

① コピーするクリップを選ぶ

1つのクリップをコピーする



 ② クリップメニュー > 「クリップコピー」を順に選ぶ。
 ③ 「OK」を選ぶ > SETを押す。
 ● 選択したクリップがもう一方のCFastカードスロットのCFastカードにコ ピーされる。
 中止するとき CANCELを押す。

④ SETを押す。

すべてのクリップまたはOKマークが付加されたクリップをまとめてコピーする



- ① 書記録/メディア設定メニュー > 「クリップ」>「全クリップコピー」または「 クリップコピー」を順に選ぶ。
- ② [OK]を選ぶ > SETを押す。
 - 選択中のCFastカードに記録されている、すべてのクリップまたはOKマークが付加されたクリップが、もう一方のスロットのCFastカードにまとめてコピーされる。
 - 中止するとき CANCELを押す。
- ③ SETを押す。

● CFastカードカバーが開いていると、コピーは行えません。

クリップを操作する

.....

■ クリップを消去する

CFastカードまたはSDカードに記録されたクリップを消去することができます。OKマークが付加されたクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

1つのクリップを消去する



消去するクリップを選ぶ。
 クリップメニュー > 「クリップ消去」を順に選ぶ。
 「OK」を選ぶ > SETを押す。
 選択したクリップが消去される。
 OKマークが付加されたクリップは消去されない。
 クリップの消去は中止できない。
 SETを押す。

すべてのクリップを消去する



- ① ●記録/メディア設定メニュー >「クリップ」>「全クリップ消去」を順に 選ぶ。
- ②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 選択中のCFastカード(OKマークが付加されたクリップを除く)またはSD カードのすべてのクリップが消去される。
 中止するとき CANCELを押す。
- ③ SETを押す。

■ クリップに付加されているユーザーメモ/ GPS情報を消去する

選択したクリップに付加されているユーザーメモ/ GPS情報を消去することができます。



- ① ユーザーメモ/ GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
- クリップメニュー ➤ 「User Memo消去」を順に選ぶ。
- ③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 選択したクリップに付加されているユーザーメモ/ GPS情報が消去される。

■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることができます。



- ① コピー元のクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー > 「 ☎ ファイルコピー」を順に選ぶ。
 - ■ Data 1/4画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
 - 「Custom Picture」を割り当てたアサインボタンを押しても、 ☑ Data 1/4画 面を表示できる。
 - ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回すと、 IData 2/4画
 面~ IData 4/4画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。
- ③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイル を選ぶ > SETを押す。
 - ●「C1」~「C20」からコピー先を選ぶ。
- ④「OK」を選ぶ > SETを押す。
 選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイル がコピーされる。
- ⑤ SETを押す。

(MEMO)

● プロテクトされたカスタムピクチャーファイルをコピー先に選択することはできません。

■ ショットマークインデックス画面を表示する

CFastカードに記録されたクリップにショットマーク(1または2)が1つ以上付加されている場合、ショットマークが付加 されているフレームだけを抜き出して、インデックス画面に表示することができます。ショットマークインデックス画 面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加・消去する、などの操作を行うこ とができます。ショットマーク画面インデックスには、「Shot Mark(ショットマーク1と2の両方)」、「Shot Mark 1(ショッ トマーク1のみ)」、「Shot Mark 2(ショットマーク2のみ)」の3種類の表示方法があります。



1 ショットマークが付加されているフレームのタイムコード

クリップを操作する

•••••



① ショットマークが付加されているクリップを選ぶ。

- ② クリップメニュー > 「Shot Mark」、「Shot Mark 1」、「Shot Mark 2」のいずれ かを順に選ぶ > SETを押す。
 - 選んだクリップのショットマークインデックス画面が表示され、メニューで選んだショットマーク種別のフレームだけが、サムネイル表示される。

元のインデックス画面に戻るとき

本体またはモニターユニットのINDEX(インデックス)ボタンまたはCANCELを押す。

MEMO

● ショットマークインデックス画面から再生すると、ショットマークインデックス画面は解除されます。再生停止後は、 ショットマークインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

■ エクスパンドクリップインデックス画面を表示する

CFastカードに記録されたクリップを一定の時間ごとに分割してインデックス画面に表示することができます。収録時間の長いクリップの中から目的のシーンをすばやく探したいときに便利です。分割の時間間隔は、クリップメニューで、「表示間隔-」または「表示間隔+」を指定することで変更できます。エクスパンドクリップインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加・消去する、などの操作を行うことができます。



1 サムネイルを表示しているフレームのタイムコード



① エクスパンドクリップインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。

② クリップメニュー > 「エクスパンドクリップ」を順に選ぶ > SETを押す。
 ● 選んだクリップのエクスパンドクリップインデックス画面が表示される。

③ 必要に応じて、クリップメニュー ➤ 「表示間隔-」または「表示間隔+」を選ぶ ➤ SETを押す。

● 時間間隔が、より細かくまたはより粗くなる。

元のインデックス画面に戻るとき

本体またはモニターユニットのINDEX(インデックス)ボタンまたはCANCELを押す。

MEMO

 エクスパンドクリップインデックス画面から再生すると、エクスパンドクリップインデックス画面は解除されます。再 生停止後は、エクスパンドクリップインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

■ ショットマークを付加/消去する

メディアモードで、CFastカードに記録されたクリップの重要なフレームにショットマーク(1または2)を付けることが できます。ショットマークは、再生中や再生一時停止中に、「Shot Mark 1追加」または「Shot Mark 2追加」を割り当てた アサインボタンを押すと付加できます。また、ショットマークインデックス画面またはエクスパンドクリップインデック ス画面でサムネイル表示されているフレームに、ショットマーク(1または2)を付加したり、付加されているショット マークを消去したりすることもできます。

再生中にショットマークを付加する

例:カメラアサイン8ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマーク1を付加する場合



クリップを操作する

インデックス画面でショットマークを付加する

例:「ショットマーク2」を付加する場合



- ① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドクリップインデックス 画面でフレーム (サムネイル)を選ぶ。
- ② クリップメニュー ➤ 「Shot Mark 2追加」を順に選ぶ。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 選んだフレームに対して、ショットマーク2が付加され、サムネイルの左 に図が表示される。

MEMO

- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ●ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

インデックス画面でショットマークを消去する

例:「ショットマーク1」を消去する場合



- ショットマークインデックス画面またはエクスパンドクリップインデックス 画面でフレーム (サムネイル)を選ぶ。
- ② クリップメニュー > 「Shot Mark 1消去」を順に選ぶ。
- ③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 選んだフレームに付加されているショットマーク1が消去される。
 - ショットマークを消去したことにより、そのフレームが、現在表示しているショットマークインデックス画面の表示条件を満たさなくなったときは、インデックス画面に表示されなくなる(例:ショットマーク1のインデックス画面で、ショットマーク1を消去したときなど)。

MEMO



出力信号形式	176
外部のモニター/レコーダーを 接続する	178
音声出力を選択する	184
クリップをパソコンに保存する	186
RAWクリップを現像する	187

出力信号形式 CAMERA MEDIA

REC OUT端子 / MON.端子、HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式

「REC OUT 4K RAW モード」*1	記録信号形式		出力信号形式				
	フレーム レート*2	解像度		MON.端子* ⁴			
			REC OUT端子*3	「MON.端子」>「Output」* ⁵			HDMI OUT端子
				4K RAW優先	2048×1080 / 1920×1080	1920×1080	*4*6*7
4K RAW	29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	4096×2160 2048×1080	4096×2160 RAW 10 bit	4096×2160 RAW 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		
		3840×2160 1920×1080	3840×2160 RAW 10 bit	3840×2160 RAW 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		
2K	29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	4096×2160	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		1920×1080 YCbCr4:2:2 10 bit	1920×1080、 720×480 (59.94Pのみ)、 720×576 (50.00Pのみ)
		2048×1080	2048×1080 / RGB 4:4:4 12/10 bit, YCbCr 4:2:2 10 bit				
		3840×2160	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
		1920×1080	1920×1080 // RGB 4:4:4 12/10 bit, YCbCr 4:2:2 10 bit				
	59.94P 50.00P	2048×1080	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
	59.94(P/i) 50.00(P/i)	1920×1080	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			

*1 合記録/メディア設定メニュー > 「REC OUT 4K RAWモード」の設定(1) 178)。

*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ(スロー&ファストモーション記録時を除く)。

*3カラーサンプリングは「解像度/カラーサンプリング」(〇)64)の設定と同じ。

*4 画面表示の重畳(〇)183)、ピーキング/ゼブラパターンなどアシスト表示が出力可能(〇)85)。MON.端子の4K RAW出力時を除く。

*⁵ 🗐映像/端子設定メニュー > 「MON.端子」 > 「Output」の設定 (🛄 178)。4K RAWは、REC OUT端子が4K RAWのときのみ選択可能。

*6 MON.端子が有効のときはHD出力、「切」のときはHDまたはSDが出力される(モニターの能力に応じる)。記録信号形式の水平解像度 が4096または2048のときは、映像の両端が切り取られます。

*⁷ カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:4:4 8 bit、YCbCr 4:2:2 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。

再生時の出力信号形式

再生信	号形式	出力信号形式			
解像度		REC OUT端子	HDMI 0IIT端子*1*2		
	フレームレート	FREC OUT/MON.			
		2048×1080 / 1920×1080	1920×1080		
4096×2160 2048×1080	29.97P 25.00P	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr4:2:2 10 bit	1920×1080 720×480 (59.94Pのみ) 720×576 (50.00Pのみ)	
3840×2160 1920×1080	24.00P 23.98P	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
2048×1080	59.94P 50.00P	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
1920×1080	59.94(P/i) 50.00(P/i)	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			

*¹ 回映像/端子設定メニュー > 「REC OUT/MON.端子」 > 「Output」が、「2048×1080 / 1920×1080」または「1920×1080」のときはHD出 力となり、「切」のときはモニターに応じてHDまたはSDが出力される。

*² カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:4:4 8 bit、YCbCr 4:2:2 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。

_{外部の}モニター/レコーダーを接続する

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外 部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します(愛愛 ▶ 「出力信号形 式」(◯ 176))。

接続のしかた



(MEMO)

● ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

■ REC OUT端子/ MON.端子を使用する CAMERA MEDIA

REC OUT端子/ MON.端子から出力される映像信号には、オーディオ信号(4チャンネル*)とタイムコード信号、メタデータ、クリップファイル名情報が重畳されます。

* 4K RAW出力時は2チャンネル、16ビット出力となります。出力するチャンネルはメニューで選択できます(江 184)。

REC OUT端子/ MON.端子の出力を有効にする

REC OUT端子/ MON.端子の出力は、それぞれ個別にメニューで有効にできます。使用しないときは無効にしておくと、 バッテリーの持ちが良くなります。

REC OUT端子を有効にする(カメラモード)

★ 記録/メティア設定	1 REC OUT端子の出力モードを選ぶ
か) P P REC OUT 4K RAWモード ロ 開 開	① 査 記録/メディア設定メニュー > 「REC OUT 4K RAWモード」を順に選ぶ ②「4K RAW」または「2K」を選ぶ > SETを押す。
Ý ★₁	● REC OUT端子を使用しないときは「切」を選ぶ。
	● 「4K RAW」は、カスタムピクチャーの 「Preset」または 「Main Settings
	で、ガンマをCanon Log 2 / Canon Log 3に設定したときのみ選択す

能。

外部のモニター/レコーダーを接続する

MON.端子を有効にする(カメラモード)

く 映像/端子設定 - <u>MONまH</u> P IVF/モニター選択 MON.+H	DMI+LCD(VF) DMI+VF	MON.端子の出力を有効にする		
N) LCD+VF		① 🖾 映像/端子語	設定メニュー ▶ 「VF/モニター選択」を順に選ぶ。	
		② 「MON.+HDMI+L	CD(VF)」または「MON.+HDMI+VF」を選ぶ > SETを押す。	
r h				
/ mb//h//				
■ DEMINF 1887 BOLE ■ MON.端子 ■ AK RAW	_{et} 2	MON.端子の出力	モードを選ぶ	
) [Output 2048x1 9 1920x1 コー ゼリ	080 / 1920x1080 080	 ・ ・ ・		
k 1		4K NAW 傻兀,	それ以外は2Kの映像を出力する。	
		2048×1080 /		
		1920×1080:	REC OUT端子の出力にかかわらず、2048×1080また は1920×1080の映像を出力する。	
		1920×1080:	REC OUT端子の出力にかかわらず、常に1920×1080	
			の映像を出力する。記録信号形式の水平解像度が	
			4096または2048のときは、上下にに黒い帯が追加さ	
			れる。	
		● MON.端子を係	使用しないときは 「切」を選ぶ。	

REC OUT端子/ MON.端子を有効にする(メディアモード)



- 1 端子の出力を有効にする
 - (1) (二) 映像/端子設定メニュー ➤ 「REC OUT/MON.端子」 ➤ 「Output」を順に選ぶ。
 - ② 「2048×1080 / 1920×1080」または「1920×1080」を選ぶ > SETを押す。
 REC OUT端子 / MON.端子を使用しないときは、「切」を選ぶ。

外部モニターに接続する

MON.端子の映像信号には、マーカー、ゼブラパターン、ピーキング、画面表示が重畳できるほか、拡大表示や白黒表示 (① 210)を行うこともできます。業務用4KディスプレイDP-V2410(別売)など本機の4K RAW信号の入力に対応したモニ ターを接続すれば、他機を介すことなく、本機の4K RAWの映像を表示できます。

使用する端子 (REC OUT端子、MON.端子) の出力を有効にする 1 (178)



2 2K出力のとき REC OUT端子 / MON.端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ

- ① 🗰映像/端子設定メニュー > [3G-SDIマッピング]を順に選ぶ。
- ② [Level A]または [Level B]を選び ➤ SETを押す。
 - SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。

外部レコーダーを接続して4K RAW / 2K映像を記録する

CAMERA MEDIA

本機のREC OUT端子またはMON.端子に接続した外部レコーダーに4K* / 2K映像を記録できます。レコーダーの機能・操作については、レコーダーの説明書などをご覧ください。音声については「音声出力を選択する」(22184)をご覧ください。 * 4K映像を記録するには、キヤノンのRAWファイル形式に対応する外部レコーダーを接続する必要があります。対応するレコーダーについては、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

> ┃ 使用する端子 (REC OUT端子、MON.端子)の出力を有効にする (□ 178)



2 4K RAWを出力するとき 色空間を選ぶ

① 書記録/メディア設定メニュー > 「4K RAW Color Space」を順に選ぶ。
 ② 「BT.2020 Gamut」または「Cinema Gamut」を選ぶ > SETを押す。
 診ぎ > ■ Custom Pictureメニュー > 「Main Settings」 > 「Color Space」

MEMO

- 接続するレコーダーによっては、設定した記録信号形式で記録できないことがあります。
- 本機と外部レコーダーを接続後、必ずためし撮りをして正常に録画・録音されていることを確認してください。

(148)。

● 書記録/メディア設定メニュー »「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をREC OUT端子またはMON.端子でつな ぐと、本機の撮影/撮影一時停止操作(START/STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録/記録一時停止を行うこ とができます。

4K RAW出力時の動作について

- ガンマはCanon Log 2で出力されます。
- 4K RAW映像とともに出力される音声は2ch リニアPCM (16ビット)です。音声は、4ch リニアPCM (16/24ビット)で 記録可能なメイン動画/プロキシ動画での収録をおすすめします。
- 記録モードの「Slow & Fastモーション(CROP)」と同時に使用することはできません。
- 30.00Pを超えるフレームレートで出力できません。
- REC OUT端子から2K RGB4:4:4信号を出力時、MON.端子からの出力は2K YCbCr信号となります。
外部のモニター/レコーダーを接続する

HDMI OUT端子を使用する CAMERA MEDIA

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。HDMI OUT端子の出力信号は、 「MON.端子」または「REC OUT/MON.端子」>「Output」(□ 204)の設定によって変わります。出力にタイムコード(□ 203)や 画面表示(□ 183)を重畳したり、白黒表示(□ 210)にしたりすることもできます。音声は2チャンネル、リニアPCM(16ビッ ト*、48kHz)で出力されます。出力チャンネルはメニューで選択できます(□ 184)。 *「量子化ビット数」(□ 104)の設定にかかわらす16ビット固定となる。



カメラモードのとき HDMI OUT端子の出力を有効にする

2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

① 書記録/メディア設定メニュー > [HDMI Time Code」を順に選ぶ。
 ② 「入」を選ぶ > SETを押す。

MEMO

- 次のときは、接続した外部モニターの能力に合わせて、HD出力とSD出力が自動的に切り換わります。
 カメラモードにおいて、「REC OUT 4K RAWモード」が「4K RAW」以外で、「MON.端子」 > 「Output」が「切」のとき。
 メディアモードで「REC OUT/MON.端子」 > 「Output」が「切」のとき。
- フレームレートが24.00Pの場合、SD出力は行われません。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。
- 書記録/メディア設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI Time Code」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子 でつなぐと、本機の撮影/撮影一時停止操作(START/STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録/記録一時停止を 行うことができます。タイムコードも重畳されます。
- メディアモードのときやSD出力時は、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。

■ 出力映像にLUTを適用する CAMERA MEDIA

カスタムピクチャーで特定のガンマ/色空間を選択している場合、REC OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子、液晶モニ ター/ファインダーの出力映像にLUTを適用して、標準的なガンマ/色空間に変換できます。映像出力端子に接続した 外部モニターや本機の画面で映像を確認する際に使用します。端子からの出力映像の確認には、各色空間に準拠した 表示装置が必要です。

選択できるLUT

「LUT」	ガンマ	色空間	内容
BT.709	Wide DR	BT.709	BT.709規格に準拠した外部モニターや本機の画面で確認するためのLUT。
BT.2020*	Wide DR	BT.2020	UHDTV(4K/8K)用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。
DCI*	DCI	DCI-P3	DCI (Digital Cinema Initiatives)で規格化されている色空間とガンマに対応する外部モニターで確認するためのLUT。
ACESproxy*	ACESproxy	ACESproxy	ACESproxyに準拠する外部モニターで確認するためのLUT。

* 液晶モニター/ファインダーでは 選択できない。

LUTを適用できるガンマと色空間の組み合わせ

■Custom Pictureメニュー > 「Preset」または「Main Settings」で選択したガンマと色空間の組み合わせによって、LUTの適用可否と選択できるLUTが決まります。

カスタムピクチャー		選択できるLUT			
ガンマ	色空間	BT.709	BT.2020	DCI	ACESproxy
	Cinema Gamut	•	•	•	•*
Canon Log 2 /	BT. 2020 Gamut	•	•		
Canon Log 3	DCI-P3 Gamut	•		•	
	BT.709 Gamut	•			
Canon Log	BT.709 Gamut	•			
Wide DR	BT. 2020 Gamut				

* ■Custom Pictureメニュー > 「Preset」で「Canon Log 2 : C.Gamut」または「Canon Log 3 : C.Gamut」を選択したときのみ。



① 圏アシスト設定メニュー > 「LUT」 > 「設定」を順に選ぶ。

- ②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ③ 圏アシスト設定メニュー > 「LUT」>「MON. & HDMI設定(2K)」、「REC OUT設定(2K)」または「LCD & VF設定」を順に選ぶ。
- ④ いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 出力映像のガンマと色空間が変更される。
- [LCD & VF設定」では [BT.709」のみ選択可能。
- LUTを適用しないときは「切」を選ぶ。

MEMO

ACESproxyの映像を出力する(オンセット・グレーディング)

REC OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子に「ACESproxy」のLUTを適用すると、ACESproxy準拠の映像に変換して出力 できます。対応する表示装置*でモニタリングすることにより、撮影現場でカラーグレーディング時の映像を確認しな がら撮影できます(CL 20)。

* HDMI OUT端子で接続するときは、YCbCrフルレンジに対応していること。

外部のモニター/レコーダーを接続する

- [LUT]を割り当てたアサインボタンで、LUTの入/切を操作することもできます(□138)。
- カスタムピクチャーのPreset、Main Settingsのガンマ/色空間を変更すると、LUTの「設定」および各出力はすべて「切」 になります。



MON.端子、HDMI OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。この設定は、REC OUT端子の出 力映像とカードに記録される映像には影響しません。



- ① □ 映像/端子設定メニュー > 「MON.端子」または「REC OUT/MON.端子」>
 「2Kオンスクリーン表示」を順に選ぶ。
- ②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 画面に DISP→ が表示される*。

(MEMO)

- ●「オンスクリーン表示」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます(□138)。

音声出力を選択する

REC OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子、 (ヘッドホン)端子から音声を出力できます。記録メディアに 記録される4チャンネルの音声のうち、 (ヘッドホン)端子、REC OUT端子/ MON.端子(4K RAW出力時)、 HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

音声の出力信号形式

記録信号形式		撮影時			再生時	
		REC OUT端子/ MON.端子		HDMI OUT	REC OUT端子	HDMI OUT
記録方式	量子化ビット数	4K RAW * 2K		端子*	/ MON.端子	端子*
	24 bit	2ch リニアPCM	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM
	16 bit	16 bit	4ch リニアPCM 16 bit	16 bit	4ch リニアPCM 16 bit	16 bit

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能 (🎞 185)。

音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

×	オーディオ設定		
-	Audio Output		
· 폐 효 따 <u>~</u> 면 :	モニターチャンネル	CH1/CH2 CH1/CH1 CH2/CH2 CH1+2/CH1+2 CH3/CH4 CH3/CH3	
¥ *1		CH4/CH4 CH3+4/CH3+4	

- ♪)オーディオ設定メニュー > 「Audio Output」>「モニターチャンネル」を 順に選ぶ。
- 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

现中店	出力音声			
設た胆	L	R		
CH1/CH2	CH1	CH2		
CH1/CH1	CH1	CH1		
CH2/CH2	CH2	CH2		
CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2 (ミックス)	CH1 + CH2 (ミックス)		
CH3/CH4	CH3	CH4		
CH3/CH3	CH3	CH3		
CH4/CH4	CH4	CH4		
CH3+4/CH3+4	CH3 + CH4 (ミックス)	CH3 + CH4 (ミックス)		
CH1+3/CH2+4	CH1 + CH3 (ミックス)	CH2 + CH4 (ミックス)		

● □ 映像/端子設定メニュー > 「Custom Display 2」> 「モニターチャンネル」が「入」のときは、画面のオーディオレベルメーターの上に、選択した出力チャンネルが表示される。

MEMO

●「モニターチャンネル」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます。(□ 138)。

音声出力を選択する

REC OUT端子/ MON.端子、HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA *

カメラモードで4K RAW出力時のREC OUT端子/ MON.端子と、HDMI OUT端子は2チャンネルの音声を出力できます。4 チャンネルで記録/再生*する音声のうち、これらの端子から出力するチャンネルをメニューで選択できます。 * HDMI OUT端子のみ。

オーディオ設定		
Audio Output		
	CH1/CH2	
	CH3/CH4	
┃4K RAWチャンネル		
	オーティオ設定 Audio Output 4K RAWチャンネル	オーティオ設定 Audio Output CH1/CH2 CH3/CH4 4K RAWチャンネル

- ① ♪リオーディオ設定メニュー »「Audio Output」»「4K RAWチャンネル」または「HDMIチャンネル」を順に選ぶ。
- ②「CH1/CH2」または「CH3/CH4」のいずれかを選ぶ > SETを押す。

クリップ_をパソコンに保存する CAMERA MEDIA

記録したクリップをパソコンに保存するときはCanon XF Utilityを、ノンリニア編集ソフトウェアに読み込む ときはCanon XF Plugin*1を使用します。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロー ドしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報、市販のノンリニア編集ソフトウェ アへの最新の対応状況については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストー ルについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソ フトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書(PDFファイル)*2をご覧ください。 *1 Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。 *2 ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Canon XF Utility (Windows用/ macOS用)

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理、静止画の切り出しを行うソフトウェア。

Canon XF Plugin for Avid Media Access (Windows用/ macOS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / macOS) から、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

Canon XF Plugin for Final Cut Pro X (macOS用)

ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Pro Xから、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

RAWクリップを現像する CAMERA MEDIA

本機のREC OUT端子またはMON.端子に外部レコーダーをつなぎ、外部レコーダーで記録したRAW形式の クリップは、現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像して、DPX形式などの標準的なファイル 形式の素材データに変換することによって、カラーグレーディングが可能となります。また、Canon RAW Pluginを使用してRAW形式のまま、市販のノンリニア編集ソフトウェアに取り込むこともできます。これ らのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードできます。システム構成や最新の情報に ついてはキヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロー ドしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。詳細な使いかたについては、 ソフトウェアに付属の使用説明書 (PDF)*をご覧ください。

Cinema RAW Development (Windows用/macOS用)

RAWクリップを現像して再生、およびRAWクリップを現像してエクスポートすることができる。

Canon RAW Plugin for Avid Media Access (Windows用/ macOS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / macOS) から、カメラで撮影して外部レコーダーに記録したクリップを直接読み込むことができる。

MEMO

静止画

静止画を記録する.	
静止画を再生する。	192

静止画を記録する

カメラモードで撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます*。また、メディアモードで動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り出すこともできます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

動画の解像度	静止画サイズ	1枚あたりのファイルサイズ (目安)
4096×2160、2048×1080	2048×1080	約930 KB
3840×2160、1920×1080	1920×1080	約880 KB

■ カメラモードで静止画を記録する CAMERA MEDIA

カメラモードで、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押して、静止画を記録できます。

例:カメラアサイン8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合



MEMO

● プレ記録モードのときは静止画を記録できません。

■ メディアモードで動画から静止画を切り出す CAMERA MEDIA

メディアモードで、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押して、動画から静止画を切り出すことができます。

例:カメラアサイン8ボタンに「Photo」が割り当てられている場合



ご注意

SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。 ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。

■ SDカードを取り出さない。

MEMO

● 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画番号の付けかたを選ぶ CAMERA MEDIA

本機で記録する静止画には、連続した番号(「静止画番号」)が自動的に付けられます。静止画を保存するフォルダーの 名前と、静止画のファイル名は、静止画番号から作成されます。静止画番号の付けかたはメニューで設定できます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100~999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

ファイル名

ファイル名の上4文字は「IMG_」の固定文字列、下4桁は静止画固有の番号(0001~9999)です。

静止画番号

- 静止画番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁(100~999)、下4桁は静止画固有の番号 (0001~9999)に対応します。
- 静止画番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録した静止画番号が 「100-0007」の静止画は、「DCIM ¥100_0601」というフォルダーの中に「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示さ れます。

オートリセット	初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。

×	記録/メディア設定	
-		オートリセット
CP		通し番号
b 1)		
6		
□		
圞		
4		
★ 1	静止画番号	
_		

① ➡記録/メディア設定メニュー > 「静止画番号」を順に選ぶ。 ② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ > SETを押す。

MEMO

● 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。



SDカードに記録した静止画を再生することができます。

静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。





静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には本体またはモニターユニット上の各種再生操作ボタン を使用します。本体のボタン操作では、▶/Щ(再生/一時停止)、■(停止)が行えるほか、ジョイスティックで操作する こともできます。

(SET)+)	1	ジョイスティックを上下左右に押すかSELECTダイヤルを回して、再生する静止画を 選ぶ
		● ジョイスティックまたはSELECTダイヤルを操作すると、インデックス画面上のカーソル (オレンジ色の枠)が移動するので、再生したい静止画に合わせる。
WB	2	▶/Ⅲ(再生/一時停止)ボタンを押す
		● 静止画が再生される (1枚表示される)。
		前の静止画/次の静止画に移動するとき
		◀◀を押すと前の静止画に、▶▶ を押すと次の静止画に移動する。 ● ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。
		撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき
		モニターユニットのDISP. (ディスプレイ) ボタンまたは [Display] を割り当てたアサインボタン を押す。
		再生を終える (インデックス画面に戻る)とき
		■(停止)ボタンを押す。

ご注意

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。 ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。

•••••

MEMO

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。

- ■本機以外の製品で記録したとき。
- パソコンで作成や加工、ファイル名の変更をしたとき。

■ ネットワーク機器で再生する

メディアサーバーの静止画を再生可能なネットワーク機器があれば、本機のSDカード内の静止画を、ネットワーク機器 で再生できます。本機の拡張システム端子(CL12)にワイヤレスファイルトランスミッター(別売)を取り付け、アクセス ポイント(無線親機)経由でネットワークに接続した後、ネットワーク機器から接続して再生します。ワイヤレスファイ ルトランスミッターの取り付けや設定については、「ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8 EOS C300 Mark II用ガイド」*をご覧ください。アクセスポイントやネットワーク機器については、それぞれの説明書をご覧くださ い。

* キヤノンのホームページからダウンロードできます。

(SET) +	 本機 ワイヤレスファイルトランスミッターを取り付け、アクセスポイント経由で 無線ネットワークへの接続設定を行う ジブ ▶「ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8 EOS C300 Mark II用ガイド」
(SET)	2 本機 メディアサーバーを起動する ① ♥システム設定メニュー >「ネットワーク設定」> 「メディアサーバー」を順に選ぶ。 ★ システム設定 メラステム 、
	 3 ネットワーク機器 本機の静止画を再生する ① ネットワーク機器を操作して、メディアサーバーの一覧から本機の名前「EOS C300 Mark 山を選ぶ。 ② 表示されるフォルダー内の静止画を選んで再生する。
	 4 本機 SETを押す ● メディアサーバーが終了する。

静止画

静止画を再生する



不要な静止画を1枚ずつ、またはまとめて消去できます。

静止画インデックス画面または静止画再生中に消去する



- ① 消去する静止画を、静止画インデックス画面または静止画再生画面で選ぶ。
- ② SETを押す > 「消去」を選ぶ。
- ③「OK」を選ぶ > SETを押す。
- 選択した静止画が消去される。
- ④ SETを押す。

静止画インデックス画面ですべての静止画を消去する



- ① 書記録/メディア設定メニュー > 「静止画全消去」を順に選ぶ。
 ② 「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - SDカードに記録されている静止画がすべてが消去される。

中止するとき

CANCELを押す。 ③ SETを押す。

ご注意

●一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。





本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(1129)をご覧ください。

■ メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

MENU

・ カメラ設定メニュー(□197) ☆ 記録/メディア設定メニュー(□ 201) 「
の
アシスト
設定
メニュー(□ 208) (記録設定、記録メディア操作) (撮影/再生時のアシスト表示設定) (撮影時のカメラ設定) - メディア初期化 フォーカスガイド - 測光方式 - システム周波数 Peaking - AE - ISO/Gain - REC OUT 4K RAWモード Zebra 4K RAW Color Space Magnification — Iris マーカー -記録モード -ND濃度拡張 -LUT -フレームレート – Shutter - 解像度/カラーサンプリング – White Balance - 白黒 -ビットレート -WFM - フォーカス - 特殊記録設定 - 本体グリップズーム -XF-AVC Proxy記録 ◆システム設定メニュー(□210) - ABB - リレー /ダブルスロット記録 - カラーバー (リセット、日時、言語など) -リセット - メタデータ - 周辺光量補正 - 記録コマンド - メニュー / 🖸 設定保存 - 色収差補正 – HDMI Time Code -タイムゾーン \mathbb{CP} Custom Picture $\times = \exists - (\Box 199)$ -クリップ - 日時設定 静止画番号 言語 📾 (画質のカスタマイズ) Marks全消去 - REMOTE端子 – Preset -静止画全消去 - アサインボタン Main Settings - タリーランプ Other Settings □ 映像/端子設定メニュー(□ 204) - メディアアクセスLED -ファイル (画面/端子出力設定) -ファン -VF/モニター選択 -ファン速度 ♪リオーディオ設定メニュー(□199) -MON.端子 ーレックレビュー (音声の入出力設定) — Audio Input - REC OUT/MON.端子 - Custom Function -3G-SDIマッピング - アワーメーターリセット - Audio Output -GENLOCK/SYNC OUT端子 - ネットワーク設定 - Time Code – GPS – User Bit - 認証マーク表示 -LCD設定 – Firmware -VF設定 -EVF-V70設定 ★1マイメニュー(□ 214) -LCD LM-V1設定 - 選択 -編集 -表示パネル輝度 - DISP.ボタン設定 - Custom Display 1 - Custom Display 2 - Custom Display

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項 目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

♥■カメラ設定メニュー	CAMERA MEDIA
設定項目/内容・設定値	
測光方式	77
絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト: 逆光時の暗部をより明るく制御する。 スタンダード : 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト: スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	
AE > AEシフト	76
設定値:+2.0、+1.75、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、 ±0 、-0.25、-0.5、-0.75、- -1.75、-2.0 絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	1.0、 -1.25、 -1.5、
AE > AEレスポンス	75
設定値:八イ、 ノーマル 、ロー 絞りを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ。次のEFシネマレンズ装着時を除く。 • CN7×17 KAS S/E1 • CN20×50 IAS H/E1	
ISO/Gain > 選択	69
設定値:ISO、Gain /内容:感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	
ISO/Gain > 感度拡張	69
 設定値 : 入、切 / / 内容 : 入にすると、ISO感度がISO100からISO102400まで、ゲインが−6 dBから54 dBま	Fで設定可能となる。
ISO/Gain ≥ ISOステップ	69
設定値:1段、1/3段 /内容:ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	
ISO/Gain ➤ Gainステップ	69
ゲイン設定時の刻み幅を選ぶ。 ノーマル : 3 dB ファイン: 0.5 dB(-2 ~ 24 dBの範囲のみ)	
lris > モード* * 対応EFレンズ装着時のみ((🖽 244) 74
アイリスのモードを設定する。 オート: アイリスをオートで調整する。 マニュアル : アイリスをマニュアルまたはプッシュオートアイリスで調整する。	
lris > lrisステップ	74
設定値:1/2段、 1/3段 、ファイン アイリス設定時の刻み幅を設定する。ファインにすると、1/3段より細かい刻み幅で設定できる。	
lris > lris表示	74
設定値:F、T /内容:Irisの表示をF値とT値で切り換える(EFシネマレンズのみ)。	

設定項目/内容・設定値	
Iris > Zoom連動F値補正	_
設定値:入、切 ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただ 動作するのにともない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って 値が大きくなる(暗くなる)。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。	し、絞りが こ、徐々にF
ND濃度拡張	72
設定値:入、切 /内容:入にすると、NDの濃度に8 stopsと10 stopsが追加される。	
Shutter > モード	66
シャッタースピードのモードを設定する。 スピード : 秒数で設定。 アングル: 開角度で設定。 クリアスキャン: 周波数で設定。 スロー: フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で指定。 切	
Shutter ➤ Shutterステップ	67
設定値:1/3段、1/4段 /内容:シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	
White Balance > ショックレスWB	78
設定値:入、切 /内容:入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	
White Balance > AWBレスポンス	81
設定値:ハイ、 ノーマル 、ロー /内容:ホワイトバランスを自動調整するときの応答性を選ぶ。	
フォーカス » AFモード	83
オートフォーカスのモードを設定する。 ワンショット : ワンショットAFによる自動調整が可能となる。 AFブーストMF: 手動で大まかに調整すると、合焦付近は自動的に調整される。 連続: 継続したAF動作による自動調整が可能となる。	
フォーカス ≫ AF枠位置	90
設定値: 可動、 中央固定 /内容:AF枠の移動可否を選ぶ。「可動」にするとAF枠の位置を移動可能。	
フォーカス ≫ AF枠サイズ	90
設定値: 大、 小 /内容:AF枠のサイズを選ぶ。	
フォーカス ▶ 顔検出&追尾	90、92
設定値:入、切 /内容:入にすると顔検出&追尾が有効になる。	
フォーカス ≫ 顔検出AF	90
顔検出AFで顔が検出されないときの動作を選ぶ。 顔優先 : AFモードの設定に応じた調整方法で調整する。 顔限定: ピントが固定される(マニュアルフォーカス)。	
フォーカス > AFスピード	88
設定値:+2、+1、 0 、-1~-7 /内容:オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	
フォーカス » AFスピード適用条件	88
設定値: 常時 、記録中 / 内容:「AFスピード」の設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選ぶ。	

198

.

.

. . .

•	• •	• •	•	• •	• •	•	•	• •	•	٠	• •	• •	•	•	• •	•	•	• •	•	•	• •	•	٠	• •	• •	•	• •	• •	۰	• •	• •	•	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	• •	• •	• •		
																																															X	_	ユ	_		覧	ļ	

設定項目/内容・設定値	
フォーカス > AFレスポンス	88
設定値:+3、+2、+1、 0 、-1、-2、-3 /内容:オートフォーカスの応答性を選ぶ。	
本体グリップズーム > 設定	93
設定値:入、切 /内容:入にすると、カメラ本体のグリップのジョイスティックでズームを操作できる。	
本体グリップズーム > スピード	93
設定値:1~16(8) /内容:ズームスピード(固定速)を16段階で選ぶ。値が大きいほど高速になる。	
ABB	54
設定値:Cancel、OK /内容:オートブラックバランスを実行する。	
カラーバー > 表示	110
設定値:入、切 /内容:入にすると、カラーバーを表示する。	
カラーバー > タイプ	110
設定値: SMPTE 、EBU、ARIB / 内容:カラーバーのタイプを選ぶ。	
周辺光量補正	35
設定値:入、切 /内容:入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。	
色収差補正	35
設定値:入、切 /内容:入にすると、レンズの特性によって生じる色ずれや色にじみを補正する。	

CPCustom Pictureメニュー

設定項目/内容・設定値	
Preset	143
あらかじめ用意された、プリセット(色空間、ガンマ、カラーマトリクスの組み合わせ)を選ぶ。	
Main Settings	147
プリセットを使用しないときに、色空間、ガンマ、カラーマトリクスを個別に選ぶ。	
Other Settings	149
PresetまたはMain Settingsで選んだ設定に対して、さらに詳細な調整を行う。	
ファイル	152
カスタムピクチャーファイルの操作を行う。	

♪)オーディオ設定メニュー	
	設定項目/内容・設定値

Audio Input^{*1} ➤ 量子化ビット数

設定値:24 bit、16 bit /内容:記録、出力する音声の量子化ビット数を選ぶ。

104

CAMERA MEDIA

CAMERA MEDIA

設定項目/内容・設定値	
Audio Input*1 > CH2 Input	105
チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 INPUT 2: INPUT1入力をCH1にINPUT2入力をCH2に録音する。 INPUT 1: INPUT1入力をCH1 / CH2の両方に録音する。	
Audio Input ^{*1} > INPUT 1 Micトリミング、INPUT 2 Micトリミング	107
設定値:+12 dB、+ 6dB、 0 dB 、-6 dB、-12 dB 外部マイク (INPUT端子)のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	
Audio Input ^{*1} > INPUT 1 Mic Att., INPUT 2 Mic Att.	107
設定値:入、切 /内容:入にすると、外部マイク (INPUT端子)のCH1またはCH2にアッテネーター (20 dB)がか	かる。
Audio Input*1 > INPUT 1/2 ALCリンク	106
設定値:連動、 独立 録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させること	ができる。
Audio Input*1 > INPUT 1/2 リミッター	106
設定値:入、切 /内容:録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを	方止できる。
Audio Input*1 > MICモード	107
設定値:オート、マニュアル /内容:外部マイク (MIC端子)の録音レベルの調整方法を選ぶ。	
Audio Input*1 > MIC Level	107
設定値:0~99(50) /内容:外部マイク(MIC端子)の録音レベルを手動で調整する。	
Audio Input*1 > MIC Att.	108
設定値:入、切 /内容:入にすると、外部マイク (MIC端子)にアッテネーター (20 dB)がかかる。	
Audio Input*1 > MICローカット	108
設定値:入、 切 外部マイク (MIC端子)の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低	減する。
Audio Input > モノラルマイク	108
設定値:入、切 /内容:モノラルマイクの有効・無効を切り換える。	
Audio Input*1 > 1 kHzトーン	110
設定値:−12 dB、−18 dB、−20 dB、切 /内容:カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する	Do
Audio Output ▶ ヘッドホン音量	162
設定値:切、1~15(8) /内容:ヘッドホンの音量を調整する。	
Audio Output > モニターチャンネル	184
設定値: CH1/CH2、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2、CH3/CH4、CH3/CH3、CH4/CH4、CH3+4/CH3+4、CH1+3/CH2・ ヘッドホンの出力チャンネル (L/R)を選ぶ。「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。 「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。	+4
Audio Output > HDMIチャンネル	184
設定値:CH1/CH2、CH3/CH4 /内容:4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選び	ii.

設定值: CH1/CH2、CH3/CH4 4チャンネルの音声のうち、4K RAW映像とともにREC OUT端子/ MON.端子から出力するチャンネルを選ぶ。 CAMERA MEDIA 設定項目/内容・設定値 50 設定値:[CFast A / CFast B選択時] Cancel、OK / [SDカード選択時] 完全初期化、高速初期化 CFast A、CFast B、SDカードの各スロットに入っているカードを初期化する。SDカードのときは、完全初期化と高速初期化を 64 180 設定值: BT.2020 Gamut、Cinema Gamut 120 64 64 解像度とカラーサンプリングを選ぶ。記録モードとフレームレートの設定によって選択できる値が異なる。 ビットレート*1 64 ビットレートを選ぶ。解像度/カラーサンプリングの設定によって選択できる値が異なる。 120 [50.00 Hz時] [4K] 1 ~ 25、[2K] 1 ~ 25 ~ 50 (52 ~ 100) * * ()内は「Slow & Fastモーション(CROP)」選択時のみ。

設定項目/内容·設定値

*1 カメラモードのみ。

🛉 記録/メディア設定メニュー

Audio Output > 4K RAWチャンネル*1

メニュー一覧

メディア初期化 ➤ CFast A、CFast B、SDカード

選択可能。

システム周波数

設定値: 59.94 Hz、50.00 Hz、24.00 Hz / 内容:システム周波数を選ぶ。

REC OUT 4K RAWモード*1

設定值:4K RAW、2K、切

「4K RAW」を選ぶと、本機が4K RAW出力モードになり、REC OUT端子からは4K RAWの映像信号が出力される。

4K RAW Color Space*1

REC OUT端子またはMON.端子から4K RAW信号を出力するときの色空間を選ぶ。

記録モード*1

設定値:通常記録、Slow & Fastモーション、Slow & Fastモーション(CROP)、プレ記録、フレーム記録、インターバル記録 特殊記録を行うときは、使用する特殊記録のいずれかを選ぶ。通常の記録に戻すときは「通常記録」を選ぶ。

フレームレート*1

設定值: [59.94 Hz時] 59.94i、59.94P、29.97P、23.98P / [50.00 Hz時] 50.00i、50.00P、25.00P フレームレートを選ぶ。システム周波数の設定によって選択できる値が異なる。

解像度/カラーサンプリング*1

設定值: 4096×2160 YCC422 10 bit、3840×2160 YCC422 10 bit、2048×1080 YCC422 10 bit、1920×1080 YCC422 10 bit、 2048 × 1080 RGB444 12 bit, 1920 × 1080 RGB444 12 bit, 2048 × 1080 RGB444 10 bit, 1920 × 1080 RGB444 10 bit

設定值:310 Mbps Intra-frame、160 Mbps Intra-frame、50 Mbps Long GOP

特殊記録設定*1 > S&Fフレームレート

設定值:[59.94 Hz / 24.00 Hz時] [4K] 1 ~ **30**、[2K] 1 ~ **30** ~ 60、(64 ~ 120)*

スロー &ファストモーション記録の撮影フレームレートを選ぶ。撮影フレームレートは、1~30は1fps刻み、32~60は2fps 刻み、64~120は4fps刻みで選択可能。また、システム周波数と解像度の設定によって選択できる値が異なる。

m

184

178

••••

設定項目/内容・設定値	
特殊記録設定*1 > フレーム記録 > 記録フレーム	123
設定値:1、3、6、9 /内容:フレーム記録の記録フレーム数を選ぶ。	
特殊記録設定*1 > インターバル記録 > インターバル	124
設定値:1、2、3、5、10、15、30 sec、1、2、3、5、10 min /内容:インターバル記録の記録時間間隔を選ぶ。	
特殊記録設定*1 > インターバル記録 > 記録フレーム	124
設定値:1、3、6、9 /内容:インターバル記録の記録フレーム数を選ぶ。	
XF-AVC Proxy記録*1 > 設定	119
設定値:入、切 /内容:入にすると、プロキシ動画のSDカードへの同時記録が有効になる。	
XF-AVC Proxy記録*1 > LUT設定	119
設定値:BT.709、BT.2020、DCI、 切 プロキシ動画に適用するLUTを選ぶ。カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できる項目が異約	なる。
リレー /ダブルスロット記録*1 > リレー記録	52
設定値:入、切 /内容:リレー記録の入/切を切り換える。	
リレー /ダブルスロット記録*1 > ダブルスロット記録	52
設定値:入、切 /内容:ダブルスロット記録の入/切を切り換える。	
メタデータ*1 > カメラインデックス	61
設定値: A ~ Z クリップファイル名を構成する 「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。	
メタデータ*1 ▶ リール番号	61
設定値: 001 ~ 999 /セット 、リセット クリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。記録メディアごとに異なる番号を設定する。	
メタデータ* ¹ ▶ クリップ番号	61
設定値: 001 ~ 999 [セット、 リセット] /内容:クリップファイル名を構成する 「クリップ番号」の初期値を設定	する。
メタデータ*1 > ユーザー定義	61
設定値:A ~ Z、O ~ 9からなる5文字の文字列(CANON) クリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。	
メタデータ*1 > シーン	114
設定値:A ~ Z、O ~ 9、「+」、「-」、「:」、スペースからなる16文字の文字列/ セット 、リセット シーンを識別する任意の文字列。	
メタデータ*1 » テイク	114
設定値:A ~ Z、O ~ 9、「+」、「-」、「:」、スペースからなる8文字の文字列/ セット 、リセット 同一シーンにおけるテイクを識別する任意の文字列。	
メタデータ*1 > 設定	114
メタデータの設定方法を選ぶ。 リモート: ブラウザーリモートから設定する。	

SDカード: Canon XF Utilityを使って設定し、SDカードに保存したメタデータ (ユーザーメモ)を使用する。

設定項目/内容・設定値	
メタデータ ^{★1} > User Memo	114
設定値:切、ファイル選択 SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。切にすると、ユーザーメモは記録されない。	
メタデータ ^{*1} > 国コード	_
設定値:4文字の文字列/使用可能文字:A~Z、0~9、+、-、:、スペース UMID所有権情報の国コード。ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。	
メタデータ*1 > 組織	_
設定値:4文字の文字列/使用可能文字:A ~ Z、O ~ 9、+、 - 、: 、スペース UMID所有権情報の組織コード。各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できる。取得していないときは「0000」を入力する。	
メタデータ*1 ≫ ユーザーコード	_
設定値:4文字の文字列/使用可能文字:A ~ Z、0 ~ 9、+、一、:、スペース UMID所有権情報のユーザーコード。ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されているが、組織コードに [0000]を入力したときは、入力しない。	
メタデータ*1 >	147
設定値:入、切 /内容:入にすると、クリップと一緒にカスタムピクチャーファイルが保存される。	
記録コマンド ^{*1}	180
設定値・入、の 入にして、本機と他機をREC OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影/撮影一時停止携 STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録/記録一時停止を行うことができる。HDMI端子のときは、同時に ディア設定メニュー ≫「HDMI Time Code」を「入」にする。	≹作 (START/ †記録/メ
HDMI Time Code*1	102
設定値:入、切 /内容:入にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳する。	
クリップ*2 > 全クリップコピー	168
設定値:Cancel、OK /内容:現在選択しているCFastカードのクリップを、もう一方のCFastカードにすべてコト	ピーする。
クリップ*2 > ™ クリップコピー	168
設定値:Cancel、OK /内容:現在選択しているCFastカードのMCクリップを、もう一方のCFastカードにすべてこ	コピーする。
クリップ*2 > 全クリップ消去	169
設定値: Cancel 、OK /内容:現在選択しているCFastカードまたはSDカードのクリップをすべて消去する。	
静止画番号	191
静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット:静止画番号は100-0001またはSDカード内に記録されている静止画の続きの番号になる。 通し番号: 静止画番号は最後に記録した静止画の続きの番号になる。	
☑ Marks全消去*2	167
	去する。
静止画全消去*2	194
設定値: Cancel 、OK /内容:SDカードに記録されているすべての静止画を消去する。	
* ¹ カメラモードのみ。 * ² メディアモードのみ。	

.

203

□ 映像/端子設定メニュー CAMERA MEDIA 設定項目/内容·設定値 m VF/モニター選択*1 178 設定值:MON.+HDMI+LCD(VF)、MON.+HDMI+VF、LCD+VF MON.端子、HDMI OUT端子、液晶モニター、ファインダーのうち、映像の出力先を選ぶ。「MON.+HDMI+LCD(VF)」の場合、液 晶モニターとファインダーは同時に使用できない。REC OUT端子には、**丹**記録/メディア設定メニュー »「REC OUT 4K RAW モード1が「切」でない限り常に出力される。メディアモードのときは、すべての出力先に同時に出力される。 MON.端子*1 > Output、REC OUT/MON.端子*2 > Output 179 設定值:4K RAW優先、2048×1080 / 1920×1080、1920×1080、切 MON.端子、HDMI OUT端子に出力する信号を選ぶ。 MON.端子*1 > 2Kオンスクリーン表示、REC OUT/MON.端子*2 > 2Kオンスクリーン表示 183 設定値:入、切 /内容:入にすると、MON.端子とHDMI OUT端子に画面表示を重畳する。 3G-SDIマッピング 179 設定值:Level A、Level B REC OUT端子/ MON.端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号 が出力される。4K RAW出力時はLevel Bとなる。 GENLOCK/SYNC OUT端子*1 > 選択 100 設定值:HD Sync出力、Genlock入力 GENLOCK/SYNC OUT端子の機能を選ぶ。「Genlock入力」にするとGENLOCK端子として、「HD SYNC出力」にするとSYNC OUT端 子として動作する。 GENLOCK/SYNC OUT端子*1 ➤ Genlock調整 100 設定値:-1023~1023(000) /内容:ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4H(HD換算)の範囲で調整する。 GENLOCK/SYNC OUT端子*1 > SYNCスキャンモード 102 設定値: P、PsF / 内容: SYNC OUT端子から出力する同期信号の走査方式を選ぶ。 Time Code^{*1} > = − \vdash 97 タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset: 「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。 Regen. : Time Code^{*1} > Run 97 モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run : 記録時に歩進する。 Free Run : 記録に関係なく常に歩進する。 Time Code^{*1} > DF/NDF 98 設定值:DF、NDF ドロップフレーム (DF)またはノンドロップフレーム (NDF)を切り換える。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以 外のときはNDFに固定される。 Time Code*1 > 設定 97 設定値: 00:00:00:00 ~ 23:59:59:29 [セット、リセット] / 内容: タイムコードの初期値を設定する。

設定項目/内容・設定値	
Time Code*1 > TC In/Out	101
設定値: In 、Out / 内容:TIME CODE端子の入力 (In)と出力 (Out)を切り換える。	
User Bit*1 > 記録モード	101
)から選ぶ。
User Bit*1 > タイプ	99
設定値:設定、時刻、日付 /内容:ユーザービットを、8桁の任意の16進数(設定)、時刻、日付のいずれかで	設定する。
LCD設定 > 明るさ	42
設定値:-99~99(±0) /内容:液晶モニターの明るさを調整する。	
LCD設定 ➤ コントラスト	42
設定値:-99~99(±0) /内容:液晶モニターのコントラストを調整する。	
LCD設定 > カラー	42
設定値:-20~ 20(±0) /内容:液晶モニターのカラーを調整する。	
LCD設定 > シャープネス	42
設定値:1~4(2) /内容:液晶モニターのシャープネスを調整する。	
LCD設定 ➤ バックライト	42
設定値:ノーマル、+1、+2 /内容:液晶モニターのバックライトの明るさを選ぶ。	
VF設定、EVF-V70設定* ³ ≫ 明るさ	42
設定値:-99~99(±0) /内容:ファインダー/ EVF-V70の明るさを調整する。	
VF設定、EVF-V70設定*3 > コントラスト	42
設定値:-99~99(±0) /内容:ファインダー/EVF-V70のコントラストを調整する。	
VF設定、EVF-V70設定*3 > カラー	42
設定値:-20~ 20(±0) /内容:ファインダー/ EVF-V70のカラーを調整する。	
VF設定、EVF-V70設定* ³ > シャープネス	42
設定値:1~4(2) /内容:ファインダー/ EVF-V70のシャープネスを調整する。	
VF設定、EVF-V70設定*3 > 輝度	42
設定値: ノーマル 、ハイ /内容:ファインダー/ EVF-V70の輝度を選ぶ。	
VF設定 > アイセンサー	40
設定値:入、切 /内容:ファインダーの自動点灯・消灯機能を入/切する。	
EVF-V70設定*3 > アイセンサー	40
設定値:入、切 /内容:入の場合、撮影時に約30秒間(再生時は約10秒間)接眼しないと、EVF-V70の輝度を下回	げる。
LCD LM-V1設定*4 > 明るさ	42
設定値:設定値:-99~+99(±0) /内容:LCDモニター LM-V1の明るさを調整する。	
LCD LM-V1設定*4 > コントラスト	42
設定値:-99~+99(±0)/内容:LCDモニター LM-V1のコントラストを調整する。	
LCD LM-V1設定*4 > カラー	42
設定値:-20~+20(±0)/内容:LCDモニター LM-V1のカラーを調整する。	

. . . .

205

設定項目/内容・設定値	
LCD LM-V1設定*4 > シャープネス	42
設定値:1 ~ 4(2) /内容:LCDモニター LM-V1のシャープネスを調整する。	
LCD LM-V1設定*4 > 輝度	42
設定値:ノーマル、+1、+2 /内容:LCDモニター LM-V1のバックライトの明るさを選ぶ。	
表示パネル輝度	61
設定値:1~5(3) /内容:表示パネルの明るさを5段階で選ぶ。値が大きいほど明るくなる。	
DISP.ボタン設定*1 > 全表示、フレーム表示、マーカー、非表示	60
設定値: 入、 切 画面表示の表示レベルごとの入/切を選ぶ。「切」を選んだ表示レベルは無効となり、モニターユニットのDISP.ボタ 「Display」を割り当てたアサインボタンを押しても切り換えることができない。	マンまたは
Custom Display 1 ^{*1} > 測光方式、Custom Picture、焦点距離、ND Filter	58
設定値:入、切 [測光方式]: 測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ図または▲アイコンを表述 [Custom Picture]: カスタムピクチャーのプリセットや嘐アイコンを表示する。 [焦点距離]: 焦点距離を表示する。 [ND Filter]: NDフィルターの設定を表示する。	示する。
Custom Display 1 ^{*1} > フォーカスモード、キーロック、White Balance、Exposure、Iris	58
設定値:入、切 [フォーカスモード]: レンズのフォーカスモードスイッチの設定に応じて ▲F または WE アイコンを表示する。 [キーロック]:	
Custom Display 1*1 > ISO/Gain、Shutter、Peaking、Magnification、LUT、レンズ	58
設定値:入、切[ISO/Gain]:ISO感度/ゲインの設定を表示する。[Shutter]:シャッタースピードの設定を表示する。[Peaking]:EXXI / EXX2 (ピーキング)アイコンを表示する。[Magnification]:MAGN / MAGN (拡大表示)アイコンを表示する。[LUT]:LUTが有効のときに[UII]アイコンを表示する。[レンズ]:装着したレンズと通信を行えないときに[UIINS] (レンズ)アイコンを表示する。	
Custom Display 2 ^{*1} ≥ バッテリー残量、記録可能時間	58
設定値:警告、 ノーマル 、切 バッテリー残量または記録可能時間の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
Custom Display 2*1 > 記録モード、Genlock、Time Code、リール番号/クリップ番号、インターバルカウンター	58
設定値:入、切 [記録モード]: 撮影状態 (記録モード)を表示する。 [Genlock]: Genl (ゲンロック)アイコンを表示する。 [Time Code]: タイムコードを表示する。 [リール番号/クリップ番号]: リール番号とクリップ番号を表示する。 [インターバルカウンター]: インターバル記録のカウントダウン表示を行う。	

設定項目/内容・設定値	
Custom Display 2*1 > 静止画記録可能枚数	58
設定値:警告、ノーマル、切 /内容:静止画記録可能枚数の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、	から選ぶ。
Custom Display 2*1 > 温度/ファン、解像度/カラーサンプリング、フレームレート、表示文字記録、映像出力	58
設定値:入、切(「解像度/カラーサンブリング」の初期値は「切」) [温度/ファン]: 内部温度が高温時に聞アイコンを、ファンが回転中に「MM アイコンを表示する。 [解像度/カラーサンプリング]: 解像度とカラーサンプリングを表示する。 [フレームレート]: フレームレートを表示する。 [表示文字記録]: (職職)(表示文字記録)アイコンを表示する。 [映像出力]: REC OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子の出力がOFFのときに、それぞれ、Rect HD端アイコンを表示する。	off MO OF
Custom Display 2*1 > オンスクリーン表示、記録コマンド、User Memo、User Bit、モニターチャンネル	58
設定値:入、切(「記録コマンド」の初期値は「入」)[オンスクリーン表示]:映像を出力する端子に画面表示を重畳する DSP (画面表示出力)アイコンを表示する。[記録コマンド]:記録コマンド状態を表示する。[User Memo]:USD (ユーザーメモ)アイコンを表示する。[User Bit]:ユーザービットを表示する。[モニターチャンネル]:音声出力チャンネルを表示する。	
Custom Display 2 ^{*1} ➤ Audio Level、ネットワーク機能、GPS	58
設定値:入、切 [Audio Level]: オーディオレベルメーターとⅢ(オーディオリミッター)アイコンを表示する。 [ネットワーク機能]: ☑(無線LAN)アイコンを表示する。 [GPS]: ��(GPS)アイコンを表示する。	
Custom Display 2*1 > 日付/時刻	58
設定値:日付/時刻、時刻、日付、切 /内容:日時の表示のしかたを選ぶ。	
Custom Display*2 > Audio Level	105
設定値:入、切 /内容:クリップの再生画面にオーディオレベルメーターを表示する。	
Custom Display ^{*2} ➤ 日付/時刻	161
設定値:入、切 /内容:クリップ/静止画の再生画面に日時を表示する。	
Custom Display*2 ➤ カメラデータ	—
設定値:入、 切 入にすると、クリップの再生画面にカメラデータ(シャッタースピード、F値、ISO感度/ゲイン)を表示する。	

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。

*3 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ、EVF-V70設定メニューの操作が可能。

*4 LCDモニター LM-V1(別売)装着時のみ、LM-V1設定メニューの操作が可能。

〇アシスト設定メニュー

CAMERA MEDIA *1

*¹WFMのみ。

設定項目/内容・設定値	
フォーカスガイド	84
設定値:入、切 /内容:デュアルピクセルフォーカスガイドを表示する。	
Peaking > 設定	84
設定値:入、切 /内容:「選択」で選んだピーキングが表示される。	
Peaking > LCD出力、VF出力、VIDEO出力* ² 、MON. & HDMI出力	84
設定値:入、切 /内容:液晶モニター、ファインダー、VIDEO端子またはMON.端子/HDMI OUT端子にピーキングを	出力する。
Peaking > 選択	84
設定値: Peaking 1、Peaking 2 / 内容:表示するピーキングの種類を選ぶ。	
Peaking > Peaking 1 > カラー	84
設定値: ホワイト 、レッド、イエロー、ブルー /内容:ピーキング1の色を選ぶ。	
Peaking > Peaking 1 > Gain	84
設定値:切、1~15(8) / 内容:ピーキング1のゲインを選ぶ。	
Peaking > Peaking 1 > 周波数	84
設定値:1~4(2) /内容:ピーキング1の周波数を選ぶ。	
Peaking > Peaking 2 > カラー	84
設定値:ホワイト、 レッド 、イエロー、ブルー /内容:ピーキング2の色を選ぶ。	
Peaking > Peaking 2 > Gain	84
設定値:切、1~15(15) / 内容:ピーキング2のゲインを選ぶ。	
Peaking > Peaking 2 > 周波数	84
設定値:1~4(1) / 内容:ピーキング2の周波数を選ぶ。	
Peaking > フォーカスアシスト白黒	_
設定値:入、 切 入にすると、ピーキング使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
Zebra > 設定	96
設定値:入、切 /内容:「選択」で選んだゼブラパターンが表示される。	
Zebra > LCD出力、VF出力、VIDEO出力* ² 、MON. & HDMI出力	96
設定値:入、切 /内容:液晶モニター、ファインダー、VIDEO端子またはMON.端子/ HDMI OUT端子にゼブラを	出力する。
Zebra > 選択	96
表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1: 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2: 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。	

Zebra 1&2: ゼブラパターン1と2を同時に表示する。

設定項目/内容・設定値	
Zebra > Zebra 1 Level	96
設定値:5±5% ~ 95±5%(70±5%) ゼブラパターン1の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
Zebra > Zebra 2 Level	96
設定値:0%~ 100% /内容:ゼブラパターン2の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
Magnification ➤ 記録時有効	85
設定値: 入 、切 /内容:入にすると、記録中に拡大表示を使用できる。このとき、顔検出&追尾と、ブラウザ のライブビュー映像表示は使用できない。	ーリモート
Magnification > LCD出力、VF出力、VIDEO出力* ² 、MON. & HDMI出力	85
設定値:入、切 /内容:液晶モニター、ファインダー、VIDEO端子またはMON.端子/ HDMI OUT端子に拡大表示を	を出力する。
Magnification > フォーカスアシスト白黒	
設定値:入、 切 入にすると、拡大表示使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
マーカー > 表示	94
設定値:入、切 /内容:マーカーの表示を有効にする。	
マーカー > センター、水平、グリッド、アスペクトマーカー	94
	されない。
マーカー > アスペクト比	94
設定値: 4:3、13:9、14:9、16:9、1.375:1、1.66:1、1.75:1、1.85:1、1.90:1、2.35:1、2.39:1、カスタム アスペクトマーカーの縦横比を選ぶ。「カスタム」を選ぶと「カスタムアスペクト比」で選んだ縦横比になる。	
マーカー > カスタムアスペクト比	94
設定値:1.00:1~9.99:1 /内容:アスペクトマーカーの任意の縦横比を設定する。	
マーカー > セーフティーゾーン	94
設定値:ブラック、グレー、ホワイト、 切 /内容:セーフティーゾーンを表示する。	
マーカー > セーフティーゾーン基準	94
設定値: 映像全体 、アスペクトマーカー領域 / 内容:セーフティーゾーンの基準領域を選ぶ。	
マーカー > セーフティーゾーン面積	94
設定値:80%、90%、92.5%、95% /内容:セーフティーゾーンの面積(基準領域に対する割合)を選ぶ。	
LUT > 設定	181
設定値:入、 切 LUTの適用を有効にする。カスタムピクチャーのPresetやMain Settingsで、特定のガンマ/色空間を選択している。 できる。	ときに使用
LUT > MON. & HDMI設定(2K)、REC OUT設定(2K)	181
設定値:BT.709、BT.2020、DCI、ACESproxy、 切 各出力先に適用するLUTを選ぶ。カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できる項目が異なる	5.
LUT > LCD & VF設定、VIDEO設定*2	181

設定項目/内容・設定値	
白黒 > 設定	42
設定値:入、切 /内容:白黒表示/出力を有効にする。	
白黒 ≥ LCD出力、VF出力、VIDEO出力*2、MON. & HDMI出力	42
設定値:入、切 /内容:液晶モニター、ファインダー、VIDEO端子またはMON.端子/ HDMI OUT端子の出力を白	黒にする。
WFM > 設定	111
設定値:入、切 /内容:波形モニター (WFM)を表示する。	
WFM > Output	111
設定値:LCD*、VF*、VIDEO* ² 、MON. & HDMI、 すべて * 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)非 波形モニターの出力先を選ぶ。	装着時のみ。
WFM > Waveform Monitor > 位置	111
設定値:右、左 /内容:波形モニターの表示位置を選ぶ。	
WFM > Waveform Monitor > タイプ	111
設定値: ライン 、ライン+スポット、ラインセレクト、フィールド、RGB、YPbPr / 内容:波形モニターのタイプを	選ぶ。
WFM > Waveform Monitor > Gain	111
設定値:1x、2x /内容:波形モニターの波形の倍率を選ぶ。	
WFM > Waveform Monitor > Yポジション	111
設定値: 0% 、15%、30%、45%、50% 波形モニターの倍率が2xのときに、縦軸 (輝度)の表示開始輝度 (%)を選択する。	
WFM > Waveform Monitor > ラインセレクト	111
設定値:[垂直解像度1080時] 0 ~ 540 ~ 1079 (1ライン刻み)、[垂直解像度2160時] 0 ~ 1080 ~ 2158 (2ライン教 波形を表示するライン (赤い横線)の位置を選ぶ。	』み)
* ² 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ。	
♥システム設定メニュー CAMERA	MEDIA
設定項目/内容・設定値	
リセット > 全設定、カメラ設定 ^{*1} 、アサインボタン	226、138
設定値:Cancel、OK [全設定]: アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。 [カメラ設定]: ホワイトバランス、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、ナ チャーの各設定を初期状態に戻す。 [アサインボタン]: アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	コスタムピク
メニュー / 🖓 設定保存 ≫ 保存	155
設定値:カメラ本体へ、回へ メニュー設定とカスタムピクチャーファイル (本機に保存されている9セット)を、カメラ本体またはカードに保存	≠する。
メニュー / 🕶 設定保存 ▶ 読み出し	155
設定値:カメラ本体から、回から	

メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、カメラ本体またはカードから読み出す。

.

•••••

設定項目/内容・設定値	
タイムゾーン	_
設定値:UTC -12:00 ~ +14:00(UTC+09:00 トウキョウ) /内容:タイムゾーンを設定する。	
日時設定 > 日付/時刻	28
設定値:日付・時間 /内容:日付と時間を設定する。	
日時設定 > 日時スタイル	28
設定値: YMD 、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H /内容:日時の表示のしかたを選ぶ。	
言語 💬	_
設定値: 日本語、 English /内容:表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	
REMOTE端子	126
REMOTE端子に接続するリモコンのタイプを選ぶ。 RC-V100: リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続するときに選ぶ。 スタンダード : RC-V100以外のリモコン (市販)を接続するときに選ぶ。	
アサインボタン > カメラ > 1 ~ 11 アサインボタン > グリップ > 1 アサインボタン > モニターユニット > 1 ~ 10* アサインボタン > EVF-V70* ² > 1 ~ 4 アサインボタン > LCD LM-V1* ³ > 1 ~ 2 アサインボタン > リモートコントローラー > 1 ~ 4 * メディアモードでは7 ~ 10のみ。	138
 初期値: [カメラ] 1: Magnification、2: Peaking、3: Zebra、4: WFM、5: ISO/Gain、 6: Shutter、7: S&F Frame Rate、8: (未設定)、9: FUNC、10: Push A 11: One-Shot AF [グリップ] [ECP-J2] [EVF-V70]*2 [LCD LM-V1]*3 [Uモートコントローラー] 1: Magnification、2: Peaking、3: Zebra、4: WFM 設定値: 各アサインボタンに機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について (未設定)、One-Shot AF、AFロック、Focus Guide、顔検出AF、顔検出&追尾、追尾、Push Auto Iris、Irisモー Iris +、Iris -、ND +、ND -、AEシフト +、AEシフト -、バックライト、スポットライト、FUNC、Shutter、 White Balance, Peaking、Zebra、WFM、Magnification、カラーバー、マーカー、LCD設定、VF設定、EVF-V70 LCD LM-V1設定、LUT、オンスクリーン表示、Display、Shot Mark 1追加、Shot Mark 2追加、Mark追加、 Time Code、Time Codeホールド、ヘッドホン+、ヘッドホン-、モニターチャンネル、Audio Level、Photo、 レックレビュー、S&F Frame Rate、Status、Custom Picture、マイメニュー、メディア初期化、Index、ユーセ 	uto Iris、 :FUNC. (ロ 138)。 ド、 ISO/Gain、)設定、 Mark追加、 ず一設定
タリーランプ* ¹	56
設定値:入、切 /内容:入にすると、撮影中にタリーランプが点灯する。	
メディアアクセスLED	49
設定値:入、切 入にすると、CFastカード/ SDカードにアクセスしたときに、それぞれのアクセスランプが点灯する。	
ファン*1 > モード	63
設定値:オート、 常時 /内容:カメラモードにおける冷却ファンの動作方法を選ぶ。	

211

設定項目/内容・設定値	
ファン*1 > ファン速度(STBY)	63
設定値:強制冷却、ハイ、ミドル、 ロー ファンモードが「オート」のときの、撮影一時停止中における、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン*1 > ファン速度(REC)	63
設定値:ハイ、ミドル、 ロー ファンモードが「オート」のときの、撮影中における冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン*1 > ファン速度(常時)	63
設定値:ハイ、ミドル、ロー /内容:ファンモードが「常時」のときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン速度* ⁴	63
設定値:ハイ、ミドル、ロー /内容:メディアモードのときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
レックレビュー *1	118
レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から : クリップの先頭からすべて。 最終4 sec: クリップの最後の4秒間のみ。	
Custom Function > カメラ電子ダイヤル* ¹ 、グリップ電子ダイヤル* ¹	154
設定値: Iris 、ISO/Gain、切 本体またはグリップの電子ダイヤルに割り当てる機能を選ぶ。	
Custom Function > カメラ電子ダイヤル方向* ¹ 、グリップ電子ダイヤル方向* ¹ Custom Function > SELECTダイヤル方向 > カメラ、EVF-V70	154
設定値:リバース、 ノーマル /内容:各ダイヤルの操作方向を選ぶ。	
Custom Function > 電源オフ時のレンズ収納*1	154
設定値: 入、 切 次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最終 きる。 • EF40mm F2.8 STM • EF-S 24mm F2.8 STM • EF50mm F1.8 STM	記に収納で
Custom Function > 3D記録モード* ¹	_
設定値:入、 切 入にすると、本機を2台使用して3D撮影するときに、REC OUT端子/ MON.端子から出力される映像信号と音声信 を補正する。	号のずれ
Custom Function > スキャンリバース記録*1	154
設定値:両方、垂直、水平、 切 /内容:映像を、垂直(上下)、水平(左右)、両方(上下左右)のいずれかに反転	させる。
Custom Function > 表示单位系*1	_
設定値: Meters、 Feet /内容:GPSの高度の表示単位を選ぶ。	
Custom Function > 表示文字記録 (CFast)*1	154
設定値:Time Code/日付/時刻、日付/時刻、Time Code、時刻、日付、 切 CFastカードに記録する映像に重ねて記録する画面表示を選ぶ。なお、スロー&ファストモーション記録のときは 記録しない。	画面表示を
Custom Function > START/STOPボタン*1 > カメラ、グリップ、モニターユニット	154
設定値:無効、有効 /内容:各START/STOPボタンの有効/無効を選ぶ。	

•••••••••••••••••••••••••••••••

設定項目/内容・設定値	
Custom Function > キーロック*1	57
設定値:すべてのボタン、 START/STOPボタン以外 POWER(電源)スイッチをਊ(キーロック)にしたときの動作を選ぶ。	
Custom Function > タッチ操作レスポンス*3	154
設定値: ノーマル、 ロー LCDモニター LM-V1のタッチパネルを操作したときの応答性を選ぶ。	
アワーメーターリセット	222
設定値: Cancel、OK カメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とた ワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	がある。ア
ネットワーク設定*5 ≫ ブラウザーリモート*1 ≫ 機能	127
設定値:入、切 /内容:ネットワーク機器からのリモート撮影を有効にする。	
ネットワーク設定*5 > ブラウザーリモート*1 > カメラID	127
設定値:英数字、記号8文字の文字列(C300MkII) /内容:カメラ固有の文字列を設定する。	
ネットワーク設定*5 > ブラウザーリモート*1 > Port No.	127
設定値:1 ~ 65535の数字 (80) ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するときに使用するポート番号を誘	定する。
ネットワーク設定*5 > ブラウザーリモート*1 > ユーザー設定	127
て変更できる。 1名(Full Control) : 全画面を操作できるFull Controlユーザーのみログイン可能。 2名(Camera/Meta): 詳細操作画面のみ操作できるCamera Controlユーザーとメタデータ入力画面のみ操作できるN Controlユーザーがログイン可能。	vleta
ネットワーク設定*5 > メディアサーバー *4	193
ネットワークに接続し、ネットワーク機器からの静止画再生が可能になる。	
ネットワーク設定*5 > 接続設定	127
カメラモードのとき: 初期状態で、カメラアクセスポイント方式の無線ネットワーク設定 (SSID、認証・暗号化 ワードなど)が保存されている。必要に応じて変更する。 メディアモードのとき: インフラストラクチャー方式による無線ネットワーク設定 (SSID、認証・暗号化方式、パ など)の設定・変更を行う。設定は4つまで保存できる。	方式、パス ペスワード
GPS*6 > 設定	116
設定値:入、切 /内容:クリップに付加するメタデータにGPS情報が設定される。	
GPS*6 > 自動時刻設定	116
認証マーク表示	_
本機が対応している認証マークの一部を表示する。	
Firmware ^{*1} > カメラ	_
設定値:バージョン番号 /内容:ファームウェアのバージョン。	

. .

 	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

設定項目/内容・設定値	
Firmware*1 > レンズ	36
設定値:バージョン番号 /内容:本機に装着したEFレンズのファームウェアの更新を行う。	

*1カメラモードのみ。

*² 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ。

*³LCDモニター LM-V1(別売)装着時のみ。

*⁴メディアモードのみ。

*5ワイヤレスファイルトランスミッター (別売)装着時のみ。

*6 GPSレシーバー GP-E1(別売)装着時のみ。

★ ₁ マイメニュー C	AMERA MEDIA
設定項目/内容・設定値	
選択	31
設定値: マイメニュー1 (1:CAMERA-1)、マイメニュー2 (2:CAMERA-2)、マイメニュー3 (3:CAMERA-3) マイメニューを選ぶ。	
編集 > 登録	31
マイメニューに任意のメニュー項目を登録する。	
編集 ≥ 並べ換え	32
マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	
編集 ≥ 消去	32
設定値:Cancel、OK /内容:マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	
編集 > 設定初期化	32
設定値:Cancel、OK /内容:マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	
編集 ≥ メニュー名変更	33

その他

ステータス画面を表示する	.216
トラブルシューティング	. 223
エラーメッセージ	. 229
安全上のご注意	. 233
取り扱い上のご注意/ 日常のお手入れ	. 235

アクセサリー紹介	239
主な仕様	240
索引	246
保証書と修理対応	251

ステータス画面を表示する CAMERA MEDIA

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステー タス画面は、外部モニター())に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示できます。 なお、ステータス画面ではすべて英語で表示されます。

■ 操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

例:カメラアサイン8ボタンに「Status」を割り当てて、操作する場合



ステータス画面の詳細については、各画面のページをご覧ください。

ガンマ/色空間/カラーマトリクスステータス画面	🛄 217
カスタムピクチャーステータス画面	🛄 217
カメラステータス画面	1218
アサインボタンステータス画面	🛄 219
オーディオステータス画面	🛄 219
メディアステータス画面	1220
ビデオステータス画面	1220
メタデータステータス画面	1221
バッテリー/使用時間ステータス画面	1222
GPS情報表示ステータス画面* ¹	1222

ネットワーク設定ステータス画面*2

*¹ 本機にGPSレシーバー GP-E1(別売)を取り付けたときのみ表示されます。

*² 本機にワイヤレスファイルトランスミッター (別売)を取り付け、無線ネットワークを選んだときのみ表示されます。 詳細については、「ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8 EOS C300 Mark II用ガイド」をご覧ください。
ガンマ/色空間/カラーマトリクスステータス画面

	Gamma/Color Space/Color Matrix		1/25 🖨	
	Output :	Gamma :	Color Space :	Color Matrix :
1_	CFast			
I –	SD Card			
_	MON.			
2 –	REC OUT			
_	LHDMI			
3 –	LCD/VF			
4 –	Custom Pict	ure Other Settings	On	

- 1 CFastカード/SDカードのガンマ/ 色空間/カラーマトリクス
- MON.端子/REC OUT端子/HDMI OUT端 子のガンマ/色空間/カラーマトリクス
- 3 液晶モニター/ファインダーのガンマ/ 色空間/カラーマトリクス
- 4 カスタムピクチャーのOther Settingsの状態 (有効/無効)

カスタムピクチャーステータス画面 CAMERA MEDIA

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。



- 1 カスタムピクチャーファイル名 ▶ 〇 152
- 2 ブラック ▶ 🛄 149
- 3 マスターブラック ▶ □ 149
- 4 ブラックガンマ ▶ □ 149
- 5 ローキーサチュレーション 🍽 149
- 6 二─ ▶ 🖽 150
- 7 スキンディテール 🍽 🕮 151
- 8 セレクティブNR ▶ 🛄 151
- 9 シャープネス ▶ ① 150
- 10 ノイズリダクション 🍽 🕮 151
- 11 カラーマトリックスチューニング ▶ ① 151
- 12 ホワイトバランス 🍽 151
- 13 カラーコレクション 🍽 152
- 14 セットアップレベル 🍽 152
- 15 オーバー 100 % 🍽 🛄 152

カメラステータス画面 CAMERA MEDIA

ISO感度/ゲイン、アイリス、シャッタースピードや周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報を表示します。



- ISO感度/ゲイン ▶ □ 69 選択、感度拡張、ISOステップ、ゲインステップ
- 2 アイリス ▶ ① 73 アイリスステップ、ズーム連動F値補正
- 3 シャッタースピード ▶ □ 66 シャッターステップ
- 4 AF(オートフォーカス) ▶ □ 82
 AFモード、AF枠位置、AF枠サイズ、
 AFスピード/AFスピード適用条件、AFレスポンス
- 5 AE(自動露出) ▶ □ 76 AEシフト、AEレスポンス
- 6 ホワイトバランス ▶ □ 78 ショックレスホワイトバランス、AWBレスポンス
- 7 周辺光量補正 ▶ 🛄 35
- 8 倍率色収差補正 ▶ 🛄 35
- 9 レンズ型名情報 ▶ □ 34

ステータス画面を表示する



*³LCDモニターLM-V1(別売)装着時のみ。

オーディオステータス画面 CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。メディアモードでは、HDMI OUT端子の出力チャン ネル数 (HDMI Channels)のみ表示します。



- 1 入力音声と録音レベルモード(CH1 ~ CH4)
 ▶ □ 103
- 2 カードに記録または端子に出力する音声の量子 化ビット数とチャンネル数(□ 184) CFast / SDカード、MON.端子、REC OUT端子、HDMI OUT端子、ヘッドホン端子



MEMO

● カードによっては、CFastカードまたはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

ビデオステータス画面 CAMERA MEDIA

ビデオ出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。



ステータス画面を表示する

- 1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶ 🛄 181
- 2 REC OUT端子 / MON.端子出力 ▶ ① 178
 出力状態、3G-SDIマッピング、2Kオンスクリーン表示
- 3 VF/モニター選択 ▶ 🗰 178
- 4 HDMI Time Code ► 🛄 102
- 5 ユーザービット ▶ □ 99 記録モード、タイプ
- 6 解像度/カラーサンプリング ▶ 🖽 64
- 7 ビットレート 🍽 🖾 64

- 8 リレー記録 ▶ □ 52
- 9 特殊記録 ▶ 🗀 120
- 10 インターバル記録/フレーム記録の記録フレーム数 ▶ □ 124、123
- 11 インターバル記録の記録間隔 ▶ 🛄 124
- 12 静止画番号 ▶ 🛄 191
- 13 表示文字記録 ▶ ① 212

メタデータステータス画面 CAMERA MEDIA

ユーザーメモ (クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容)やUMID所有権情報などを表示します (□114)。

19/25 🖨 Metadata 1/2 User Memo 1 -File Name 20/25 🖨 Metadata 2/2 2 -⇒Title New Model Camera Index Reel Number 3 - Creator - 6 **Clip Number** CANON Δ. User Defined Location Scene Take 7 5 -Description Country Code 8 Organization User Code Add CP File 9 Off =

- 1 ユーザーメモファイルのファイル名
- 2 クリップのタイトル
- 3 撮影者
- 4 撮影場所
- 5 撮影内容

- 6 クリップファイル名 ▶ □ 61 カメラインデックス、リール番号、クリップ番号、 ユーザー定義
- 7 シーン、テイク 🍽 🖽 114
- 8 UMID所有権情報 ▶ 🗰 203
- 9 CPファイル付加 🍽 🛄 147

ステータス画面を表示する

.

■ バッテリー/使用時間ステータス画面 CAMERA MEDIA

バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使 用時間を表示します。



■ GPS情報表示ステータス画面 CAMERA MEDIA

GPSレシーバー GP-E1(別売)を装着しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます。

GPS Information Display	26/26 🖨
1Latitude	N35°34'6.0"
Longitude	E139°40'53.3"
3 Elevation	14.7m
	2015.1.1 AM 1:23
5 ————————————————————————————————————	<i>G</i> an 3D

1 緯度

- 2 経度
- 3 標高
- 4 UTC(協定世界時)
- 5 衛星捕捉状態、信号強度

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも 直らないときは、お客様相談センター (裏表紙)にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの?	
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	 ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 	22
起動直後に電源が自動的に切れる	 ● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリー に交換する。 	239
バッテリーが充電できない。	 バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満のときはバッテリーを温めてから、40℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 周囲の温度が0℃~40℃のときに充電する。 バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 	22
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	 バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。 	222

■ 撮影中

こんなときは	どうするの?	
カメラ本体の操作が利かない。	 グリップ接続プラグの接続が十分でない。グリップを取り付けるときは、接続プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。グリップの角度を変えるときは、接続プラグがしっかり接続されていることを確認する。 POWER(電源)スイッチを (キーロック)にしていると、すべての操作またはSTART/STOPボタン以外の操作が無効になる*。POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。 * Ŷシステム設定メニュー > 「Custom Function」>「キーロック」で変更可能。 	44 57
START/STOPボタンを押しても録画しな い。	 CFastカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別の CFastカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されてい るクリップをバックアップして初期化する。 	48 169 186 —
	 ●特殊記録が有効になっている。特殊記録を行わないときは、 ・ ・	201
START/STOPボタンを押した時点と、記 録されたクリップの始めと終わりの時 点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかか ることがある。故障ではない。	

.....

 	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	

こんなときは	どうするの?	
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが 自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。	82
	● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近(AFブーストMF枠が白色に変わる)まで手動で調整する。	87
	● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。	40
	● レンズが汚れているのでお手入れする。	238
被写体が横切るとき、被写体がゆがん で見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く 横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
画面に赤、緑、青の輝点が出る。	 ブラックバランス調整を行うと改善することがある。高度な精密技術で作られている撮像素子(CMOSセンサー)が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点(赤、緑、青)ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 高温の場所で使用するとき。 ISO感度/ゲインが高いとき。 シャッタースピードのモードがスローのとき。 	54
画面に通常出ない映像が出て、動画を 正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、ACアダプターをつないで動画記録中に、ACア ダプターが抜かれた。または、停電した。ACアダプターを再度つないで本 機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	23 24
動画の「● REC」/「STBY」の切り換え に時間がかかる。	 ● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてカードを初期化する。 	48 186 50
動画を正しく記録できない。	 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 	186 50
長時間使うと熱くなる。	 ● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。 本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。 	裏表紙

■ 再生中

こんなときは	どうするの?	
クリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたクリップは、本機では消去できない。OKマークを消 去してからクリップを消去する。	167
	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	49
クリップの消去に時間がかかる。	 クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてカードを初期化する。 	186 50
静止画を消せない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	49

トラブルシューティング

こんなときは	どうするの?	
クリップをコピーできない。	 ■ コピー先となるCFastカードの空き容量が足りないか、または記録可能なクリップ数 (999個)を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。 	169 48

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの?	
画面に ⊠ (赤色)が出る。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面にでわが出る。	 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間 を表示できない。 	
タリーランプが点灯しない。	● ♥システム設定メニュー > 「タリーランプ」を「入」にする。	211
タリーランプが速く点滅する。	 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★	22 48 169 裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅する。	 ● CFast AとCFast Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFastカードを別のカードと入れ換える。 	48
画面に 🗠 (赤色)が出る。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップ/静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。	49 50
画面にA B 99 (赤色)が出て、記録可 能時間に「END」が表示される。	● CFast AやCFast B、SDカードに空き容量がない。別のCFastカードやSDカード と入れ換えるか、クリップと静止画 (SDカードのみ)を消す。	169 194
撮影を中断してもアクセスランプが赤 く点灯している。	● 撮影したクリップを記録メディアに書き込んでいる。故障ではない。	
画面に 🖽 (黄色)が出る。	●本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	
画面に 🛛 (赤色)が出る。	 ● 画面に■(黄色)が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。 メディアモードまたは、カメラモードで全システム設定メニュー >「ファン」 >「モード」が「常時」のときは、本機の電源を切り、温度が下がるまで使用を中止する。 ● カメラモードで全システム設定メニュー >「ファン」>「モード」が「オート」の場合、撮影中に冷却ファンが停止しているときは自動的に冷却ファンが起動する(画面に「MM」が出る)。 	63
画面に LENS が出る。	● レンズと正常に通信できない。	_
画面に き (赤色)が出る。	 ● コイン型リチウム電池の残量が少ない。 ● メニューやカスタムピクチャーの設定をSDカードに保存して、コイン型リチウム電池を交換する。メニューなどの設定データを本機に読み込む。 	26 155
画面にMAGS (赤色)が出る。	● 〇アシスト設定メニュー > 「Magnification」>「記録時有効」が「切」のとき は、記録中に拡大表示できない。「記録時有効」を「入」にする。	209

■ 画面や音

こんなときは	どうするの?	
液晶モニター/ファインダーの画面が つかない。	 液晶モニターの場合、本体とモニターユニットのVIDEO端子をユニットケーブル(付属)で正しく接続する。 カメラモードのときは、回映像/端子設定メニュー >「VF/モニター選択」で、使用する画面への出力を有効にする。 「VF/モニター選択」が「MON.+HDMI+LCD(VF)」の場合、液晶モニターとファインダーは同時に使用できない。 「VF/モニター選択」が「MON.+HDMI+VF」の場合、液晶モニターは点灯しない。 	27 204
画面に、ピーキング/ゼブラ/ WFMの 表示、拡大表示、白黒表示が行われな い。	● ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒の各出力設定を行う。	208
画面がついたり消えたりを繰り返す。	 ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常 に動作しない。	 ● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、 	22
画面にノイズが出る。	 ● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所 から離れて本機を使用する。 	—
画面に横帯が出る。	 ● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。 	66
音声が記録されない。	 INPUT端子入力の場合、本体とモニターユニット/マイクロホンアダプター MA-400(別売)のAUDIO端子をユニットケーブル(付属)で正しく接続する。 INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。 	27 105
音声が極端に小さい。	 INPUT端子使用時、録音レベル切り換えスイッチを「M(マニュアル)」にしていて、録音レベルをしぼっている。または、MIC(マイク)端子使用時、か)オーディオ設定メニュー > 「Audio Input」の「MICモード」を「マニュアル」に設定していて、「MIC Level」(録音レベル)の値が小さすぎる。画面または表示パネルのオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。 	105 107 108
音がひずんだり、実際より小さく記録 される。	●大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	105 107

トラブルシューティング

.

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの?	
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれ ぞれ正しい向きで入れる。	48 49
CFastカードに動画を記録できない。	 対応しているCFastカードを確認する。 はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数 (999個)を 超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換 える。 	47 50 169 48
SDカードにプロキシ動画や静止画を記 録できない。	 対応しているSDカードを確認する。 はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なプロキシクリップと静止画を消す。 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいSDカードを入れて、▲記録/メディア設定メニュー》「静止画番号」を「オートリセット」にする。 	47 50 49 169 194 191
CFastカードへの書き込み/読み出しが 遅くなった。	 ● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFastカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFastカードを初期化する。 	186 50
SDカードへの書き込み/読み出しが遅 くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録され ているプロキシクリップと静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全 初期化する。	186 50
リモートコントローラーRC-V100(別売) または市販のリモコンが動作しない。	 ・ ・	126 142

■ 他機

こんなときは	どうするの?	
テレビの放送画面にノイズが出る。	 ● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプ ターを離す。 	—
再生しても、外部モニターに映像が出 ない。	 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。 	178

その他

トラブルシューティング

こんなときは	どうするの?	
REC OUT端子に映像と音が出ない。	 カメラモードのときは、 ・ ・ ・	178
MON.端子に映像と音が出ない。	 カメラモードのときは、(回映像/端子設定メニュー > 「VF/モニター選択」 を、「MON.」を含む項目に設定する。 (回映像/端子設定メニュー > 「MON.端子」または「REC OUT/MON.端子」 > 「Output」を「切」以外に設定する。 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。 	178
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	 ● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● カメラモードのときは、回映像/端子設定メニュー > 「VF/モニター選択」 で、「HDMI」を含む項目を選ぶ。 	 181
MON.端子/ HDMI OUT端子に、ピーキ ング/ゼブラ/ WFMの表示、拡大表示、 白黒表示が行われない。	● ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒の各出力設定を行う。	208

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ワイヤレスファイルトランスミッター(別売)を取り付けているときに出るメッセージについては、「ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8 EOS C300 Mark II用ガイド」をご覧ください(① 127)。なお、メッセージの冒頭に、「CFast A」、 「CFast B」、「!!」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	\square
空き容量がありません	 メモリーカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 CFast A(CFast B)に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。 	48 169 —
空き容量がわずかです	 CFast AとCFast Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFastカードを別のカードと入れ換える。 SDカードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 	48 169
カードの誤消去防止ツマミを確認して ください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOOK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	50
拡張システム端子に接続した機器を確 認してください	 拡張システム端子に取り付けたアクセサリーでエラーが発生した。 アクセサリーを拡張システム端子に取り付け直す。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。 	裏表紙
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	190
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFastカードカバーまたはSDカードカバー が開いていた。メモリーカードを入れたらカードカバーを閉じる。	48
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。レンズ接点を お手入れする。画面に ���� アイコンが表示される。	
管理ファイルエラー	● MXFクリップの管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器 でカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。カードに 記録されているMXFクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	186 50
記録を中止しました	●管理情報が壊れた* ¹ か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	48 裏表紙
クリップがありません	 ● メモリーカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再 生する。 	56
クリップ数がいっぱいです	 記録中のメモリーカードがクリップ数の上限 (999個)に達した。もう一方のスロットに切り換える (CFastカードのとき)か、別のカードと入れ換える。 ダブルスロット記録時に、両CFastカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。 	51 48
グリップの接続を確認してください	 ● グリップが正しく取り付けられていない可能性がある。グリップの接続を 確認する。 	44
このカードでは動画記録できないこと があります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2 / 4のSD カードを入れた。SDスピードクラス6または10のカードを使用する。	47
この画面出力を使用するにはメニュー から設定を変更してください	● 「VF/モニター選択」の設定に「LCD」(液晶モニター)が含まれていない。LCDを 含む設定に変更する。	204
この画面出力をLCDと同時に使用する にはメニューから設定を変更してくだ さい	● 「VF/モニター選択」の設定が「MON.+HDMI+LCD(VF)」になっている。液晶モニ ターと同時に表示するときは、「LCD+VF」に変更する。	204

*¹ 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやクリップを、ソフトウェア (Canon XF Utility)で読み込むことはできません。

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	 •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

メッセージ	原因と対処	
再生できない画像です	 ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。 	—
再生できません	●管理情報が壊れた* ¹ か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	48 裏表紙
修復が必要なクリップがあります	 ● 記録中に停電したり、記録中にカードを取り外したりしたことにより、クリップに異常が発生した。クリップを修復する。 	53
使用中のレンズにこの機能が対応して いません	● 選択中の機能がレンズに対応していないため、この機能を使用できない。	
操作は無効です	 次にあげる無効な操作を行った。 ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 フレーム記録モードまたはインターバル記録モードのときにショットマークを付加しようとした。 特殊記録モードで撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 メモリーカードが入っていないときに、START/STOPボタンを押した。 	
データを修復できませんでした	 クリップを修復できなかった。カードに記録されているクリップをバック アップしたあと、修復に失敗したクリップを消去する。 カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消 去する。 	186 169
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはあり ますか?	 キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、カメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 	239 裏表紙
バッテリーパックを取り換えてくださ い	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
バッファオーバーです 記録を中止しました	 ● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。 	47
非対応メディアです	● 容量が512MB以下のCFastカード、または128MB以下のSDカードを使用できない。別のカードと入れ換える。	48 49
ファイル名が作成できません	 クリップ番号が最大になった。クリップをバックアップしてカードを初期化するか、クリップをすべて消す。 静止画番号が最大になった。 合記録/メディア設定メニュー > 「静止画番号」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。 	186 169 191 50 194
ファンエラー	 ● 冷却ファンが故障した可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。 	裏表紙
フレームレート、解像度/カラーサンプ リング、ビットレート、S&Fフレームレー トが変わりました 設定を確認してください	 ● 記録/メディア設定メニューの変更に伴い、ここに挙げた設定のいずれかが自動的に変更された。設定を確認する。 	

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやクリップを、ソフトウェア (Canon XF Utility)で読み込むことはできません。

エラーメッセージ

•

メッセージ	原因と対処	
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
レンズエラー フレームレートを変更してください	 ●現在設定しているフレームレートに非対応のレンズが装着された。フレーム レートを変更する。 	64
ワイヤレスマイクロホン接続中は無線機 能が使用できません	● 本機にワイヤレスマイクロホンWM-V1を接続していると、Wi-Fi機能を同時に 使用できない。本機からWM-V1を取り外し、WM-V1の電源を切る。	
50.00 Hz (24.00 Hz) (59.94 Hz) で記録 されています CFast A(CFast B) (⑨)のデータの確認と 初期化をお勧めします	 ● メモリーカード内のクリップが異なるシステム周波数で記録されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。このカードを再生するときは、本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。 	186 50 64
CFast A(CFast B) (CFast A / CFast B) (9) にアクセス中です 取り出さないでください	 メモリーカードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。 	48
(CFast A)(CFast B)(回) を確認してください	 メモリーカードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 「カードを確認してください」が4秒後に消えて「公/図または③が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。(A)/図または⑨が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。 	48 49 47 186 50
CFast A(CFast B) (回)のデータの確認と 初期化をお勧めします	 次の理由によりカードを使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 カードに異常があるため、記録・再生できない。 カードの情報が取得できない。 パソコンなど他の機器で初期化されている。 カード内にパーティションが設定されている。 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。 	186 50
CFast A→CFast B(CFast B→CFast A) 切り換えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、 記録先がCFast AからCFast B(CFast BからCFast A)に切り換わった。	—
CFast A→CFast B(CFast B→CFast A) まもなく切り換えます	● CFast A(CFast B)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1 分後に記録先スロットが切り換わる。	
CFastスロット切り換えできません	● 撮影中など、CFastスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロッ ト選択)ボタンを押した。撮影終了後にCFastスロットを切り換える。	51
Lens firmware update Firmware update failed. Try updating again.	 ●レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。 	36
NDの枚数が変わりました フォーカスを確認してください	 8 stopsと10 stopsは、NDフィルターの枚数が他の濃度と異なるため、ピントがずれることがある。フォーカスを調整する。 	82

エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処	
Shot Markがありません	 ショットマークインデックス画面で、クリップのショットマークを消去した ことによって、ショットマークが付加されたクリップがなくなった。本体ま たはモニターユニットのINDEX(インデックス)ボタンを押して、メイン動画イ ンデックス画面に戻る。 	159
Shot Mark数オーバー	 ショットマーク数*が最大になったため、付加できない。 *ショットマーク1とショットマーク2で合計100個まで。 	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

- こんなときは -バッテリーを外して、電源プラグを 煙が出ている コンセントから抜く へんなにおいがする そのまま使用すると火災や感電の原因になりますの で、お客様相談センター (裏表紙) にお問い合わせく 内部に水や異物が入った ださい。 ▲ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。 内部に異物を入れたり、端子部に金属類を バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しな ショートさせない。 い、火中投入しない。> やけど けが ▶ 火災 感電 けが バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘア 雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ピンなどを接触させない。> やけど けが ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。 ▶ 感雷 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。> 感電 充電中、長時間にわたる接触をしない。 ▶ 低温やけど ぬらさない。> 火災 感電 やけど 降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などで 海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・ の使用は特に気をつける。 DC/ACコンバーターなどの電源につながない。 表示された電源電圧や周波数以外では使用し 液漏れしたバッテリーは使用しない。 ない。> 火災 感電 けが ▶ 皮膚の損傷 失明 発火 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流 油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場 す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った など湿度の高い場所で使用・保管しない。 後、すぐに医師に相談。 ▶ 火災 感電 やけど 内部にほこりや水などが入るおそれあり。 分解や改造をしない。> 発熱 感電 火災 けが 直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど 強い衝撃や振動を与えない。> 火災 やけど けが 60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉さ ストラップ使用時は特に注意する。液晶モニター れた車中に置かない。> 火災 やけど けが やレンズは割れるとけがの原因。 発熱や破裂のおそれあり。 電源コードについて次のことを守る。 運転中に使用しない。 > 交通事故 ▶ 火災 感電 ● 傷つけない 不安定な場所に置かない。> けが 加工しない 落下、転倒のおそれあり。 無理に曲げない 引っ張らない

- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

乳幼児の手の届くところに置かない。 > 感電 けが

.....

レンズ単体で太陽や強い光源を直接見ない。 > 失明 視力障害

日光の下でレンズキャップを付けずにレンズを 放置しない。> ▶ ♥♥♥ 太陽の光が焦点を結ぶおそれあり。



ふとんやクッションなどをかけたまま使用し ない。 ▶ <u>火災</u> 内部に熱がこもるおそれあり。

指定された機器を使う。> 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に 乾いた布で拭き取る。▶ 図愛



電源プラグは根元まで確実に差し込む。 > 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。> 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。 ▶ けが 交通事故

▲ 注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。



使用中に他の機器に電波障害などが発生した 場合は使用しない。> 100 電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因とな ることがある。



コード類は、つまずかないように配置する。
 ▶ けか
 足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。 ▶ けが

バッテリーやレンズなどを取り外すときは、落 とさないように気をつける。> [ff]



飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に 従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響 を与えるおそれ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。> XXX

取り扱い上のご注意/日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、カメラ 本体の日常のお手入れについて説明しています。

🔳 カメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、 これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少な い場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、 潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、 早めにお客様相談センター(裏表紙)にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が 乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

カメラやファインダーを強い光源(晴天時の太陽や人工的な強い光源など)に向けないでください。撮像素子などの内 部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、 本体またはファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レン ズを外して、ボディキャップを取り付けてください。ファインダーを使用しないときは、ファインダーキャップを取り 付けてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない → 液晶モニターの接合部が破損することがあります。 無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けて ください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズ が正確に動作しないことがあります。



バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子 (充電器の端子)の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の 原因となります。バッテリーの端子は、乾いた布または綿棒などで定期的に清掃してください。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください (図A)。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります(図B)。

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、 フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多 いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃~30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り換えてください」が表示されるまで使い 切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには つの穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって つの穴から見える色が 異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

海外でも付属のバッテリーチャージャーやACアダプター (AC100 ~ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応)を使用できます。 お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。 ● バッテリーチャージャーやACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

高容量バッテリーを使うとき

高容量のバッテリーパックBP-A60(別売)を取り付けると、バッテリーカバーを閉じることができなくなります。そのときは、あらかじめバッテリーカバーを取り外してください。ただし、カバーを取り外すと、湿気やほこりなどの異物が入りやすくなります。

- 1 BATT.OPENレバーを▼方向にスライドさせて、バッテリーカバー を開ける
- 2 バッテリーカバーの固定ボタンを押す(②)
- 3 静かにバッテリーカバーを引き抜く(③)



(図B)

(図A)

取り扱い上のご注意/日常のお手入れ

■ メモリーカード

データはバックアップする

カメラ本体/メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバック アップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

コイン型リチウム電池(CR2025)

破棄するときは、燃えないゴミとして処理してください(地域によって異なりますので指示に従ってください)。

■ その他のご注意

情報漏洩に注意(譲渡・廃棄するときは)

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消え ません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化/初期化(1050)を行っ た後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化/初期化を行います。これによって、情 報漏洩を防いでください。

その他

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露 した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結 露が発生しやすくなります。

● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

取り扱い上のご注意/日常のお手入れ

湿度の高い部屋の中

夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする?

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉しま す。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

付属の電源コードは本製品のみに使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

 ○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお 持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
 Li-ion ホームページ http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ カメラ本体を清掃する(日常のお手入れ)

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、 ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶モニターについて

● 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー (布製)などで拭いてください。

● 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリー紹介

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように 設計されておりますので、キャノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外 のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発 火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品 の修理につきましては、保証の対象外となり有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



ご注意

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所 定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による 損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じ マークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

MEMO

レンズマウント交換サービスについて

本機のEFレンズマウントを、EFレンズマウント(シネマロックタイプ)またはPLレンズマウントに交換することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

C300 Mark II本体

システム			
記録方式	動画: 明 音 フ	R像圧縮方法:MPEG-4 AV 新声記録方式:リニアPCM 7ァイルフォーマット:M	C / H.264、Intra-frame / Long GOP 、16 bit / 24 bit、48kHz、4 ch XF
	静止画: D	CF準拠、Exif Ver2.3準拠、	静止画圧縮方法:JPEG
記録/再生信号形式	メイン動画:	ビットレート: 解像度: カラーサンプリング:	410 Mbps / 310 Mbps / 225 Mbps / 210 Mbps / 160 Mbps Intra-frame、50 Mbps Long GOP 4096×2160、3840×2160、2048×1080、 1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit、RGB 4:4:4 12 bit、RGB 4:4:4 10 bit
	プロキシ動画	フレームレート*: * 解像度、カラーサンフ 回: ビットレート: 解像度: カラーサンプリング: フレームレート:	59.94P/i、50.00P/i、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P グリング、ビットレートに応じて使用できる値が異なる。 35 Mbps / 24 Mbps Long GOP 2048×1080、1920×1080 YCbCr 4:2:0 8 bit 59.94P/i、50.00P/i、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
記録メディア	メイン動画: プロキシ動画 * カスタムビ	CFastカード 回/静止画: SD / SDHC / ! プクチャーファイル、設定デ	(2スロット)、CFast 2.0規格準拠 SDXCメモリーカード* ータ、ユーザーメモの保存/読み込みにも使用。
撮像素子	スーパー 35 有効画素:	mm相当、CMOS(単板) 水平解像度が4096 / 204 水平解像度が3840 / 192	8のとき:約885万画素 (4096×2160) 0のとき:約829万画素 (3840×2160)
ビューファインダー	ワイドカラー	-有機ELファインダー (0.4	6型、約177万ドット、視野率100 %)
レンズマウント	キヤノンEFマ	?ウント、キヤノンEFレンス	、 ズ群対応(EF-Sレンズ、EFシネマレンズを含む)
35mmフィルム換算時の焦点距離	水平解像度た 水平解像度た * レンズの焦	が4096 / 2048のとき: う が3840 / 1920のとき: う 点距離 ** 変換係数	≷焦点距離* × 約1.460** ≷焦点距離* × 約1.534**
周辺光量補正/倍率色収差補正	キヤノンEFL * 一部のレン	νンズ群で可能* ズは対応していません。	
シャッタースピード (🛄 66)	スピード (1/	3段ステップ、1/4段ステッ	ップ)、アングル、クリアスキャン、スロー、切
アイリス	マニュアル、 ステップ (1/	プッシュオートアイリス。 2段、1/3段、ファイン)	、オートアイリス
ISO感度/ゲイン	ISO感度: 1 デ ゲイン: - マ * 感度拡張問	00*、125*、160 ~ 25600. ペテップ(1段、1/3段) -6 dB*、-3 dB *、-2 dE ペテップ)、 -2 dB ~ 24 dB(ファイン: 約のみ。	、32000* ~ 102400* 3、0 dB ~ 42 dB、45 dB* ~ 54 dB* (ノーマル:3 dB : 0.5 dBステップ)
NDフィルター	内蔵(OFF、2 *「ND濃度拡	? stops、4 stops、6 stops、8 張」使用時のみ。	3 stops*、10 stops*)、電動式
露出	AEシフト、測	則光方式(スタンダード、	スポットライト、バックライト)

.

.

主な仕様

システム	
ホワイトバランス	セットA、セットB、色温度設定(2000K ~ 15000K)、プリセット設定(太陽光 約5400K、 電球 約3200K)* * 色温度は目安です。
フォーカス	調整方法:マニュアル、ワンショットAF、AFブーストMF、コンティニュアスAF、 顔検出AF、追尾 AF方式: デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
感度	59.94 HZ F10(2048×1080/59.94P時)、50.00 HZ F11(2048×1080/50.00P時) いずれも、ISO800、2000ルクス、反射率89.9%時
S/N	67dB(Typical、 59.94Hz 1920×1080 / 29.97P時、 50.00Hz 1920×1080 / 25.00P時)、 いずれもISO800、Canon Log 2ガンマ時
被写体照度	59.94HZ 0.45ルクス (シャッタースピード1/30秒時) 50.00HZ 0.38ルクス (シャッタースピード1/25秒時) いずれもIS025600、F1.2レンズ装着時でかつ100%出力時
マイク	モノラルエレクトレットコンデンサーマイク
静止画サイズ	2048×1080、1920×1080

. .

. .

. .

入・出力端子	
REC OUT端子 MON.端子	BNCジャック(出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡 3G-SDI (SMPTE 424、425、ST 299-2準拠) HD-SDI (SMPTE 292、ST 299-1準拠) エンベデッドオーディオ、タイムコード(VITC / LTC) LUT(BT.709、BT.2020、DCI、ACESproxy) 4K RAW出力の色空間(BT.2020、Cinema Gamut) アシスト表示(画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒表示、WFM)* * MON.端子のみ。
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ、タイムコード、LUT(BT.709、BT.2020、DCI、ACESproxy) アシスト表示(画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒表示、WFM)
MIC (マイク)端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 −72 dBV(マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB) / 5.6 kΩ Att. : 20 dB
∩(ヘッドホン)端子	φ3.5 mmステレオミニジャック -∞~-8 dBV(16 Ω負荷、ボリュームMin ~ Max) / 50 Ω以下
GENLOCK/SYNC OUT端子	BNCジャック、1.0 Vp-p / 75 Ω GENLOCK時:入力のみ / SYNC OUT時:出力のみ、HD三値信号
TIME CODE端子	BNCジャック (入出力兼用)、入力時:0.5 -18 Vp-p / 100 kΩ、出力時:1.3 Vp-p / 50 Ω以下
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
VIDEO端子	モニターユニットの接続専用。出力のみ。
AUDIO端子	モニターユニットまたはマイクロホンアダプター MA-400(別売)の接続専用。入力のみ。
グリップ接続端子	グリップの接続プラグ専用
拡張システム端子	別売の拡張アクセサリー接続用

 •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	

.

電源その他	
電源電圧	公称 DC 14.4 V(バッテリーパック)、DC 16.7 V(DC IN)
消費電力	19.6 W (4K/29.97P記録時)、21.2 W (2K/59.94P記録時)
	19.2 W (4K/25.00P記録時)、20.5 W (2K/50.00P記録時)
	いずれもREC OUT端子、ファインダー、液晶モニター使用時。
動作温度	$0 {}^{\mathrm{o}}\mathrm{C} \sim +40 {}^{\mathrm{o}}\mathrm{C}$
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	サムレスト装着時:
	約149×183×183 mm
	グリップ装着時:
	約190×183×187 mm
	モニターユニット、グリップ装着時:
	約190×253×206 mm
	ハンドルユニット、モニターユニット、グリップ、ブラケット装着時:
	約190×307×326 mm
撮影時総重量	本体、グリップ、モニターユニット使用時*:
	約3085g
	本体、グリップ、モニターユニット、ハンドルユニット、ブラケット、六角穴付きボルト5本使用時*:
	約3435g
	* いずれもバッテリーパックBP-A30、CFastカード2枚、ユニットケーブル2本を含む
本体質量(本体のみ)	約1770 g
連続撮影時間	4K/29.97P記録時:約125分(BP-A30使用時)、約265分(BP-A60使用時)
	4K/25.00P記録時:約130分(BP-A30使用時)、約270分(BP-A60使用時)
	2K/59.94P記録時:約115分(BP-A30使用時)、約245分(BP-A60使用時)
	2K/50.00P記録時: 約120分 (BP-A30使用時)、 約250分 (BP-A60使用時)

■ 付属ユニット

モニターユニット	
ユニットの特徴	着脱可能、左右270°回転可能、液晶パネル、撮影・再生操作パネル、 INPUT端子とオーディオ操作パネル
液晶モニター	カラー液晶 (4.0型、約123万ドット、視野率100 %)、 前後270° /左右180° 回転可能
質量	約680g
INPUT 1端子 INPUT 2端子	XLR(パランス) (①シールド、②ホット、③コールド)、2系統 感度 (MIC時): -60 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600 Ω 感度 (LINE時): +4 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 10 kΩ
VIDEO端子	カメラ本体との接続専用。入力のみ。
AUDIO端子	カメラ本体との接続専用。出力のみ。

主な仕様

グリップ	
ユニットの特徴	着脱可能、15°刻みで回転可能、操作ボタン/ダイヤル
質量	約230g

ハンドルユニット	
ユニットの特徴	着脱可能、アクセサリーシュー×3、1/4インチハンドルネジ穴×10、3/8インチハンドルネジ 穴×1
質量	約240g

ブラケット	
ユニットの特徴	1/4インチネジ穴×8、本体取り付け用の穴×2
質量	約80g

■ 付属品

	ACアダプター CA-A10	バッテリーチャージャー CG-A10
定格入力	AC 100 \sim 240 V, 50/60 Hz 100 VA (AC 100 V) \sim 124 VA (AC 240 V)	AC 100 \sim 240 V, 50/60 Hz 120 VA (AC 100 V) \sim 144 VA (AC 240 V)
定格出力	公称DC16.7 V、3.0 A	公称DC16.7 V、3.0 A(1.5 A×2系統)
使用温度	0°C∼ +40°C	0°C∼+40°C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約73×40×139 mm	約200×60×120 mm
質量	約450g	約755g

バッテリーパック BP-A30	
使用電池	リチウムイオン(インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	$0 \degree C \sim +40 \degree C$
公称電圧	DC 14.4 V
公称容量	3100 mAh / 45 Wh
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約41.5×45.1×69.7 mm
質量	約225g

■ 対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター (裏表紙)にお問い合わせください。

1.~		力.	カメラからの		
	VJX	マニュアル	プッシュオート	オート	ズーム調整
EFL	シズ	•	•	—	_
	オートアイリスに対応するEFレンズ	•	•	•	_
Е	CN20x50 IAS H/E1	•	•	•	•
F シネマ	CN7x17 KAS S/E1 CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	٠	٠	٠	٠
、レンズ	デュアルピクセルフォーカスガイド が使用可能なマニュアルフォーカス レンズ	_	_	_	_

		カメラからのフォーカス調整					7+
	レンズ	マニュアル	ワン ショット	コンティ ニュアス	顔検出AF	追尾	ガイド
EFL	シズ	•	•	•	•		٠
	オートアイリスに対応するEFレンズ	•	•	•	•	•	•
Е	CN20x50 IAS H/E1	•	_	_	_	-	_
F シネマ	CN7x17 KAS S/E1 CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	٠	٠	٠	٠	٠	٠
< レンズ	デュアルピクセルフォーカスガイド が使用可能なマニュアルフォーカス レンズ	_	_	_	_	-	٠

オートアイリスに対応するEFレンズ

• EF-S10-18mm F4.5-5.6 IS STM	• EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS STM	• EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS STM
• EF-S55-250mm F4-5.6 IS STM	 EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM 	• EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM
• EF70-300mm F4-5.6 IS II USM	 EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM 	• EF-S35mm F2.8 MACRO IS STM
 EF85mm F1.4L IS USM 		

デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ

- CN-E14mm T3.1 LF
- CN-E24mm T1.5 LF
- CN-E50mm T1.3 LF CN-E85mm T1.3 LF
- CN-E35mm T1.5 LF
 CN-E135mm T2.2 LF

244

主な仕様

動画の記録可能時間の目安

メイン動画 (CFastカード)

ビットレート 容量	410 Mbps Intra-frame	310 Mbps Intra-frame	225 Mbps Intra-frame	210 Mbps Intra-frame	160 Mbps Intra-frame	50 Mbps Long GOP
64 GB	約20分	約25分	約35分	約40分	約50分	約165分
128 GB	約40分	約50分	約75分	約80分	約105分	約335分

プロキシ動画 (SDカード)

ビットレート 容量	35 Mbps Long GOP	24 Mbps Long GOP
16 GB	約60分	約85分
32 GB	約120分	約175分

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-A30(付属)	BP-A60(別売)
充電時間*(バッテリーチャージャー CG-A10を使用時)	約170分	約300分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

索引

ア
/

マイカップ
アイバック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
アイリス ・・・・・ 73
アクセサリー・・・・・・・・・・・・・・・・・239
アサインボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・138
アワーメーター・・・・・・213、222
色空間 ······142、180
インターバル記録・・・・・124
液晶モニター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
エラーメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・229
オーディオリミッター ・・・・・ 106
オートアイリス・・・・・・・・・・・・・・・・・・76
音声出力チャンネル・・・・・・・・・・・・・・・・・184
音声を記録する・・・・・103
音声をモニターする ・・・・・ 109
オンセット・グレーディング・・・・・・・20、182

力

解像度 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
外部マイク/外部ライン入力機器を接続する・・・・・104
外部レコーダーを接続する ・・・・・ 180
カウントアップ方式 ・・・・・ 97
顔検出AF・・・・・・90
拡大表示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
拡張システム端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
カスタムディスプレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・154
カスタムピクチャー ・・・・・ 142
カスタムファンクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・154
カメラダイレクト設定・・・・・・・・・・・・・・・・・65
カラーサンプリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
カラーバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
吸気口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
記録信号形式
記録とディア
· 初期化する
· (Fastカードスロット記録方式を選ぶ・・・・・・・・52
· CFastカードスロットを切り換える・・・・・・・51
· (Factカードを入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・48
· CFactカードを取り出す · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
· SDカードを入れる/出す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・ 500 - 102人1107 田9 ···································
ノフラフノ ・インデックフ画面
・インノッノへ回回・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150

:エクスパンドクリップインデックス画面 ・・・・・・171
:クリップ情報を表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
: コピーする ・・・・・ 168
:再生する・・・・・160
:修復する・・・・・53
:消去する・・・・・169
:ショットマークインデックス画面・・・・・・・・170
:ショットマークを付加/消去する・・・・・・172
:OKマーク/チェックマークを付加/消去する・・・166
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する・・・166 グリップ・・・・・・44
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する・・・166 グリップ・・・・・、44 クリップ番号・・・・、61
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する・・・ 166 グリップ・・・・・ 44 クリップ番号・・・・・ 61 クリップファイル名 ・・・・ 61
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する・・・ 166 グリップ ・・・・・ 44 クリップ番号・・・・ 61 クリップファイル名 ・・・・ 61 ゲイン ・・・ 69
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する · · · 166 グリップ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
: OKマーク/チェックマークを付加/消去する · · · 166 グリップ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

サ

 再 生
- 3
:動画を再生する · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
撮影
· 静止両を撮影する · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
· 計正日ご取ぶりの
場合の10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1
H_{Λ}
「一切」の方です。 44
二脚に取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
システム同波数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
周辺光重佣止 ······35
修埋对応······251
出力信号形式 ····· 176
ジョイスティックガイド・・・・・ 161
仕様・・・・・240
使用時間 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
焦点距離 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ショットマーク・・・・・ 112
ショルダーストラップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
ステータス画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・216
スロー&ファストモーション記録 ・・・・・・・・120
静止画
· 記録する・・・・・ 190
· 回転 9 0 190
· 市エック · 治土する
・ 府云 9 ②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194

:静止画番号の付けかたを選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
接続
:外部モニター/レコーダーを接続する・・・・・・178
: パソコンに保存する・・・・・・・・・・・・・・186
:ヘッドホンでモニターする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
設定データ ・・・・・ 155
ゼブラパターン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
測光方式 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

タ

タイムコード・・・・・97
タイムコードホールド・・・・・・・・・・・・・・・・・98
タイムコードを外部同期する・・・・・・・・・・100
ダブルスロット記録・・・・・・・・・・・・・・・・・52
タリーランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
端子カバーを取り付ける/取り外す・・・・・46
チェックマーク・・・・・113
追尾・・・・・92
テストトーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
デュアルピクセルCMOS AF ······3
デュアルピクセルフォーカスガイド・・・・・84
電源
: コンセントに接続する ・・・・・ 24
: バッテリーパックを使う ・・・・・・・・・・・・・22
電源を入れる/切る・・・・・26
トラブルシューティング・・・・・ 223
ドロップフレーム ····· 98

ナ

ノンドロップフレーム・	 •••	 	 	•			•	 9	98

Л

排気口 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
倍率色収差補正·····35
波形モニター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111
バッテリー
: 残量を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24、222
:充電時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・245
: 充電する・・・・・ 22
: 使用時間・・・・・・242
:本体に取り付ける/取り外す・・・・・・・・・・・23
ハンドルユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

ピーキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
日付・時刻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
ビットレート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
表示パネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
表示レベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
ファインダー
:表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
ファン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
ファンタム電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
フォーカス ・・・・・ 82
フォーカスアシスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
プッシュオートアイリス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
ブラウザーリモート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
ブラケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
ブラックバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
フリーラン ・・・・・ 97
フリッカーを抑える・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
プレ記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
フレーム記録・・・・・123
フレームレート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
プロキシ動画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
ヘッドホン端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109、162
保存
:パソコンに保存する・・・・・186
ホワイトバランス ・・・・・・
: 色温度設定・・・・・80
:プリセット設定 ・・・・・ 80
:ホワイトバランスセット・・・・・・・・・・・・・・・・78

$\overline{\prec}$

マーカー
マイク ・・・・・ 103
マイクの感度・・・・・107
マイメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・31
メイン動画 ・・・・・56、64
メタデータ ・・・・・ 114
メッセージ ・・・・・ 229
メディアサーバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
メニュー
:基本操作・・・・・29
: メニュー―覧 ・・・・・ 196
モニター接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
モニターユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

•••• 索引

.

ヤ

ユーザー	ビット・・			•	 •								•	•	•			•		•	•	•			99
ユーザーン	メモ・・・・	•••	•••	•	 •	• •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	14
ユニットな	ァーブル	•••	•••	•	 •	• •	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10

.

.

ラ

リール番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
リファレンスビデオ信号・・・・・ 100
量子化ビット数・・・・・103
リレー記録・・・・・・・・・・・・・・・・52
冷却ファン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
レックラン ・・・・・ 97
レックレビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・118
レンズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
レンズファームウェア ・・・・・36
録音レベル調整・・・・・105、107
露出補正 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••
六角穴付きボルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

ワ

ワンショット	-∧AF···	• •	•	•	• •		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	,	•	•	•	•	•	•	8	36	õ
--------	---------	-----	---	---	-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---

番号

2K ··		•	• •	• •		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	78
3D記録	禄モ		-	~	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	12
3G-SE	이스	ッ	Ł	,o ~	ソ	ケ	ï	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	80
4K ••	• • •	•	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	78
4K RA	w .	·	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	78
24.00	Ηz·	·	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	64
50.00	Hz·	•	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	64
59.94	Hz·		• •		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	64

記号

+48V · · · ·	 	

その他

ABB ·		• •	• • •	• •	•••	•	 •	• •	 •	•	 •	•		•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•		•	54
ACES			• • •	• •	• •	•	 •	•	 •			•	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•		•	20
ACESp	oroxy	• •	• •	• •	•••	•	 •	• •	 •	•	 •	•	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	• :	20)、	1	82

ACアダプター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 24
AEシフト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 76
AFスピード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 88
AF枠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 82
Att	108
AUDIO端子·····	• • 27
Canon Log / Canon Log 2 / Canon Log 3 · · · · · ·	148
CFastカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 47
Cinema Gamut · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	148
Color Space · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	148
DC IN端子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	• 25
DCI-P3	148
EFシネマレンズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	244
EFレンズマウント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 34
FOCUS GUIDE	• 84
F値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 73
Gamma····	148
GENLOCK/SYNC OUT端子·····	100
GPS	116
HDMI OUT端子·····	178
INPUT端子·····	103
ISO感度 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	• 69
LCDモニター ・・・・・	• 38
Main Settings · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	148
	104
MON.端子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	178
MXFファイルフォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
ND濃度拡張・・・・・	• 72
NDフィルター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 72
0Kマーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	113
POWER(電源)スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 26
Preset · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	143
PUSH AUTO IRIS	• 75
RAW180、	187
REC OUT端子·····	178
REMOTE(リモート)端子 ·····	• 12
SDカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 49
Shot Mark·····	112
TIME CODE端子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100
T値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 75
VIDEO端子·····	· 27
XF AVC Proxy記録·····	119
♀(ヘッドホン)端子・・・・・109、	162

商標について

- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における 商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or

purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C300 Mark IIは、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の 画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置 がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って 正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

MEMO

保証書と修理対応

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。ここでは修理対応について説明しています。

修理対応

製品の保証について

- ●使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内にお買い求めの販売店、もしくは弊社修理受付窓口までご持参いただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費および諸掛かりはお客様のご負担となります。
- ●保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害(録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等)については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理対応期間について

カメラの修理対応期間は、製造打ち切り後7年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程 度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご 使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデー タをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを 弊社が複製・保存することはありません。

修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター (裏表紙)にお問い合わせください。

●購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。

● 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。



使用方法/修理に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日 9:00~17:00

- ※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませて いただきます。
- ※上記番号をご利用になれない方は03-5428-1208を ご利用ください。
- ※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによって つながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、 購入店よりお受け取りください。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設して います。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお 立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報 canon.jp/cinema-eos キヤノン サポートページ canon.jp/support

■本書の記載内容は2018年2月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあり ます。ご了承ください。最新の使用説明書については、 キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



PUB. DIJ-0440-000H

© CANON INC. 2018